

2023年度日本政府（文部科学省）奨学金留学生

教 員 研 修 留 学 生

コ ー ス ガ イ ド

②

番号	大 学 名	所 在 地	掲載ページ	番号	大 学 名	所 在 地	掲載ページ
23	岐阜大学	岐阜県岐阜市	………… 1	36	鳥取大学	鳥取県鳥取市	………… 33
24	静岡大学	静岡県静岡市	………… 4	37	島根大学	島根県松江市	………… 35
25	愛知教育大学	愛知県刈谷市	………… 6	38	岡山大学	岡山県岡山市	………… 40
26	三重大学	三重県津市	………… 9	39	広島大学	広島県東広島市	………… 45
28	京都教育大学	京都府京都市	………… 11	40	鳴門教育大学	徳島県鳴門市	………… 50
29	大阪大学	大阪府吹田市	………… 15	41	香川大学	香川県高松市	………… 54
30	大阪教育大学	大阪府柏原市	………… 17	42	愛媛大学	愛媛県松山市	………… 56
31	兵庫教育大学	兵庫県加東市	………… 22	44	福岡教育大学	福岡県宗像市	………… 60
32	神戸大学	兵庫県神戸市	………… 24	46	長崎大学	長崎県長崎市	………… 66
33	奈良教育大学	奈良県奈良市	………… 26	47	熊本大学	熊本県熊本市	………… 69
34	奈良女子大学	奈良県奈良市	………… 31	49	宮崎大学	宮崎県宮崎市	………… 72

岐阜大学（岐阜県）

本プログラムでは、指導教員のアドバイスを受けて、教育現場と密接に連絡をとりながら研修をすることができます。

◇大学紹介

○大学の概要

岐阜大学は、教育学部・地域科学部・医学部・工学部・応用生物科学部・社会システム経営学環があり、大学院は教育学研究科はじめ8研究科がある。また、教育学部には、特別支援教育センター、学習協創開発研究センター、附属小中学校が附設されている。

岐阜大学は岐阜市〔岐阜市は、名古屋市から約30 km〕の西にあり、大学の近くを流れる長良川は、鵜飼で有名である。岐阜市の近くには世界遺産に登録された白川郷をはじめ、名所旧跡と自然環境に恵まれた地域に大学がある。

○国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2022年度：297名（2022年5月1日現在）

2021年度：287名（2021年5月1日現在）

2020年度：322名（2020年5月1日現在）

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2022年度：3名

2021年度：3名

2020年度：0名

◇教員研修コースの概要・特色

○研修コースの特色

岐阜大学では、1982年から教員研修留学生の受入れをはじめ、2022年度までに111名の修了生を出している。研修のプログラムは、研修生の課題をもとに指導教員のアドバイスを受けて、教育現場と密接に連絡をとりながら、研修することができる。また、学内の図書館、研究施設を希望に応じて利用することができる。

○受入定員 5人以内

○研修コースの概要

・日本語教育

専門教育研修のために日本語教育が必要な外国人留学生には、岐阜大学において、6か月間集中的に日本語教育を受けることができる。

・専門教育

I) 形態

指導教員自らが個々の外国人留学生のために作成したプログラムとスケジュールにより実施する。

II) 英語による授業科目

必要に応じて指導教員が英語による指導を行う。

・その他

①夏季休暇中などには、外国人留学生のための地域文化や産業施設などを見学研修する旅行がある。

②地域の国際交流の機会を活用し、積極的な参加交流を推進している。

③日本人学生と共に、教育学研究科の講義を日本語で受講する。

◇修了生へのフォローアップ

研修修了後のキャリア形成等について相談に応じている。

◇宿 舎

来日後、研修留学期間中（1年6ヶ月間）は岐阜大学の国際交流会館に入居可能。

○宿舍数

- ・単身用：69室
- ・夫婦用：14室
- ・世帯用：7室

○宿舍費

- ・単身用：A棟5,900円 B棟4,700円
- ・夫婦用：A棟11,900円 B棟9,500円
- ・世帯用：A棟、B棟とも14,200円

○宿舍設備・備品

各階にキッチン1部屋（共同）、洗濯室。A棟は各室にユニットバス、B棟は各室トイレのみ。B棟は各階にシャワールーム（共同）設置。備品：冷蔵庫、机、イス、本棚、ベッド、洋服ダンス、エアコン、カーテン、ゴミ箱、下駄箱等。

○宿舍周辺の生活情報、通学時間

宿舍はキャンパス内にあり、キャンパス内にはコンビニエンスストア等がある。

◇問合せ先

大学所在地/〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1番1

担当部署/岐阜大学 学務部国際事業課

留学支援室留学支援係

連絡先/TEL：058-293-2011/ FAX：058-293-2143

E-mail：inbound@gifu-u.ac.jp

ホームページ：https://www.gifu-u.ac.jp/

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
23001	柳沼 良太 教授	yaginuma@gifu-u.ac.jp	道德教育	問題解決型の道德授業法	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 英語	1人	日本語・英語どちらかできれば可 大学で2年以上左記の分野で学んだ者 (インド1人)
23002	平澤 紀子 教授	hirasawa@gifu-u.ac.jp	特別支援教育学	発達障害児への応用行動分析的アプローチ	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1人	日本語が十分理解できる者 大学で2年以上左記の分野で学んだ者
23003	村瀬 忍 教授	shinobu@gifu-u.ac.jp	言語障害学	言語障害の診断と治療	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 英語	1人	日本語・英語どちらかできれば可 大学で2年以上左記の分野で学んだ者
23004	佐藤 貴裕 教授	satopy@gifu-u.ac.jp	日本語学 日本語史学	日本語の変化, 史的研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1人	日本語が十分理解・表現できること 大学で2年以上左記の分野で学んだ者
23005	山田 敏弘 教授	lingua@gifu-u.ac.jp	日本語学	日本語教育のための文法研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1人	日本語が十分理解できる者 大学で2年以上左記の分野で学んだ者
23006	小林 一貴 教授	kobakaz@gifu-u.ac.jp	国語教育学	国語教育法・文章表現	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1人	日本語が十分理解できる者 大学で2年以上左記の分野で学んだ者 (韓国1人)
23007	好川 聡 准教授	ystsi@gifu-u.ac.jp	漢文学	漢詩の研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1人	日本語が十分理解できる者 大学で2年以上左記の分野で学んだ者
23008	小川 陽子 准教授	yogawa@gifu-u.ac.jp	日本古典文学	日本古典文学の研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1人	日本語が十分理解できる者 大学で2年以上左記の分野で学んだ者
23009	須本 良夫 教授	sumo440@gifu-u.ac.jp	社会科教育方法論	社会科教育学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1人	日本語が十分理解できる者 大学で2年以上左記の分野で学んだ者
23010	住浜 水季 准教授	sumihama@gifu-u.ac.jp	物理学	素粒子・原子核実験	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 英語	1人	日本語・英語どちらかできれば可 大学で2年以上左記の分野で学んだ者
23011	中村 琢 准教授	nakamura@gifu-u.ac.jp	科学教育 物理教育	理科教育, 物理教育における教授法と教育効果の比較調査	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 英語	1人	日本語・英語どちらかできれば可 大学で2年以上左記の分野で学んだ者
23012	吉松 三博 教授	yoshimae@gifu-u.ac.jp	有機化学	有機化学および有機合成分野の実験手法を学ぶ	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 英語	1人	日本語・英語どちらかできれば可 大学で2年以上左記の分野で学んだ者
23013	古屋 康則 教授	koya@gifu-u.ac.jp	生物学	魚類の発生及び生殖に関する実験法を学ぶ	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 英語	1人	日本語・英語どちらかできれば可 大学で2年以上左記の分野で学んだ者
23014	三宅 崇 教授	tmiyascb@gifu-u.ac.jp	生物学	植物繁殖生態学の理論と実験法の習得	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 英語	1人	日本語・英語どちらかできれば可 大学で2年以上左記の分野で学んだ者
23015	須山 知香 准教授	schika@gifu-u.ac.jp	植物学 植物系統分類学	植物標本の作成・管理の習得および標本の教材化活用法	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 英語	1人	日本語・英語どちらかできれば可 大学で2年以上左記の分野で学んだ者
23016	青柳 孝洋 准教授	aoyagi@gifu-u.ac.jp	民族音楽	音文化の研究に関連する分野	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 英語	1人	日本語・英語どちらかできれば可 大学等で2年以上左記に関連する分野 (音楽学, 文化人類学, など) で学んだ者
23017	仲田 久美子 准教授	nkkm@gifu-u.ac.jp	音楽	ピアノ演奏	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1人	日本語が達者であること この分野を大学で2年以上学んだもの
23018	西尾 洋 准教授	yonishio@gifu-u.ac.jp	作曲、作曲理論	作曲法とその指導法に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 英語 ドイツ語	1人	日本語・英語どちらかできれば可 大学で2年以上左記の分野で学んだ者
23019	野村 幸弘 教授	ynomura@gifu-u.ac.jp	美術史	美術作品の見方について, 日本美術史	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 英語	1人	日本語・英語どちらかできれば可 大学で2年以上左記の分野で学んだ者
23020	山本 政幸 教授	ymmtmsyk@gifu-u.ac.jp	デザイン教育	視覚伝達デザイン, グラフィックデザイン	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 英語	1人	日本語・英語どちらかできれば可 大学で2年以上左記の分野で学んだ者
23021	春日 晃章 教授	kasuga@gifu-u.ac.jp	発育発達学 測定評価学	子どもの体力, 運動能力の向上支援, スポーツ選手の動作分析	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 英語	1人	日本語・英語どちらかできれば可 大学で2年以上左記の分野で学んだ者

23022	大藪 千穂 教授	chiho@gifu-u. ac. jp	家計分析	関係諸論文等の文献の購読 家計データの分析	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語が十分理解できる者 大学で2年以上左記の分野で学んだ者
23023	久保 和弘 教授	kubochan@gifu-u. ac. jp	栄養学	栄養素と機能性食品成分に関する実験法の習得	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語 英語	1人	日本語が十分理解できる者 大学で2年以上左記の分野で学んだ者
23024	巽 徹 教授	ttatsumi@gifu-u. ac. jp	英語教育学	英語教育方法論，英語教育教材開発	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語 英語	1人	日本語・英語どちらかできれば可 大学で2年以上左記の分野で学んだ者（タイ1人, グアテマ ラ1人, 中国1人）
23025	仲 潔 准教授	nakac@gifu-u. ac. jp	社会言語学、 国際語としての 英語教育論	国際英語論、異文化コミュニケーション論 マルチリテラシーズ	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語 英語	1人	日本語・英語どちらかできれば可 大学で2年以上左記の分野で学んだ者
23026	デビッド・バーカー 教授	david@gifu-u.ac.jp	英語教育	英語教授法、英語教育教材開発、異文化理解、 授業研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語 英語	1人	日本語・英語どちらかできれば可 大学で2年以上左記の分野で学んだ者（インドネシア1人）
23027	今井 亜湖 教授	akoi@gifu-u. ac. jp	教員工学	教材開発，インストラクショナルデザイン，情 報教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語が十分理解できる者 大学で2年以上左記の分野で学んだ者

※「研修の対象者」は該当する方(両方に該当する場合は両方)に☑を付けてください。

静岡大学 (静岡県)

豊かな自然環境で学ぶ、バランスのとれた日本語教育と専門教育



◇大学紹介

○大学の概要

静岡大学は、人文社会科学部、教育学部、情報学部、理学部、工学部、農学部からなる総合大学であり、大学院としては教育学研究科はじめ3研究科があります。また、教育学部の附属施設には、小中学校、特別支援学校、幼稚園があります。

静岡市は静岡県の県庁所在地であり、その人口は70万人以上です。南方には太平洋、北方には富士山が眺望でき、日本のほぼ中心に位置します。また、年間を通して暖かく、様々な文化的機会に触れることができます。

○国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2022年度：382人

2021年度：387人

2020年度：463人

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2022年度：0人

2021年度：1人

2020年度：0人

◇教員研修コースの概要・特色

○研修コースの特色

1982年から教員研修留学生の受け入れを開始して以来、バランスの取れた日本語教育と専門教育が行われるよう努めてきました。

○受入定員 2名

○研修コースの概要

・日本語教育（国際連携推進機構で実施）

1）日本語研修コース（日本語ゼロ学生）
週15クラス

2）日本語教育プログラム

・初級（日本語2） 週3クラス

・中級前半（日本語3） 週4クラス

・中級後半（日本語4） 週4クラス

・上級（日本語5） 週2クラス

・専門教育（主に2024.4月～2025.3月）

留学生の希望する研究テーマをもとに、その分野の担当教員が指導教員となり、研究指導を行います。希望があれば、研究分野以外の講義等の受講も認められます。開講言語は日本語です。

・見学・地域交流等の参加型科目
教育プログラムの一環として附属学校を訪問し、生徒・児童と交流することができます。

◇修了生へのフォローアップ

本国に帰国後、要請があれば、指導教員がEメール等で教育実践や研究の助言を行う。タイ・インドネシア・ベトナムでは静岡大学海外同窓会を組織し、修了生も参加している

◇宿 舎

○宿舍数

- ・単身用：95室
- ・夫婦用：若干数
- ・世帯用：若干数

○宿舍費

単身用・入居にかかる費用：13,200円

・宿舍料等（月額）：約25,400円

夫婦用・入居に係る費用：32,000円

・宿舍料等（月額）：約42,000円

世帯用・入居に係る費用：34,000円

・宿舍料等（月額）：約51,600円

○宿舍設備・備品

（単身用の場合）

・5人1組によるユニット制

個室内：机、椅子、ベッド、ロッカー

ユニット内：ダイニング、キッチン、シャワー、

トイレ、洗濯機、乾燥機、冷蔵庫

○宿舍周辺の生活情報、通学時間

大学までの距離は約2kmであり、バスや自転車で15分の距離です。

近隣にスーパーマーケット・コンビニエンスストアもあり、落ち着いた環境です。

◇問合せ先

大学所在地

〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷836

担当部署：静岡大学教育学部学務係

連絡先TEL：(054) 238-4571

FAX：(054) 237-6254

E-mail: edgakumu@adb.shizuoka.ac.jp

静岡大学：

<http://www.shizuoka.ac.jp/>

大学名： 静岡大学(大学番号24)

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
24001	藤井 道彦 教授	fujii.michihiko@shizuoka.ac.jp	技術教育	技術教育、栽培、農業教育、環境教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語／英語	1人	ある程度の英語能力 マラウイ 1名

※「研修の対象者」は該当する方(両方に該当する場合は両方)に☑を付けてください。



愛知教育大学 (愛知県)

高度で実践的な教育・指導を実施

◇大学紹介

○大学の概要

愛知教育大学は、学術の中心として、深く専門の学芸を教授研究するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する学問の府として、教育研究活動を通して世界の平和と人類の福祉及び文化と学術の発展に寄与することを目指しています。

教育学部は、教員免許の取得が卒業要件の「学校教員養成課程」と、教員とともに子どもの教育を支える専門職育成のための「教育支援専門職養成課程」で構成されています。

大学院教育学研究科は、教育実践高度化専攻（学校マネジメントコース、教科指導重点コース、児童生徒発達支援コース、地域・教育課題解決コース）と教育支援高度化専攻（臨床心理学コース、日本型教育グローバルコース）で構成され、学校・地域及び教育関係諸機関との連携を活かしつつ、更なる学校教育の質的向上を図ることを目的とし、現職教員、教育関係者、社会人等も対象に教育実践に活かせる研究能力の養成を行っています。また、教育実践の場として、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園が附設されています。

本学のある刈谷市内は、トヨタグループ企業はじめ民間企業が多数あり、ものづくり教育にも適した環境にあります。

○国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2022年度：66
2021年度：43
2020年度：43

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2022年度：5
2021年度：2
2020年度：5

◇教員研修コースの概要・特色

○研修コースの特色

教員養成大学としての特色を活かして学校教育に関する理論と実践を融合した指導を行います。

○受入定員

8名

○研修コースの概要

・日本語教育

1. 文部科学省が指定する日本語コース（名古屋大学）で10～3月の半年間の日本語教育を受けます。
2. 4月からは本学において日本語の初級・中級・上級・作文・漢字などの授業を受講することができます。

・専門教育

1. 希望する研究テーマにより、指導教員が個別に研修を行います。
2. 教員研修留学生用の授業科目は開設していませんが、学部又は大学院の授業を受けることができます。
3. 指導教員の指導を受け、研修修了論文を作成します。

・見学・地域交流等の参加型科目

以下のプログラムを用意しています。

1. 附属学校の授業への参加・見学
2. 地域の学校での児童・生徒との交流活動
3. 日本人学生が企画する学内での交流活動
4. 外国人留学生を対象とした見学旅行
5. 地域の諸団体が行う日本文化体験等の行事

・その他

日本人学生の日本語チューターと専門チューターがサポートします。

◇修了生へのフォローアップ

修了後、国際交流センターや指導教員による個別相談対応

◇宿 舎

○宿舎数

- ・学生寮単身用：男子寮 4部屋 女子寮 4部屋
- ・夫婦用：なし
- ・世帯用：なし

○宿舎費

- ・単身用 22,000円程度（月額）

ただし、宿舎費は電気等の使用量によりかわることがあります。

○宿舎設備・備品

バス・トイレ付きです。洗濯室、ラーニング・コモンズがあります。

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

学生寮はキャンパス内にあります。徒歩約10分のところにコンビニエンスストアやスーパーマーケットがあります。最寄りの鉄道の駅（知立駅）まではバスで約20分です。

◇問合せ先

大学所在地 〒448-8542
愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1
担当部署 愛知教育大学
国際企画課 国際交流係

連絡先

TEL: 0566-26-2178, 2179

FAX: 0566-26-2711

E-mail: kokusaikoryu@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

ホームページ:

<http://www.aichi-edu.ac.jp/>

<http://www.aichi-edu.ac.jp/cie/>

大学名： 愛知教育大学（大学番号25）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科								
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）	
25001	中野 真志 教授	snakano@aecc.aichi-edu.ac.jp	生活科学教育、総合生活	生活科、総合的な学習に関する論理的・実践的研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 英語	1人	計画な研究テーマを有していること。 十分な日本語能力が英語能力を有していること。（インドネシア1）	
25002	青柳 まゆみ 准教授	maoyagi@aecc.aichi-edu.ac.jp	特別支援教育	視覚障害教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 英語	1人	明確な研究テーマを有していること。 十分な日本語または英語能力を有していること。	
25003	岩田 吉生 教授	yiwata@aecc.aichi-edu.ac.jp	特別支援教育	聴覚障害児教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1人	明確な研究テーマを有していること。 講義内容を理解するのに十分な日本語能力があること。	
25004	竹川 慎哉 准教授	takekawa@aecc.aichi-edu.ac.jp	教育方法学	日本の教育実践（授業づくり）に関する理論的・実践的研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 英語	1人	研究を進める上で十分な日本語、または英語能力。（メキシコ1、ボツワナ1）	
25005	砂川 誠司 講師	sunagawa@aecc.aichi-edu.ac.jp	国語教育	メディアリテラシー	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1人	母語教育に関する明確な研究テーマを有すること。 講義内容を理解するのに十分な日本語能力があること。	
25006	北野 浩章 教授	kitano@aecc.aichi-edu.ac.jp	言語学、日本語学	日本語学、または一般言語学（留学生の母語の記述研究、対照言語学、談話と文法など）	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 英語	2人	日本語学または言語学の概論を一通り終えていること。 （モンゴル1、キルギス1、スリランカ1）	
25007	土屋 武志 特別教授	tktutiya@aecc.aichi-edu.ac.jp	社会科教育	社会科教育・歴史教育の内容と方法に関する実践研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	2人	日本の歴史に興味がある人	
25008	建内 高昭 教授	ttake@aecc.aichi-edu.ac.jp	英語教育	英語教育、英語教員養成	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 英語	1人	英語教育に関わる内容（メキシコ1、スペイン1、コスタリカ1、東ティモール1、フィリピン1、ミャンマー1）	
25009	道木 一弘 特別教授	kdoki@aecc.aichi-edu.ac.jp	英語英文学	イギリス・アイルランド小説と詩、文学理論	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 英語	1人	英語または日本語で会話ができ、論文が読めること。 英文学に興味があること。（パキスタン1、エルサルバドル1）	
25010	飯島 康之 特別教授	yiijima@aecc.aichi-edu.ac.jp	数学教育	数学教育に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 英語	1人	数学教育に関する明確なテーマを有すること。（ミャンマー1、フィリピン1）	
25011	小谷 健司 教授	kodani@aecc.aichi-edu.ac.jp	数学	数学教材研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 英語	1人	中学または高等学校の数学教員	
25012	山田 篤史 教授	yamada@aecc.aichi-edu.ac.jp	数学教育	数学教育に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 英語	1人	数学教育に関する明確なテーマを有すること。十分な日本語能力が英語能力を有すること。（ガーナ1、韓国1）	
25013	青山 和裕 准教授	kaoyama@aecc.aichi-edu.ac.jp	数学教育	数学教育に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語 英語	1人	数学教育に関する明確なテーマを有すること。	

25014	岸 康弘 教授	ykishi@aecc.aichi-edu.ac.jp	数学	数学教材研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語 英語	1人	中学または高等学校の数学教員
25015	野崎 浩成 教授	nozaki@aecc.aichi-edu.ac.jp	情報教育学, 教育工学	教育とコンピュータに関する諸領域の論理的な 研修。講義・演習への参加と個別指導を中心と した研究。	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語 英語	2人	講義を理解できる日本語能力、各専門領域の基礎的な能 力。明確な研究テーマを有していること。(シンガポール 1, ベナン1, サウジアラビア1, インドネシア1, ケニ ア1)
25016	梅田 恭子 教授	kumeda@aecc.aichi-edu.ac.jp	情報教育学	教育の情報化に関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語 英語	1人	教育の情報化に興味があり、明確な研究テーマを有してい ること。 十分な日本語能力が英語能力を有していること。(中国2, インドネシア1, シンガポール1, チュニジア1)
25017	江島 徹郎 教授	tejima@aecc.aichi-edu.ac.jp	情報教育学	教育の情報化	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語 英語	1人	教育の情報化に関心のある者。(メキシコ1, インドネシ ア1)
25018	大鹿 聖公 教授	ohshika@aecc.aichi-edu.ac.jp	理科教育, 環境教育, ESD/SDGs	理科教育に関する研究、環境教育・ESD/SDGsに 関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	明確な研究テーマ、コミュニケーション可能な日本語能力 または英語能力を有していること。 (ガーナ1, パキスタン1)
25019	星 博幸 教授	hoshi@aecc.aichi-edu.ac.jp	球科学・地学教	地球科学教育に関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1人	地球科学または地学教育に関連する明確な研究テーマを有 していること。英語または日本語で会話ができること。(イン ド1, フィリピン1)
25020	北村 一浩 教授	kzkita@aecc.aichi-edu.ac.jp	機械工学	技術科内容学(機械工学)	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語 英語	1人	英語でコミュニケーション可能であること。 機械工学の基礎的な知識を有していること。
25021	鎌田 敏之 教授	tkamada@aecc.aichi-edu.ac.jp	情報教育学	ITを活用した教育に関する理論と応用	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語 英語	1人	明確な研究テーマを有していること。 講義を理解可能な日本語能力または英語能力を有している こと
25022	磯部 征尊 准教授	masataka@aecc.aichi-edu.ac.jp	レッスンスターデー (教師教育)	カリキュラム・マネジメントに関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	教師教育や校内研修の在り方に興味・関心を有すること。(インド ネシア1)
25023	山根 真理 特別教授	myamane@aecc.aichi-edu.ac.jp	家政学	家庭科内容学(家族論)	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	家族に関連する社会科学的研究を行うこと。
25024	野平 慎二 教授	nobira@aecc.aichi-edu.ac.jp	教育学	教育哲学、道德教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語 英語	1人	明確な研究テーマを有していること、十分な日本語または 英語能力があること。(中国1, インドネシア1, トンガ 1)
25025	平野 俊英 教授	schirano@aecc.aichi-edu.ac.jp	理科教育	理科の教科課程や学習指導に関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	理科教育に関する明確な研究テーマを有すること。
25026	中野 博文 教授	hnakano@aecc.aichi-edu.ac.jp	有機化学	有機化学研究およびその教材研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語 英語	1人	研究を進める上で必要な化学、英語あるいは日本語の能力 を有すること。(カンボジア2)
25027	岩山 勉 教授	tiwayama@aecc.aichi-edu.ac.jp	理科教育, 物理学	理科(物理分野)における教材開発	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語 英語	1人	明確な研究テーマ、コミュニケーション可能な日本語能力 または英語能力を有していること。
25028	新山王 政和 教授	mshinza@aecc.aichi-edu.ac.jp	音楽教育	音楽科授業構造研究、音楽科教材研究 実験系音楽心理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	講義を理解できる日本語能力を有すること。 学校音楽科教育または音楽教育に関する明確な研究テーマを 有すること。
25029	阿部 亮吾 准教授	aberyogo@aecc.aichi-edu.ac.jp	人文地理学	人文地理学、都市地理学、移民研究、多文化共 生／多文化主義	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語 英語	1人	人文地理学、都市地理学、移民研究、多文化共生／多文化 主義に関する明確な調査テーマをもち、日本語が英語でコ ミュニケーションをとれる、きちんとした性格であること (インドネシア1)
25030	児玉 康一 教授	kkodama@aecc.aichi-edu.ac.jp	物理学	理科・物理学分野の教材開発(盲学校での利用 含む)	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語 英語	1人	日本語または英語でのコミュニケーションが可能であるこ と。(インドネシア1)
25031	趙 卿我 准教授	jo0620@aecc.aichi-edu.ac.jp	教育評価論	教育評価の変遷	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語 韓国語	2人	カリキュラム及び教育評価に関心を有すること。

※「研修の対象者」は該当する方(両方に該当する場合は両方)に☑を付けてください。



三重大学 (三重県)

教育学部で指導教員制度により、きめ細かい指導を実施。

◇大学紹介

○大学の概要

三重大学は総合大学で、人文学部、教育学部、医学部、工学部、生物資源学部の5学部があります。また、大学院は6研究科があり、キャンパスは、津市にあります。自然環境に恵まれ、キャンパスのすぐ東側には海岸の波が打ち寄せ、北西には鈴鹿の山が連なります。

○学部学生数：5,907名 大学院生数：1,189名
教員数：751名 <2022年5月1日現在>

○大学間交流協定数：113大学(学部間協定を含む)
<2022年4月1日現在>



伊勢神宮 内宮



鈴鹿サーキット



三重大学上浜キャンパス

○国際交流の実績

- ・過去3年間の留学生の受入れ実績
2022年度：203名<2022年5月1日現在>
2021年度：174名<2021年5月1日現在>
2020年度：204名<2020年5月1日現在>
- ・教員研修留学生の受入実績
2015年度：1名(ギニア)
2014年度：3名(メキシコ・ハンガリー・ウガンダ)
2013年度：1名(マダガスカル)

◇教員研修コースの概要・特色

○コースの特色

教育学部において、指導教員制度により、きめ細かい指導を実施します。

○受入定員
2名

○研修コースの概要

【1年コース】

・日本語教育(6ヵ月)

国際交流センターの日本語研修コースで、6ヶ月間集中して、基礎的な日本語及び日本事情の教育を受ける。留学生の希望により、国際交流センターの日本語補講を受講することができます。また、教育学部留学生担当教員による日本語指導も随時行われます。

・専門教育(1年)

留学生が希望する研究テーマにより、1年間指導教員の指導の下で、個別に研修を行います。

【1年半コース(日本語教育を受けない)】

※日本語能力が十分にある方のみ対象です。

・専門教育(1年半)

留学生が希望する研究テーマにより、1年6ヵ月間指導教員の指導の下で、個別に研修を行います。

・見学・地域交流等の参加型科目

特に設定されていません。ただし、指導教員や学部国際交流委員会等からのアドバイスにより、教員研修留学生の立場を生かし、大学近くの学校を訪問し、母国の学校生活について、児童生徒に教えることが可能です。

・その他

国際交流センターが主催する行事等に参加できます。

◇修了生へのフォローアップ

教員研修修了後も、Emailや三重大学卒業生Moodle等を用いて、情報交換を進めていきます。

◇宿 舎

三重大学には現在留学生用の宿舎が3つあり、「外国人留学生寄宿舍」は、留学生と日本人学生が部屋をシェアして共同生活し、異文化交流を通してグローバルな視点を持てる場となっています。

①外国人留学生会館(1988年建設)

月額 6,900円~14,000円

②外国人留学生寄宿舍(2009/15年建設)

月額 7,500円~30,000円

③国際女子学生寄宿舍(1973年建設)

月額 5,900円



上(左) 外国人留学生寄宿舍外観

(右) 同 共用キッチン

下(左) 同 シェアルームのダイニング

(右) 国際女子学生寄宿舍居室

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

周辺には、コンビニエンスストア等があり、生活に困ることはありません。

◇問合せ先

三重大学学術情報部国際交流チーム

住所：〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

TEL：+81-59-231-9688(直通)

FAX：+81-59-231-5692

Email：ryugaku@ab.mie-u.ac.jp

ウェブサイト：<http://www.mie-u.ac.jp/>

大学名： 三重大学(大学番号26)

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科 等名	教育学部							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学 能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人 数)
26001	須曾野 仁志 教授	susono@edu.mie-u.ac.jp	教育工学	電子ポートフォリオとしてのデジタルストーリーテリ ング、小中学校授業のデザイン・実践、語学用コン ピュータ学習プログラムの開発、国際理解のため の遠隔教育	■小学校教員 ■中高教員	日本語、英語	2人	受入条件:教員や学生と英語でコミュニケーションできる能力を 有すること。 受入実績:ギニア 1名

※「研修の対象者」は該当する方(両方に該当する場合は両方)に☑を付けてください。



京都教育大学 (京都府)

歴史豊かな国際都市・京都で日本と世界の教育を学ぶ

◇大学紹介

○大学の概要

京都教育大学は、1876年（明治9）年に創設された京都府師範学校を受け継ぎ、146年の歴史と伝統を有しています。

本学は、教員養成単科大学ですが、学部には、教育学、国語、社会、理科、美術、音楽、体育をはじめ、13の専攻がある「教育の総合大学」です。大学院としては、京都の10の大学が連合し資質の高い教師を育てる「連合教職実践研究科」が設置されています。

京都教育大学は京都市の南部に位置しています。京都は日本を代表する古都で、世界遺産に選ばれた多くの文化財、豊かな精神文化を有する街です。また、現代的な京都駅ビルの建築やマンガミュージアムも有名です。古い歴史と新しい文化がともに体験できる街だと言えます。

○国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入実績

2022年度：17

2021年度：19

2020年度：6

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2022年度：4

2021年度：4

2020年度：1

◇教員研修コースの概要・特色

○研修コースの特色

一人一人の希望に応じたきめの細かい指導を行います。研修や生活支援をしてくれる日本人のチューターとの交流も活発です。

○受入定員 10名

○研修コースの概要

・日本語教育

京都大学で6ヶ月間の日本語研修コースを受けることができます。日本語研修修了後は本学で日本語授業を受けることができます。

・専門教育

希望する研究テーマについて指導教員の指導を受けながら論文を作成します。許可されれば、一般の授業への参加も可能です。

【1年コース】

日本語研修コース修了後、本学で1年間専門教育を受けます。

【1年半コース】

日本語能力が十分な場合は、日本語研修コースに参加せず、本学で1年半の専門教育を受けることができます。本学にも日本語授業があり、日本語を学習することが可能です。

・見学、交流等

日本人学生と年1回の実地見学研修に行きます。また、京都市国際交流協会主催の国際理解プログラムPICNIKIに参加すると、地域の学校を訪問して、自分の国の紹介を行いながら、子ども達と交流することができます。

◇修了生へのフォローアップ

研修終了後も指導教員がメールで相談に応じています。また、修了生同士はSNSで交流を続けています。

◇宿 舎

来日当初は原則として向島学生センターに入居します。

○宿舎及び宿舎費

・単身用 (32,000 円 / 月)

・世帯用 (67,000 円 / 月)

入居時に保証金として家賃の1ヶ月分が必要です。これは原則、帰国時に返金されます。また、契約時に保証会社との契約が必要です。

(約15,000円/年)。

○宿舎設備・備品

各居室に冷暖房設備、給湯設備、バス・トイレ、カーテン、家具類が備え付けられています。寝具は必要に応じてレンタル出来ます。

(約15,000円/年)

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

近くにショッピング街、病院、公園、図書館等、があります。大学まで電車で約30分、京都の中心まで約1時間です。日本語研修終了後、空きがある場合は、本学の宿舎（大学まで徒歩15分）に入居することができます。

◇問合せ先

大学所在地
〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地
担当部署: 学生課学生支援グループ
連絡先
TEL: +81 (0) 75-644-8159
FAX: +81 (0) 75-644-8169
E-mail: intel@kyokyo-u.ac.jp
ホームページアドレス:
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/student/ehp/to-this/ttp/post-1.html>

大学名： 京都教育大学（大学番号28）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	大学院連合教職実践研究科 教科研究開発高度化系							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
人間発達探究プログラム								
28001	田爪 宏二 教授	htazume@kyokyo-u.ac.jp	発達心理学 教育心理学	1. 認知発達と教育的支援に関する心理学的研究 2. 認知的情報処理のメカニズムとその発達に関する心理学的研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。（過去5年間の受入実績：コスタリカ1）
言語・文化プログラム								
28002	天野 知幸 教授	amano@kyokyo-u.ac.jp	日本文学	1. 日本近現代文学の研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28003	谷口 匡 教授	tadashi@kyokyo-u.ac.jp	日本漢文学	1. 日本漢詩文の研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28004	浜田 麻里 教授	hamadam@kyokyo-u.ac.jp	日本語教育	1. 第2言語としての日本語の教育の内容及方法に関する研究 2. 異文化接触場面における諸現象に関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語 または英語	1人	1年以上の日本語教育実践又は外国語教育指導の経験を有すること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること、もしくはTOEFL 61点(iBT)以上に相当する英語運用力を有すること。 (過去5年間の受入実績：タイ2)
28005	西本 有逸 教授	yuitsu@kyokyo-u.ac.jp	英語教育学	1. 外国語あるいは第二言語としての英語教育 2. ヴィクトワリーの文化－歴史的理論	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語 または英語	2人	受入分野と同じ専門分野であること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること、又はTOEFL 79～80点(iBT)以上であること。 (過去5年間の受入実績：韓国2)
28006	オーバマイヤー アンド リュウ 准教授	andrew@kyokyo-u.ac.jp	英語教育学 言語教育	1.Teaching English as a Foreign Language 2.Vocabulary Learning 3.Positive Psychology in Foreign Language Learning	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語	1人	Applicant's research themes should match with mine. English ability should be equivalent or above TOEFL 75(iBT) 研究テーマが同じであること。TOEFL 75点(iBT)以上であること。 (過去5年間の受入実績：オマーン1, メキシコ1, コロンビア1, ジンバブエ1)
28007	染谷 藤重 講師	fsomeya@kyokyo-u.ac.jp	英語教育学 学習心理学	1. (小学校における) 英語教育 2. 英語または外国語の動機づけ研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語 または英語	1人	研究テーマが同じであること。TOEFL 75点(iBT)以上であること。
公共・文化プログラム								
28008	香川 貴志 教授	kagawa@kyokyo-u.ac.jp	地理学	1. 日本の都市の特徴について理解を深める。	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	研究テーマは受入分野と同じものであること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28009	斉藤 恵太 准教授	saito@kyokyo-u.ac.jp	西洋史学	1. ヨーロッパの歴史に関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、 英語、 ドイツ語	1人	受入分野と同じ専門分野であること。
28010	中村 翼 准教授	ntsubasa@kyokyo-u.ac.jp	日本史	1. 9～15世紀の東アジア海域史 2. 日本の歴史(とくに前近代)	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	受入分野と同じ専門分野であること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28011	荻野 雄 教授	ogino@kyokyo-u.ac.jp	政治学	1. 政治思想または思想史に関する研究 2. 研究テーマに関する専門書の講読	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28012	石川 誠 教授	ishikawa@kyokyo-u.ac.jp	経済学	1. 環境経済・環境政策に関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	受入分野と同じ専門分野であること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること。

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
数理自然・技術プログラム								
28013	黒田 恭史 教授	ykuroda@kyokyo-u.ac.jp	数学教育	1. 数学教育学の国際比較研究 2. 脳科学と教育学の学際的研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度である (過去5年間の受入実績:韓国2)
28014	水上 雅昭 講師	mmizu@kyokyo-u.ac.jp	解析学	1. 関数解析、偏微分方程式	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	受入分野と同じ専門分野であること。
28015	谷口 和成 教授	guchi@kyokyo-u.ac.jp	物理学 理科教育	1. アクティブ・ラーニングによる科学教育および 物理教育 2. 探求活動	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28016	藤浪 理恵子 准教授	fujinam3@kyokyo-u.ac.jp	生物学 理科教育	1. 日本の生物教育 2. 植物学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28017	田中 里志 教授	stanaka@kyokyo-u.ac.jp	地質学 理科教育	1. 日本の地質の研究・観察 2. 日本の地学教育について理解を深める	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28018	南山 泰宏 教授	yminami@kyokyo-u.ac.jp	園芸学	1. 農業教育 2. 野菜園芸学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28019	原田 信一 教授	sharada@kyokyo-u.ac.jp	技術科教育	1. 技術科教育における資質能力の育成	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28020	多田 知正 教授	htada@kyokyo-u.ac.jp	情報学	1. 情報教育 2. 教育へのICT活用	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28021	中峯 浩 准教授	nakamine@kyokyo-u.ac.jp	電気	1. 電気に関する教材作成	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28022	伊藤 伸一 准教授	itoh@kyokyo-u.ac.jp	情報学	1. Computational Physics	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語 または英語	1人	研究テーマが同じであること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること、又はTOEFL 6 1点(iBT)以上であること。
28023	赤井 淳嗣 講師	akai@kyokyo-u.ac.jp	機械	1. 機械に関する教材作成	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
健康・生活デザインプログラム								
28024	井上 えり子 教授	eriko@kyokyo-u.ac.jp	家政教育	1. 日本の家庭科教育の内容を知る	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられること。
28025	深沢 太香子 准教授	fukazawa@kyokyo-u.ac.jp	被服環境学	1. 着衣系における温熱生理 2. 衣服と健康・安全	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語 または英語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること、又はTOEFL 65点(iBT)以上であること。
28026	延原 理恵 教授	nobuhara@kyokyo-u.ac.jp	住居学	1. 住まいの安全と防災教育 2. 住まい・まちづくり学習	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28027	權 眞煥 准教授	kwon@kyokyo-u.ac.jp	生活工学	1. AI・ICT教育 2. 映像教材の制作および編集 3. 人間工学と教育環境デザイン 4. 非言語コミュニケーション	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語 または英語 または韓国語	1人	日本語または英語または韓国語で研究指導が受けられる程度であること。
28028	小松崎 敏 准教授	koma@kyokyo-u.ac.jp	体育・スポーツ・健康学 体育科教育学 体育教師教育	1. 体育・健康・スポーツ科学に関する研究 2. 子どもの体力や発育発達に関する研究 3. 国の学校体育カリキュラムに関する研究 4. 体育教師教育プログラムに関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語 または英語	1人	受入分野について興味・関心があること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること、又はTOEFL 61点(iBT)以上であること。
芸術探究プログラム								
28029	清村 百合子 教授	ysaito@kyokyo-u.ac.jp	音楽科教育	1. 日本の学校音楽教育について知る。	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28030	田邊 織恵 准教授	tanabeo@kyokyo-u.ac.jp	声楽	1. 日本の歌に関する研究 2. 歌曲、オペラ研究 3. オペラ、ミュージカル等の舞台研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
28031	小笠原 真也 教授	sogas@kyokyo-u.ac.jp	器楽（ピアノ）	1. 古典派を中心としたピアノ作品の演奏法研究 2. 歌曲を中心とした伴奏法研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。

受入研究科 等名	大学院連合教職実践研究科 学校臨床力高度化系							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
28032	水本 徳明 (コース主任) 角田 豊 (系副主任) 笠沙 知章 教授 (系主任)	tchikusa@kyokyo-u.ac.jp	教育実践高度化 高度教職実践 教職教育	<方法> 研修生は「中核教員・リーダー教員養成コース」に所属する。指導教員は学校臨床力高度化系所属の24人の中から適任者が担当する。 <内容> 本研究科の授業の受講 各種教育機関の見学 本研究科の各種行事への参加 小中学校での国際理解教育への参加	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	3人	授業の受講、各種教育機関の見学等に必要な日本語能力を有すること。 小・中学校の幹部教員及び行政機関職員を歓迎する。 本研究科の概要、開設授業科目、所属教員とその専門分野については本研究科ホームページに記載がある。 https://www.kyokyo-u.ac.jp/sk_ss/rengou/ (過去5年間の受入実績：韓国5) 問い合わせは、tchikusa@kyokyo-u.ac.jpまで。



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

大阪大学 (大阪府)

海外の現職日本語教師を対象とした日本語の研修と日本語教育学の専門研修

◇大学紹介

○大学の概要

大阪大学は、1931年に帝国大学として創設され、自由と進取の精神と時代の要請に応えるという熱意を基軸とし、理系・文系問わず、全国に先駆けた学部・研究科や研究所などの創設を実現してきた。地域に立脚し、産学官の連携を図りながら、卓越した教育研究拠点として世界的に高い評価を得ている。また、研究型大学として、本学では学生の教育において、あらゆる分野での高度な研究水準を背景に、高度情報化社会における真のリーダーシップを発揮しうる人材育成に力を注いでいる。学問・研究の場においては、専門分野の探求にとどまることなく、幅広い学際的視野を身につけることが必要であると考えている。総合大学である本学は、このような意味でも優れた環境を兼ね備えている。

吹田、豊中、箕面の3つのキャンパスから成り、学生数は約23,100名、教職員数は約7,100名。

○国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2022年度：2,591人（2022年5月1日時点）

2021年度：2,612人（2021年5月1日時点）

2020年度：2,611人（2020年5月1日時点）

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2022年度：1人

2021年度：0人

2020年度：0人

◇教員研修コースの概要・特色

○研修コースの特色

教員研修プログラムは、本学箕面キャンパスの人文科学研究科を受入れ部局として実施する。

人文科学研究科の日本学専攻を中心に専門研修を行う。

○受入定員：4人

○研修コースの概要

・日本語教育

最初の6ヶ月に、日本語能力に応じて、吹田キャンパスの国際教育交流センターにおいて日本語の予備教育を受けることができる。なお、日本語日本文化教育センター及び外国語学部の日本語関連授業を聴講することも可能である。

・専門教育

人文科学研究科の授業科目から選択して聴講する。日本人学生と共に受講する。

・その他

上記の専門教育の他に指導教員の個別指導を受ける。

日本語日本文化教育センターが開講する日本文化の体験型授業に参加することができる。

◇修了生へのフォローアップ

人文科学研究科日本学専攻において行われる、日本語・日本文化に関する研究会・シンポジウム等に参加することができる。

◇宿 舎

【宿舎情報】

・大阪大学サポートオフィスHP：

<https://iss-intl.osaka-u.ac.jp/supportoffice/jpn/housing/>

※大阪大学では留学生の増加に伴い、宿舎入居者数に限りがあるため、宿舎が満室の場合にはご自身で民間住宅を手配していただきます。

【民間宿舎】

○家賃：30,000円～70,000円（大学周辺平均）

○保証金、礼金：0円～30万円（物件による）

・契約に際して、保証人が必要となります

（大阪大学では、外国人専用家賃保証サービス「コープレントインシュア」をご案内していません。詳細はHPをご確認ください。）

コープレントインシュアHP：<https://www.coop-ri.com/>

◇問合せ先

〒562-8678 大阪府箕面市船場東3丁目5-10

人文科学研究科・外国語学部箕面事務部教務係

TEL：072-730-5053 FAX：072-730-5057

E-mail：jibun-minoh-kyomu@office.osaka-u.ac.jp

<https://www.hmt.osaka-u.ac.jp/>

大学名： 大阪大学(大学番号29)

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	人文学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
29001	筒井 佐代	tsutsui.sayo.hmt@osaka-u.ac.jp	日本語教育 (学)	日本語教育学とそれに関連する日本語学、日本文化学	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語及び英語	2人	日本語の初級終了程度(CEFRのB1、JLPTのN3など)以上の日本語力があることが望ましい。 平成29年度1名(中国)
29002	櫻井 千穂	csakurai.hmt@osaka-u.ac.jp	日本語教育 (学)	日本語教育学とそれに関連する日本語学、日本文化学	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語及び英語	2人	日本語の初級終了程度(CEFRのB1、JLPTのN4など)以上の日本語力があることが望ましい。

※「研修の対象者」は該当する方(両方に該当する場合は両方)に☑を付けてください。



大阪教育大学 (大阪府)

大阪・関西の文化に触れながら日本の教育について学びませんか

◇大学紹介

○大学の概要

大阪教育大学は、約150年の歴史と伝統がある、日本で有数の教育大学です。国立大学としては唯一の、夜間開講の小学校教員養成課程を設けています。柏原キャンパスと天王寺キャンパスがあり、大阪府内に11の附属学校園があります。大学院は、教育学研究科（修士課程）と教職大学院があります。

メインキャンパスの柏原キャンパスは、大阪市の中心部から東へ約20km、金剛生駒国定公園の中に位置しています。柏原市は緑豊かな山並みと美しい自然環境、そして古い歴史を持つ町です。

○国際交流の実績

- ・過去3年間の留学生の受入れ実績
2022年度：239人
2021年度：215人
2020年度：185人
- ・過去3年間の教員研修留学生の受入実績
2022年度：12人
2021年度：4人
2020年度：9人



◇教員研修コースの概要・特色

○研修コースの特色

- ・附属学校などで授業見学及び現場教員との交流を行います。
- ・研修生のニーズに合わせたきめ細かい指導をします。
- ・日本人学生のチューターが研修や生活のサポートをします。
- ・修了レポートと発表が義務づけられます。
- ・研修が全て終了した時に、修了証が授与されます。

○受入定員 12人

○研修コースの概要

- ・日本語教育
日本語研修が必要な場合は、文部科学省が指定する集中日本語コースで半年間勉強します。日本語力が十分な場合は、大阪教育大学で1年半研修を受けます。大阪教育大学では、初中級～上級の日本語の授業が提供されています。
- ・専門教育（1年コース／1年半コース）
指導教員の個別指導を受けながら、それぞれの研究テーマについて研究を進めます。希望すれば、学部・大学院の授業も受けることができます。
- ・見学・地域交流等の参加型科目
 - 1) 日本の伝統文化
 - 2) 文化交流実践研究
 - 3) 関西発見プロジェクト
- ・その他
 - 1) 関西での文化研修（年2回）
 - 2) ホームビジット
 - 3) 着物やお茶等の文化体験



◇修了生へのフォローアップ

本学グローバルセンターではホームページやフェイスブックを通して修了生に情報を発信し、コミュニケーションを図っています。

◇宿 舎

日本語予備教育期間を除き、優先的に学内の宿舎を提供します。（＊単身者に限る。家族と滞在するものは自身で手配すること。）

○宿舎数：40室（単身用）12㎡
留学生宿舎（柏原キャンパス内）

○宿舎費：7,600円（光熱水費除く）
※入居期間中に寄宿料が改定された場合はその額が適用されます。

○宿舎設備・備品
居室：机、ベッド、トイレ、エアコン、Wi-Fi
共用設備：キッチン、シャワー、洗濯機、TV

○宿舎周辺の生活情報
キャンパス内に食堂、書店、ATM等
※留学生宿舎を含め柏原キャンパスは全面禁煙

◇問合せ先

大学所在地：
〒582-8582
大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1
<https://osaka-kyoiku.ac.jp>



担当部署：学術連携課国際室
連絡先：(TEL: 072-978-3300/FAX: 072-978-3554)
E-mail: isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp
グローバルセンターホームページ：
<https://ger.osaka-kyoiku.ac.jp>

受入研究科等名	連合教職実践研究科, 教育学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
30001	鈴木 真由子	suzukima@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	家庭科教育、消費者教育、生活経営	カリキュラム研究及び教材作成	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30002	井奥 加奈	ioku@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	食物学、食物機能学	食物学、食物機能学に関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。（マラウイ1名）
30003	大本 久美子	ohmoto@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	家庭科教育、消費者教育	カリキュラム研究及び教材作成	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30004	小崎 恭弘	kozaki@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	保育	日本の保育と子育て支援	☒ 保育士	日本語	1	日本語能力を有すること。
30005	山田 由佳子	yamada@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	被服学	被服と人間の関わりに関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30006	土山 和久	hiromix@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	国語教育	国語科の教授学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語・ドイツ語	1	日本語、英語またはドイツ語能力を有すること。（韓国1名）
30007	井上 博文	inoue@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	日本語学	現代日本語研究（日本語方言、談話研究）	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力（日本語能力検定試験N2以上）を有すること。
30008	住田 勝	sumidam@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	国語教育	文学教育の研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。（韓国1名）
30009	成實 朋子	narumi@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	国語教育	児童文学の研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語または中国語能力を有すること。
30010	水野 治久	hmizuno@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	学校心理学	いじめの予防、不登校児童・生徒の援助	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。（インド1名、ミャンマー1名）
30011	廣木 義久	hiroki@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	科学教育	地質学分野を中心とした科学教育	☒ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語・英語	1	特になし。
30012	小林 翔	kobayashi-s03@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	英語教育	英語教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。
30013	井坂 行男	isaka@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	特別支援教育（インクルーシブ教育）	特別支援教育（インクルーシブ教育）、聴覚障がい教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	特になし。（ケニア2名）
30014	大内田 裕	oouchida-y66@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	特別支援教育	特別支援教育における脳・神経科学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	学士または修士の学位を有すること。日本語または英語能力を有すること。
30015	高橋 登	noborut@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	教育心理学、発達心理学	リテラシーのアセスメントと支援、学校現場における障がい児の支援	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。（ブラジル1名、インド1名）
30016	小松 孝至	komatsu@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	発達心理学	幼児期・児童期の社会的発達	☒ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。
30017	八田 幸恵	isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	教育方法学	評価を生かしたカリキュラム開発	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。（韓国1名）
30018	池嶋 伸晃	ikejima-n22@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	教師教育	高校教育	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	英語能力を有すること。（パキスタン1名）
30019	瀬戸口 昌也	masayas@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	教育哲学	日本の教育哲学・教育思想研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30020	上田 裕美	hueda@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	臨床心理学	日本のスクールカウンセリング	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30021	加賀田 哲也	isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	英語教育	英語教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	英語能力を有すること。（韓国1名、中国1名、ケニア1名）
30022	寺田 寛	isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	言語学	統語論の対照研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。

30023	箱崎 雄子	hakozaiki@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	英語教育	英語教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。（サントメ・プリンシペ1名、ルーマニア1名、インドネシア1名、クウェート1
30024	橋本 健一	kenhashi@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	英語学、英語教育学	第二言語習得における心理言語学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。（ペルー1名、タイ1名、メキシコ2名、インド1名）
30025	篠崎 文哉	fshino@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	英語教育	英語教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。
30026	プール ジャスティン	pool@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	英語教育	英語教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。（クロアチア1名）
30027	松本 啓二郎	keijiro@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	哲学	日本の哲学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30028	櫻澤 誠	msaku@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	歴史学	日本の歴史	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30029	貞末 岳	sadasue@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	確率論	確率解析学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	確率論の基礎となる測度(measure)とルベーグ積分(Lebesgue integral)を習得していること。
30030	柳本 朋子	ytomoko@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	数学教育	数学教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。
30031	石川 聡子	sisikawa@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	科学教育、環境教育	科学教育、環境教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	学士または修士の学位を有すること。日本語または英語能力を有すること。（フィリピン4名、中国1名）
30032	岡崎 純子	okazaki@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	生物学	植物学に関連する生物教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。
30033	松本 桂	katsura@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	観測天文学	天体観測の実践	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	学士または修士の学位を有すること。日本語または英語能力を有すること。天文学の基礎知識を有すること。
30034	日高翼	hidaka-t63@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	理科教育	理科教育の構造と歴史、理科カリキュラム研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	日本語能力を有すること。
30035	光永 法明	isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	情報教育	情報教育の研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	学士または修士の学位を有すること。日本語または英語能力を有すること。
30036	太田 順康	yorii@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	体育学	日本の体育、武道教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30037	小川 剛司	ogawat@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	学校保健、運動生理学	保健授業研究、運動生理学的研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。
30038	石川 美久	yoshihis@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	スポーツ科学、コーチング学	武道教育、柔道のコーチング、頭部外傷予防	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30039	井上 功一	kinoue@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	保健体育科教育	運動学習の目標・内容、方法	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30040	林 洋輔	hyosuke@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	体育、スポーツ哲学	体育・スポーツ哲学の研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語または英語能力を有すること。
30041	鉄口 宗弘	hiro@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	運動生理学、健康教育	運動生理学的研究、健康教育に関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語または英語能力を有すること。
30042	兼平 佳枝	yoshie@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	音楽科教育学	音楽科の授業研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	学士または修士の学位を有すること。日本語能力を有すること。
30043	浦田 恵子	urata-k84@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	音楽	声楽演奏基礎、合唱	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30044	平井 裕也	hirai-h18@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	音楽	ピアノ演奏基礎・伴奏法	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30045	猿谷 紀郎	saruya@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	音楽	作曲法研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30046	池田 利広	tikedat@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	漢字書道	漢字書道制作	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30047	加藤 可奈衛	tyosoken@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	彫刻	彫刻制作、及び派生展開するプロジェクト（地域連携的活動）	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30048	佐藤 賢司	ksato@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	美術教育、工芸	工芸または日本の美術教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30049	出野 文莉	zhangli@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	書道、漢字	書道文化、漢字学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・中国語	1	日本語または中国語能力を有すること。（ロシア1名）
30050	渡邊 美香	mwatanab@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	絵画、美術教育	絵画制作、日本の美術教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。（スウェーデン1名）

30051	高間 由香里	ytakama@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	日本美術史	日本美術史学研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30052	谷村 さくら	tanimura-s48@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	陶芸	陶芸制作、粘土を使った美術教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30053	平田 久美子	hiratak@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	臨床医科学	小児疾患の研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30054	碓田 智子	tusuda@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	住居学	住まいの文化、住教育に関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30055	松本 鉄也	tetsuyam@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	病理学	個体から細胞レベルまでの病理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30056	西川 章江	nishikwn@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	食物学	食物学に関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30057	藤田 大輔	fujitad@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	安全教育学	安全教育、セーフティプロモーションスクール	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30058	寺坂 明子	terasaka@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	学校心理学	教室内での積極的行動支援、予防的心理教育	☒ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。
30059	鈴木 剛	gsuzuki@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	遺伝学	植物の分子遺伝学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語または英語能力を有すること。
30060	谷 敬太	ktani@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	化学	有機化学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語能力を有すること。（ナイジェリア1名、ガーナ1名）
30061	藤田 修	fuji@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	情報科学	プログラミング、機械学習、人工知能	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30062	町頭 義朗	machi@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	数理科学	数理パズル	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	大学卒業程度の数学能力を有すること。
30063	守本 晃	morimoto@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	信号処理	ウェーブレット解析の信号処理への応用	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語または英語能力を有すること。
30064	藤田 真依	fujita-m81@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	解析学	実解析学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。大学卒業程度の数学能力を有すること。
30065	若杉 祥太	wakasugi-s83@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	情報教育学	教育方法・教材・カリキュラムの研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30066	赤木 登代	akaki@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	女性史	女性史研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語、英語またはドイツ語能力を有すること。
30067	石橋 紀俊	isibasin@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	日本近現代文学	日本近現代文学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30068	亀井 一	kamei@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	ドイツ文学	翻訳研究、日独比較研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・ドイツ語	1	日本語とドイツ語を読むことができること。
30069	上田 隆嗣	simeda@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	民族音楽学	音楽の伝播・伝承に関する文化人類学的研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語・スペイン語・マレイ語・インドネシア語	1	左記のいずれかの言語に基づく、当該分野に必要な能力を有すること。
30070	瀧 一郎	takiichi@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	美学芸術学	美・芸術・感性について	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語・フランス語	1	英語またはフランス語能力を有すること。
30071	松本 マスミ	masumi@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	英語教育、英語学、言語学	ICT教育、CALL、英語学・言語学の英語教育への活用	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	英語能力を有すること。（マラウイ1名）
30072	井上 直子	inouenao@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	フランス語、フランス文学	フランス文学、論述教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・フランス語	1	日本語またはフランス語能力を有すること。
30073	櫛引 祐希子	kushibiki-y11@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	日本語学	日本語の研究、方言の研究、社会言語学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30074	馬 曉華	xiaohua@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	国際関係、文化	国際政治、国際関係、国際文化	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語・中国語	1	日本語、英語または中国語能力を有すること。（韓国1名）
30075	城地 茂	jochi@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	歴史	科学技術史研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30076	中山 あおい	isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	比較教育学	異文化間教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。

30077	米澤 千昌	yonezawa-c73@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	日本語教育学	日本語教育、バイリンガル教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30078	中野 知洋	nakanot@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	中国文学	中国文学、日中比較研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・中国語	1	日本語または中国語能力を有すること。
30079	小野恭靖	ono@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	日本古典文学	日本古典文学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30080	北川 文雄	isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	作曲	作曲法研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語でのコミュニケーションを取れること。日本語でレポートが作成できる能力を有すること。当該分野に必要な能力を有すること。
30081	神代 修	kuma@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	音楽	トランペット実技	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30082	玉井 裕子	isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	声楽	日本歌曲の演奏表現研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語でコミュニケーションを取れること。日本語でレポートが作成できる能力を有すること。
30083	中務 晴之	haruchan@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	音楽	フルートを中心とする木管楽器の奏法研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。（スペイン1名）
30084	山畑 誠	yamaberg@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	音楽	ピアノによる西洋クラシック音楽の演奏表現研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30085	稲垣 琢磨	takuma@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	音楽	ヴァイオリン演奏(クラシック音楽)	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30086	岡本 麻子	isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	音楽	クラシック西洋音楽のピアノ奏法	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30087	吉田 雅行	isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	スポーツ科学	バレーボールのコーチング	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。バレーボールコーチング。
30088	生田 泰志	yasushi@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	スポーツ科学 体育	水泳の科学水泳教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。
30089	千住 真智子	marchi@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	体育	舞踊教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有すること。

※「研修の対象者」は該当する方（両方に該当する場合は両方）に☒を付けてください。



兵庫教育大学 (兵庫県)

兵庫教育大学は教育に関するあらゆる専門家を擁する“教員のための大学院大学”
日本の小中高校の現職教員等とともに、教育現場の課題に密着した研究を行います。

◇大学紹介

○大学の概要

兵庫教育大学は、主として現職教員の学校教育に関する高度の研究、研鑽の機会を確保する大学院修士課程、初等教育教員を養成する学部を有する教員養成大学として1978年10月に設置された大学である。さらに、1995年4月には、わが国初の教員養成系博士課程として、兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）が設置された。在籍学生は、大学院、学部生あわせて約1,600名であり、教員は、あらゆる分野の専門家を擁している。

○国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2022年度：23人

2021年度：30人

2020年度：28人

・過去3年間の教員研修留学生の受入れ実績

2022年度：5人

2021年度：5人

2020年度：5人

◇教員研修コースの概要・特色

○研修コースの特色

- ・兵庫教育大学教員研修留学生プログラムは、教員としての資質の涵養と能力の向上を図ろうとする諸外国の現職学校教員が、学校教育に関する総合的かつ学際的な研究を行い、学校教育に関する教育方法論とスキルを理論的に構築する研修を行うことを目的としている。
- ・教員研修留学生のニーズと関心にあった指導を行い、研究の機会を提供している。

○受入定員 5名

○研修コースの概要

・日本語教育

- 1) 文部科学省が指定する大学の日本語研修コースで日本語教育を受ける。
期間：2023年10月1日～2024年3月31日（6ヶ月間）
- 2) 兵庫教育大学で外国人留学生を対象とした日本語補講を行う。
期間：2024年4月～2025年3月（週1回）

・専門教育

- 期間：2024年4月1日～2025年3月31日（1年間）
- 1) 教員研修留学生の関心と日本語および専門の理解度に応じて、日本人大学院生・学部学生用の講義、指導教員による個別指導、小中学校での実地研修を組み合わせ、個々の研修プログラムにしたがって専門教育を受ける。
※殆どのプログラムが日本語で行われるので、日本語理解力が望まれる。
 - 2) 大学教員が指導教員となり、教員研修留学生の関心に沿った指導を行う。指導教員の指導を得て、研究課題にしたがった研究を行い、修了時に研究論文（レポート）を作成し、発表する。

・見学・地域交流等の参加型科目

地元加東市、加東市国際交流協会およびボランティア団体が企画するイベントや懇談会、地域の学校との交流活動などが季節に応じて多彩にある。

・その他

<日本人学生との共修の機会> 英語による日本人学生との交流会
<日本文化の体験> 地域の秋祭り体験

◇修了生へのフォローアップ

本学を修了時にはメーリングアドレスにより連絡を取り、進路の確認などを随時行っている。

◇宿 舎

大学キャンパス内に、兵庫教育大学国際交流会館がある。

○宿舎数

・夫婦用 5 室



○宿舎費

(2022年10月1日現在) 国際交流会館
・夫婦室 11,900 円 (夫婦室)

○宿舎設備・備品

(夫婦室の例)

Wi-Fi、ユニットバス、キッチン、給湯設備、冷暖房用空調設備、ベッド、平机、回転椅子、書棚、ワードローブ、シュエズボックス、応接セット、食卓テーブル・椅子、食器戸棚、洗面台、洗濯機、テレビ、CSチューナー、オープンレンジ、冷蔵庫、ガスコンロ、学習スタンド、掃除機、ジャーポット、傘立

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

キャンパス内にコンビニ、食堂、留学生図書コーナーを備えた図書館がある。

◇問合せ先

兵庫教育大学教育研究支援部

学生支援課 国際交流チーム

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1

Tel +81-795-44-2043

Fax +81-795-44-2049

E-mail office-kokusai-t@ml.hyogo-u.ac.jp

ホームページ <https://www.hyogo-u.ac.jp/>

大学名：兵庫教育大学（大学番号31）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	学校教育研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
31001	中間 玲子	nakama@hyogo-u.ac.jp	発達心理学	発達心理学（特に青年期）、人格心理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	日本語文献読解力、日本語会話能力、英語文献読解力
31002	大関 達也	oseki@hyogo-u.ac.jp	教育学	教育哲学、 教育思想史	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語、ドイツ語	1	マレーシア（1名）
31003	坂口 真康	masayasu@hyogo-u.ac.jp	教育学	教育社会学、比較教育学、多文化共生の教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	
31004	茶谷 智之	tchaya@hyogo-u.ac.jp	社会福祉、アジア地域研究	子ども家庭福祉、アジアの教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	
31005	野本 立人	tnomoto@hyogo-u.ac.jp	声楽、芸術学	声楽、声楽教授法、合唱指導法	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語文献読解力、日本語会話能力
31006	河内 勇	ikawachi@hyogo-u.ac.jp	器楽、芸術学	クラリネット、クラリネット教授法、スクールバンド	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	
31007	高木 厚子	takagi@hyogo-u.ac.jp	美術教育	造形美術教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語文献読解力、日本語会話能力
31008	喜多村 明里	kiaart@hyogo-u.ac.jp	美学・美術史	美術史学、鑑賞教育、日本の美術館学物館学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語、イタリア語	1	英語文献読解力、日本語文献読解力（イタリア語も可）
31009	小田 俊明	toda@hyogo-u.ac.jp	スポーツ健康科学	スポーツ健康科学、STEM教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	英語論文読解力
31010	高野 美由紀	mmurata@hyogo-u.ac.jp	特別支援教育	障害児医学、障害および併存症の早期発見・早期支援、発達相談	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	英語文献読解力、日本語会話能力、フィリピン（1名）
31011	石倉 健二	kenji@hyogo-u.ac.jp	特別支援教育	肢体不自由、重度重複障害、心理リハビリテーション	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	日本語文献読解力、英語文献読解力、ボツワナ（1名）
31012	井澤 信三	isawa@hyogo-u.ac.jp	特別支援教育、教育心理学	発達障害、自閉症、応用行動分析	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	英語文献読解力、フィリピン（1名）
31013	中島 武史	tnakashi@hyogo-u.ac.jp	特別支援教育	聴覚障害、手話、社会言語学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、日本手話、英語	1	英語文献読解力、ケニア（1名）
31014	當山 清実	tyks@hyogo-u.ac.jp	教育学	教育経営、教師教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、西語	1	日本語文献読解力、日本語会話能力、ミャンマー（1名）
31015	松本 剛	tmatsumt@hyogo-u.ac.jp	臨床心理学	教育相談、ひきこもり	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	日本語文献読解力、英語文献読解力
31016	谷田 増幸	tanida@hyogo-u.ac.jp	教育学	価値、道徳性、倫理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	
31017	萱井 三実	ksugai@hyogo-u.ac.jp	日本語学	言語の認知処理、日本語との対照研究、日本語の文法、日本語の動態	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	
31018	羽田 潤	hada@hyogo-u.ac.jp	国語科教育	国語科教育、メディア教育、ICT教育、児童文化研究、サブカルチャー研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語文献読解力、日本語会話能力
31019	竹口 智之	ttakeguc@hyogo-u.ac.jp	日本語教育	日本語教育史、日本語教授法、動機づけ、外国人児童への日本語/教科教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	①日本語能力試験N1、②日本留学試験（EJU）聴解・聴読解・読解：計280点、記述35点、③J-cat 250点以上 上記のいずれか
31020	吉田 達弘	tyoshida@hyogo-u.ac.jp	英語教育	英語教育、英語授業研究、社会文化理論、言語教師教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	英語会話・読解力、エルサルバドル（1名）、モロッコ（1名）
31021	TADA WENDY EILEEN	wendy@hyogo-u.ac.jp	英語教育	言語学、外国語教育、第二言語習得、英語教育、英語教師教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	マラウイ（1名）、インドネシア（1名）、グアテマラ（1名）
31022	鳴海 智之	narumi@hyogo-u.ac.jp	英語教育	英語教育、外国語教育、心理言語学、第二言語習得、語彙学習、文理解、文産出	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	英語会話力、英語文献読解力
31023	原田 誠司	seiharad@hyogo-u.ac.jp	日本史	日本近世史、近世村落成立史論	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	
31024	森 秀樹	hmori@hyogo-u.ac.jp	哲学	哲学（現代哲学）、文化論、市民性教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	
31025	山内 敏男	tyamachi@hyogo-u.ac.jp	社会科教育	社会系教科教育、歴史教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語による議論ができること、日本語文献読解力
31026	福田 喜彦	yfukuda@hyogo-u.ac.jp	社会科教育	社会系教科教育、歴史教育、公民教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語文献読解力
31027	國岡 高宏	kunioka@hyogo-u.ac.jp	数学教育	算数・数学教育、カリキュラム・教材の開発、指導法、授業研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	日本語文献読解力、マラウイ（1名）
31028	川崎 由花	kawasaki@hyogo-u.ac.jp	教育学、グローバル・スタディーズ	教育学、教育方法	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	ガボン（1名）、マラウイ（1名）、モロッコ（2名）、フィリピン（1名）、サウジアラビア（1名）、リベリア（1名）、インドネシア（1名）、ジンバブエ（1名）、ナイジェリア（1名）、ブルキナファソ（1名）
31029	吉田 夏帆	nyoshida@hyogo-u.ac.jp	国際協力学、国際教育	教育開発、国際教育協力、授業分析	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	



神戸大学 (兵庫県)

附属学校の協力のもと、教育現場での体験や見学の機会が用意されています

◇大学紹介

○大学の概要

神戸大学は、1902(明治35)年に高等教育機関として設置され、120年を超える歴史を有し、現在国立大学法人として10学部・15研究科を開設し、1研究所と多数のセンターを持つ総合大学です。

神戸大学は、国際都市である神戸という環境を反映し、種々の学問分野で外国の大学との国際交流に重点を置いて活動しており、高い学術的評価を受けています。そして、多様な個性と専門性をもった異分野の学生や教員との交流の中で学ぶことができる教育研究環境を備えています。

○国際交流の実績

海外の基幹大学との学術交流や学生交流を積極的に進めており、世界64か国・地域の著名な大学や研究所など、延べ375機関と学術交流協定を結んでいます。

・過去3年間の留学生の受入実績(2022年5月1日)

2022年度: 1,229名
2021年度: 1,179名
2020年度: 1,227名

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2022年度: 0名
2021年度: 1名
2020年度: 0名

◇教員研修コースの概要・特色

○研修コースの特色

座学教育に加え、教育現場での体験学習や公共施設見学及び地域における日本の文化行事に参加できます。

○受入定員: 1名

○研修コースの概要

・日本語教育

- (1) 期間: 2023年10月～2024年3月
(2) 内容: 最初の6ヶ月は、本学グローバル教育センターで日本事情及び基礎的な日本語の教育を受けます。

・専門教育

- (1) 期間: 2024年4月～2025年3月
(2) 内容: 必要な授業を聴講したり、指導教員から指導を受けて研究します。また、指導教員の指導・助言により、市内の公立学校で研究する場合があります。

4月～8月中旬 授業
8月・9月 夏季休業(地域交流イベント他)
10月～2月 授業
12月 レポート提出
2月 発表会
3月 修了式

- ・見学・地域交流等の参加型科目: 座学教育の一環として実施
- ・その他: 学校訪問、博物館の公共施設の見学等の研修を予定しています。

◇修了生へのフォローアップ

修了生には、本学の海外同窓会ネットワークへの加入(登録)を呼びかけ、本学の各種情報をお知らせしています。

また、修了生からの相談やキャリアアップのための支援など指導教員が適宜対応しており、修了生の今後の活躍をサポートしています。

◇宿 舎

神戸大学では、留学生数の増加にともない、希望者全員が大学の留学生用宿舎に入居できるとは限りません。

○宿舎数

- ・単身用 311室
- ・夫婦用 16室
- ・世帯用 7室

○宿舎費(単身室)

月額 4,700～21,000円(2022)

*宿舎により、チェックイン時に共益費等が必要になる場合があります。

○宿舎設備・備品

宿舎により異なりますが、机、イス、ベッド、冷蔵庫、洗濯機等が備わっています。

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

通学時間は、電車を利用して30～50分

◇問い合わせ先

大学所在地: 657-8501 神戸市灘区鶴甲3-11

担当部署名: 国際人間科学部鶴甲第二キャンパス
事務課教務学生係

TEL: +81-78-803-7924, FAX: +81-78-803-7929

E-mail: hudev-kyomu@office.kobe-u.ac.jp

大学のホームページアドレス:

<http://www.kobe-u.ac.jp>

大学名： 神戸大学(大学番号32)

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科 等名	人間発達環境学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
32001	川地 亜弥子	kawaji@port.kobe-u.ac.jp	1. 教育方法学 2. 教育実践 3. 特別支援教育	3 分野に関する日本の状況について、授業見学や研究交流を行う。	☒ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語及び英語	1人	日本語初級（中国1、韓国 1）

※「研修の対象者」は該当する方(両方に該当する場合は両方)に☑を付けてください。



奈良教育大学 (奈良県)

教員養成大学として130年以上の歴史を持ち、研究だけでなく附属学校もあるので教育実践を具体的に学べる

◇大学紹介

○大学の概要

本学は、日本の古都「平城京」の時代より伝統と文化の薫り高い奈良の地にあり、教員養成系の単科大学として、これまで多くの教員を世に送り出している。

1888年に奈良県立尋常師範学校として創設されて以来、2018年で130年の歴史を有している。1949年に奈良学芸大学が設置され、さらに1966年に奈良教育大学と改称し、現在に至っている。

その後、2006年からは全国に先駆けて、新任教員に求められる資質能力目標に基づく「教員養成のためのカリキュラムフレームワークの構築」に取り組み、2008年には卓越した教員の養成を使命として「教職大学院の新設」など、教員養成教育の質の保証・向上に不断的努力を続けている。

＜学生数＞ 1,258人 ＜教員数＞ 93人

○奈良県の特徴

奈良県は、710年から794年（又は784年）の間、我が国古代の都があった所で世界遺産に登録された法隆寺をはじめ文化財の宝庫となっている。

また、京都や大阪にも大変近く日本の歴史ある数多くの文化に日常的に触れることができる。

○国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2022年度：15カ国53人 2021年度：8カ国33人

2020年度：9ヶ国38人

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2022年度：5人 2021年度：4人

2020年度：0人

・出身国：フィリピン・パキスタン・マレーシア・韓国・マラウイ・リベリア・インドネシア

◇教員研修コースの概要・特色

○研修コースの特色

・教員の専門分野は多岐にわたっており広範囲で受け入れできます
・連携校や学内組織の協力により、日本語・日本文化だけでなく日本の学校教育や教育実践について体験的、具体的に学ぶことができます。

○受入定員：7名

○研修コースの概要

・日本語研修

日本語研修を必要とする場合はJASSO大阪日本語教育センターにて6ヶ月の日本語予備教育を受けたのち、本学にて1年間の専門研修を受けます。

日本語研修が十分な場合は、本学にて1年半の研修を受けます。

・専門教育 受入担当教員が指定する活動や授業への参加

受入担当教員の個別指導の下、修了レポートを執筆

・日本語教育（通年） 国際交流留学センター教員による授業

日本語...週2回（計4時間）

日本文化...週1回（2時間。英語による）

・見学・地域交流等の参加型科目・文化体験

（ ）内は2019年度実施例

学習旅行（三重県志志島（4月）、滋賀県近江八幡市（11月））

日本文化の体験（歌舞伎鑑賞（1月）、大相撲観戦（3月））

「サマースクール（理数教育研究センター主催）」への参加（日本人児童生徒、本学学生も参加（8月））、地域の小中学校での交流や授業体験（日本人学生も参加）などを予定している。

・大学主催の国際交流イベント（月1回程度）のほか、地域団体主催の文化体験プログラムにも参加可能。

◇修了生へのフォローアップ

メールを媒体として、教育関係の資料送付、（必要に応じて）指導教員によるコンサルテーション等を行う。

◇宿 舎

教研究生は、特に事情がない限り、大学の学生宿舎に入居する。（※単身者に限る。家族と滞在する者は自身で手配すること。）

○宿舎数

・単身用：教研究生の人数分は確保している。

・夫婦用：無し ・世帯用：無し

○宿舎費

約18,500円/月（但し、居室光熱費別途）

○宿舎設備・備品

ベッド（布団なし）、机、椅子、クローゼットなど。

Wi-Fi設備あり。

※キッチン、リビング、シャワー室、洗濯室は、共同です。キッチンには、共同の冷蔵庫があります。

○宿舎周辺の生活情報、通学時間（主な所要時間）

大学：徒歩5～15分 バス停：徒歩5分 駅：バス10分

◇日本語予備教育期間中の宿舎

JASSO大阪日本語教育センターの寮に入居します。寮費は6か月で約20万円となります。通学時間は徒歩約2分です。ただし、その寮に空きがない場合は当該機関が紹介する民間のアパートや本学国際学生宿舎を紹介します。別途通学費が必要です。

◇その他

来日後に、全員、国民健康保険（月額約2,500円）、外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険（略称：インバウンド付帯学総）（月額約3,000円）に加入する必要があります。

また、胸部レントゲン検査を受けてもらいます。

◇問合せ先（担当部署）

奈良教育大学学生支援課国際交流・留学生係

住所 〒630-8528 奈良市高畑町

TEL +81-742-27-9148（直通）

FAX +81-742-27-9146

E-mail ryugaku@nara-edu.ac.jp

奈良教育大学国際交流留学センターホームページ

<https://www.nara-edu.ac.jp/CIES/>

奈良教育大学ホームページ<https://www.nara-edu.ac.jp/>

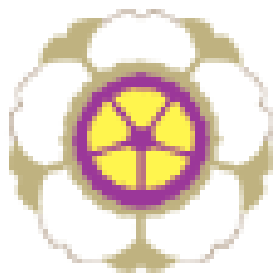
◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
33001	橋崎 頼子 准教授	hashizaki@cc.nara-edu.ac.jp	カリキュラム開発	市民性教育のカリキュラム構成原理に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33002	板橋 孝幸 教授	itabashi@cc.nara-edu.ac.jp	教育原理	近・現代における地域教育運動の研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33003	片岡 弘勝 教授	mkkhiro@cc.nara-edu.ac.jp	教育学、生涯学習学	地域生涯学習論研究、社会教育の原理的歴史的研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33004	出口 拓彦 教授	deguchi@cc.nara-edu.ac.jp	対人・社会心理学	教育と対人関係、集団、適応、学習との関連	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33005	中山 留美子 准教授	nakayama.rumiko@cc.nara-edu.ac.jp	発達心理学	発達段階に応じた生徒指導、協同学習指導	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33006	石井 億 准教授	rishii@cc.nara-edu.ac.jp	教育臨床心理学	教育心理学、発達心理学、臨床心理学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33007	大西 賢治 准教授	onishi.kenji.7o@cc.nara-edu.ac.jp	子ども教育、発達心理学	子どもの心やさしさ、利他性に関する研究	☑幼稚園教諭 ☑保育士	日本語、英語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33008	粕谷 圭佑 准教授	kasuya.keisuke.fj@cc.nara-edu.ac.jp	教育社会学	子どもの社会化、教育場面の相互行為に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33009	藤崎 亜由子 准教授	fujisaki.ayuko.ek@cc.nara-edu.ac.jp	保育学、発達心理学	子どもと生きものとの関わりに関する発達の研究	☑幼稚園教諭 ☑保育士	日本語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33010	棚橋 尚子 教授	tanahasi@cc.nara-edu.ac.jp	教科教育学、国語教育	国語科教育学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33011	前田 広幸 教授	maedah@cc.nara-edu.ac.jp	日本語学	日本語学研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33012	有馬 義貴 准教授	arimay@cc.nara-edu.ac.jp	日本文学	日本古典文学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33013	橋本 昭典 教授	hashimoto@cc.nara-edu.ac.jp	中国哲学、中国古典学	中国古代の哲学・思想	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33014	太田 満 准教授	ota.mitsuru.59@cc.nara-edu.ac.jp	教科教育学、社会科教育	社会科教育、国際理解教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33015	今 正秀 教授	kon@cc.nara-edu.ac.jp	歴史学	日本古代・中世史(平安時代を中心に)	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33016	西田 慎 教授	mnishida@cc.nara-edu.ac.jp	歴史学	ドイツ現代史（特に戦後史）、ドイツ政治史	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33017	河本 大地 准教授	daichi@cc.nara-edu.ac.jp	地理学	農山村地域研究、観光・地域振興、ESD（持続可能な開発のための教育）	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33018	渡邊 伸一 教授	shinichi@cc.nara-edu.ac.jp	社会学	公害・環境問題を中心とする社会学的研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33019	堀尾 悠史 准教授	kajio@cc.nara-edu.ac.jp	哲学・倫理学	フッサール現象学、知覚の哲学、倫理学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者

33020	奥田 喜道 准教授	okuda.yoshimichi.hq@cc.nara-edu.ac.jp	法学	スイス憲法を中心とした比較憲法	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33021	近藤 裕 教授	ykondo@cc.nara-edu.ac.jp	数学教育	数学教育学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	1	
33022	舟橋 友香 准教授	yfunahashi@cc.nara-edu.ac.jp	数学教育	数学教育学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	1	ブラジル 1名、フィリピン 1名、インドネシア 1名
33023	川崎 謙一郎 教授	kawaken@cc.nara-edu.ac.jp	数学	可換代数学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	1	日常生活において十分に日本語によるコミュニケーションが取れること。
33024	伊藤 直治 教授	naoharu@cc.nara-edu.ac.jp	応用数学	数理工学、応用線形代数学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	1	
33025	高木 祥司 教授	takagi@cc.nara-edu.ac.jp	統計科学	推定・検定問題における漸近最適性	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	1	
33026	高橋 亮 准教授	r-takaha@cc.nara-edu.ac.jp	数理解析	偏微分方程式論	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	1	
33027	梶原 篤 教授	kajiwara@cc.nara-edu.ac.jp	科学教育	高分子化学、磁気共鳴、化学教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	1	
33028	常田 琢 教授	tsuneta@cc.nara-edu.ac.jp	科学教育	凝縮系物理学、物理教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	1	学部卒業程度の物理知識。
33029	中村 元彦 教授	nakamura@cc.nara-edu.ac.jp	科学教育	凝縮系物理学、分光学、物理教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	1	物理学関連の基礎知識を有すること。
33030	石田 正樹 教授	masaki@cc.nara-edu.ac.jp	科学教育	原生動物を用いた細胞生物学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	1	生物学の理学士を有すること。英語あるいは日本語により十分な会話能力があること。 リベリア 1名
33031	和田 穰隆 教授	ywada@cc.nara-edu.ac.jp	地質学	火山地質学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	1	地質学に関わる基礎的知識を有すること、コミュニケーションが可能であること。
33032	藤井 智康 教授	fujii@cc.nara-edu.ac.jp	水文学・水圏科学・海洋科学	湖沼・沿岸海域の環境動態に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	1	陸水学・沿岸海洋学の基礎的知識を有することが望ましい。コミュニケーションが可能であること。
33033	辻野 亮 教授	tsujino@cc.nara-edu.ac.jp	自然環境科学	森林の生態学、人と自然のかかわり	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	1	当該分野の基礎知識を有すること。コミュニケーションが可能であること。
33034	信川 正順 准教授	nobukawa@cc.nara-edu.ac.jp	科学教育	天文・天体物理学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	1	当該分野の基礎知識を有すること。コミュニケーションが可能であること。
33035	小長谷 達郎 准教授	konagaya.tatsuro.br@cc.nara-edu.ac.jp	生物学	昆虫の生理生態学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	1	生物学の基礎知識を有すること。英語か日本語によるコミュニケーションが可能であること。
33036	青木 智史 准教授	aoki.satoshi.u2@cc.nara-edu.ac.jp	文化財学	文化財科学、博物館学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	文化財の調査経験や文化財科学の基礎知識を有することが望ましい。日本語によるコミュニケーションが可能であること。
33037	劉 麟玉 教授	aslinyu@cc.nara-edu.ac.jp	音楽教育	音楽教育学、民族音楽学、音楽文化史	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、中国語、英語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者 韓国 1名
33038	北條 美香代 教授	mkyhojo@cc.nara-edu.ac.jp	音楽教育	作曲法、編曲法	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33039	水野 亜歴 准教授	mizuno@cc.nara-edu.ac.jp	音楽教育	声楽	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33040	鈴木 啓資 准教授	suzuki.keishi.eo@cc.nara-edu.ac.jp	音楽教育	ピアノ演奏法、ピアノ指導法、ハンガリー音楽	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者

33041	原山 健一 教授	harayama @cc.nara-edu.ac.jp	美術教育	工芸（陶芸）	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語での会話・読解が可能であること。
33042	山岸 公基 教授	yamagisi @cc.nara-edu.ac.jp	美術史学	日本・東洋仏教美術史の研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語での会話・読解が可能であること。
33043	北山 聡佳 准教授	s.kitayama @cc.nara-edu.ac.jp	日本文学・書道文化	仮名書法、書写書道教育に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語・中国語	1	日本語での会話・読解が可能であること。
33044	萱 のり子 教授	kaya.noriko.zy @cc.nara-edu.ac.jp	書学・芸術学	日本の芸術論、鑑賞論、書教育の実践研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語能力試験N1またはN2に相当する日本語力を持つ者
33045	高橋 豪仁 教授	takahasi @cc.nara-edu.ac.jp	体育学、スポーツ科学、生涯スポーツ学	生涯スポーツ、スポーツイベントに関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	1	日本語での会話が可能であること。 マレーシア 1名
33046	井上 邦子 准教授	kinoue @cc.nara-edu.ac.jp	体育学	スポーツ文化の身体文化論的研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	1	日本語の会話・読解ができること。
33047	立 正伸 准教授	tachi @cc.nara-edu.ac.jp	スポーツ科学	スポーツバイオメカニクス、トレーニング科学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	1	日本語または英語によるコミュニケーションが可能であること。バイオメカニクス・運動生理学についての基礎的な知識があること。
33048	笠次 良爾 教授	kasanami @cc.nara-edu.ac.jp	スポーツ医学、保健・体育学	学校保健、スポーツ医学(整形外科)	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	1	日本語での会話が可能であること。 スポーツ医学または学校保健に関する基礎的な知識を持つこと。
33049	宮尾 夏姫 准教授	miyao.natsuki.6p @cc.nara-edu.ac.jp	体育学、保健体育	体育科教育学、体育科教師教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	1	日本語での会話・読解が可能であること。体育科教育学に関する基礎的な知識があること。
33050	杉山 薫 教授	sugiyama @cc.nara-edu.ac.jp	食物学	味覚に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語での会話が可能なこと。 基礎化学・基礎生物学を修得していること。
33051	立松 麻衣子 教授	maiko @cc.nara-edu.ac.jp	生活科学研究	高齢者の生活に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語での会話ができ、生活科学への強い学習意欲があること。
33052	中川 愛 准教授	a-nakagawa @cc.nara-edu.ac.jp	生活科学教育	対乳児行動に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語での会話が可能なこと。日本語の講義が理解できること。
33053	村上 睦美 准教授	mutsumi.m @cc.nara-edu.ac.jp	生活科学教育	家庭科教育に関する研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語での会話が可能なこと。家庭科に関わる基礎的な知識を習得していること。
33054	佐藤 臨太郎 教授	sato.rintaro @cc.nara-edu.ac.jp	外国語教育	第二言語習得研究 英語教育学 応用言語学	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	2	英語運用能力。 フィリピン 1名
33055	門田 守 教授	kadotam @cc.nara-edu.ac.jp	英語英文学	19世紀イギリス詩及び小説の研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語並びに英語の十分な運用能力、英文学の基礎的理解
33056	米倉 陽子 教授	yoko-yone @cc.nara-edu.ac.jp	言語学	文法化・主体化・意味変化に見られる規則性	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	認知言語学の基礎的素養、英語・日本語運用能力
33057	吉村 雅仁 教授	yshmr @cc.nara-edu.ac.jp	言語教育、国際教育	言語意識、国際理解教育、小学校外国語教育	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語、英語	2	
33058	古田 壮宏 教授	takef @cc.nara-edu.ac.jp	教育方法学	情報教育・ICT活用・e-learning	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33059	伊藤 剛和 教授	takekazu @cc.nara-edu.ac.jp	教育方法学、学校教育支援、教育内容・方法開発	情報教育、情報モラル教育、情報活用能力	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33060	中澤 静男 教授	nakazawa @cc.nara-edu.ac.jp	総合教育開発	学校教育におけるESDの研究	☑小学校教員 ☑中高教員	日本語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）

33061	竹村 謙司 教授	takemura.kenji.n3@cc.nara-edu.ac.jp	教師教育、算数・数学教育	教員研修、養成と研修の一体化、教科指導法（算数・数学）	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33062	赤沢 早人 教授	akazawa@cc.nara-edu.ac.jp	教育方法学、教育課程論	授業研究、カリキュラム・マネジメント	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33063	和泉元 千春 准教授	izumimotoc@cc.nara-edu.ac.jp	日本語教育	日本語教育学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33064	市来 百合子 教授	ichiki@cc.nara-edu.ac.jp	教育臨床心理学、カウンセリング	臨床心理学, 教育臨床心理学, 芸術療法	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本、英語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33065	及川 幸彦 准教授	oikawa.yukihiko.rj@cc.nara-edu.ac.jp	地球環境学、防災・減災、持続可能社会創成学環、総合教育開発	ESD/SDGsの研究、環境教育、防災・減災教育、海洋教育、カリキュラムマネジメント	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33066	中井 隆司 教授	nakai@cc.nara-edu.ac.jp	教職開発	教師教育, 授業研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	日本語の日常会話が行えること（日本語能力試験N3級程度）
33067	前田 康二 教授	maedakoji@cc.nara-edu.ac.jp	教師教育、英語教育	教員研修、英語指導法	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	2	ミャンマー 1名、パキスタン 1名、韓国 1名、マラウイ 1名



奈良女子大学 (奈良県)

附属学校園との連携による実践的指導及び研究テーマに対応した少人数教育の徹底

◇大学紹介

○大学の概要

本学は、1908年に創設された奈良女子高等師範学校を前身としており、2019年5月には創立110年を迎えました。この間我が国における女性の最高教育機関としての役割を担ってきました。

キャンパスは歴史的遺産の宝庫である奈良市中心部の交通至便な場所に位置します。文学部、理学部、生活環境学部、工学部の4学部を擁し、文系理系がバランス良く配置されています。また、高度な教育研究を担う大学院人間文化総合科学研究科は、文理融合の学際的な研究を特色としています。小規模ながらも個性ある教育・研究を推進することを目指しています。教員数は約200名、学生数は2,700名であり、きめ細やかな少人数教育が特徴です。

また、本学は、基本理念の一つとして、「開かれた大学—国際交流の推進と地域・社会への貢献—」を掲げており、国際交流センターを中心に様々な取り組みを行っています。2021年10月1日現在、アジアを中心に57の大学と協定を締結しており、約150名の留学生在籍しています。

○国際交流の実績

- 過去3年間の留学生の受入れ実績
2022年度： 134名 (2022. 5. 1現在)
2021年度： 153名 (2021. 5. 1現在)
2020年度： 156名 (2020. 5. 1現在)
- 過去3年間の教員研修留学生の受入実績
2022年度： 0名 (2022. 5. 1現在)
2021年度： 0名 (2021. 5. 1現在)
2020年度： 0名 (2020. 5. 1現在)

◇教員研修コースの概要・特色

○研修コースの特色

- ・受入れ学部・研究科は、文学部、人間文化総合科学研究科
- ・教育学・人間学コースの教員と連携を取って指導
- ・少人数のゼミと個別的な指導
- ・附属幼稚園、小学校、中等教育学校との連携や近隣諸学校の協力による実践的指導

○受入定員 3 人

○研修コースの概要

基本的には半年間の日本語予備教育の後、1年コースに参加。日本語能力試験N2レベル以上であると認められる場合、日本語予備教育を受けず、1年半コースで受入れる。

- ・日本語教育
 - ・日本語コース実施機関で半年間の予備教育を受ける。
 - ・本学入学後は、本学開設の日本語科目の授業（初級～上級）の受講が可能。
 - ・日本語その他（専門教育分野の事項）の補助的指導を受けられるチューター制度あり。
 - ・ビジネス日本語の受講が可能。
- ・専門教育
 - 【1年コース】もしくは【1年半コース】
 - ・研究テーマに応じた個別的な指導を行う。
 - ・講義、演習科目も受講できる。
 - ・見学・地域交流等の参加型科目
 - ・附属校園での実践的研究
- ・その他
留学生を対象に、生け花教室や茶道体験教室など、日本文化を体験する機会を提供しているほか、留学生と日本人学生の交流事業や研修旅行も実施しています。

◇修了生へのフォローアップ

- ・Eメールによる相談
- ・卒業修了留学生向けメールマガジンによる情報提供

◇宿 舎

【国際交流会館、国際学生宿舎】

専門教育期間中は、空室があればどちらかに入居することができます。

○宿舎数

- ・単身用 国際交流会館36室、国際学生宿舎32室
- ・夫婦用 国際交流会館1室
- ・世帯用 国際交流会館1室

○宿舎費

- ・国際交流会館(単身室):家賃5,900円/月、退去時清掃費及び光熱水費等20,000円(入居時)
- ・国際学生宿舎:家賃4,700円/月、清掃費8,000円(退去時)

※どちらの宿舎も共益費、光熱水費が毎月別途必要

○宿舎設備・備品

どちらの宿舎もベッド、机、イス、本棚、クローゼット、トイレ、バス完備。キッチン、洗濯室は共用。

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

国際学生宿舎・国際交流会館は大学から徒歩5分以内のところにあり、どちらも通学に便利です。最寄り駅から徒歩5分程度で、駅周辺には店も多く、生活にも便利なところです。

◇問合せ先

〒630-8506 奈良市北魚屋東町
奈良女子大学国際課留学生係
Tel: 0742-20-3240 Fax: 0742-20-3309
E-mail: ryugakusei@cc.nara-wu.ac.jp
URL: <http://www.nara-wu.ac.jp/>

大学名： 奈良女子大学(大学番号34)

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	文学部・大学院人間文化総合科学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
34001	藤井 康之	yakororin@yahoo.co.jp	音楽教育	音楽教育に関する指導	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	計3人	大学での講義等が理解できる専門的基礎知識、英語能力必須
34002	小野寺 香	onodera@cc.nara-wu.ac.jp	教育学	比較教育学に関する指導	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		大学での講義等が理解できる専門的基礎知識、英語能力必須
34003	柳澤 有吾	y-vanagi@cc.nara-wu.ac.jp	倫理学	倫理学の理論と応用に関する指導	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		大学での講義等が理解できる専門的基礎知識、英語能力必須
34004	鈴木 康史	kosuzu@cc.nara-wu.ac.jp	人間文化学	身体の文化学的研究に関する指導	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		大学での講義等が理解できる専門的基礎知識、英語能力必須
34005	保田 卓	tyasuda@cc.nara-wu.ac.jp	社会学	教育社会学に関する指導	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		大学での講義等が理解できる専門的基礎知識、英語能力必須
34006	二井 仁美	h-nii@cc.nara-wu.ac.jp	教育学	教育史に関する指導	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		大学での講義等が理解できる専門的基礎知識、英語能力必須

※「研修の対象者」は該当する方(両方に該当する場合は両方)に☑を付けてください。

鳥取大学 (鳥取県)

地域が抱える多種多様な問題を学術的かつ実践的に解決するための教育研究

◇大学紹介

○大学の概要

鳥取大学は、地域学部、医学部、工学部、農学部で構成されています。「知と実践の融合」を基本理念として、教育、研究及び社会貢献に取り組み、地域に根差し国際的に飛躍する大学として、多方面にわたって精力的な活動を行い、地域と世界の発展に寄与しています。

持続性社会創生科学研究科・地域学専攻は、地域社会の再生・発展に向けて、地域が抱える多種多様な問題を学術的かつ実践的に解決するための教育研究を行うとともに、個別専門領域に関わるスペシャリスト（高度専門職業人）を養成することを目的としています。

○国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2022年度：146（25カ国）

2021年度：148（24カ国）

2020年度：160（20カ国）

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2022年度：1

2021年度：1

2020年度：0

◇教員研修コースの概要・特色

○研修コースの特色

・本プログラムでは、山陰地方及び環日本海文化圏の地域特性を考慮して、教育の国際化・情報化及び生涯教育・福祉教育など、幅広い分野について学ぶことができます。

○受入定員 1名

○研修コースの概要

・日本語教育

2023年10月～2024年3月の半年間、文部科学省が指定する大学の日本語集中研修コースで日本語研修を受けます。その後、専門教育を実施する2024年4月～2025年3月の1年間は、鳥取大学の総合日本語コースを受講することが可能です。プレースメントテストでレベルを判断し、それぞれのレベルに合わせて、総合的な日本語能力を身につけます。

・専門教育

ア) 期間：2024年4月～2025年3月（1年間）

イ) 形態・内容

大学院の留学生と同様に指導教員による個別指導を受けて、各自の研修課題について深く研究します。留学生のニーズに応じて、専攻分野に関連する科目を受講します。

・見学・地域交流等の参加型科目

日本事情科目において、地域文化・産業を見学する機会を設けています。

・その他

スキー研修・ゆかた着付け教室・田植え/稲刈り体験・砂丘清掃ボランティア等地域社会と連携して実施している様々な行事にも参加し、日本人学生との交流や、日本文化の体験をすることができます。

◇修了生へのフォローアップ

連絡先等をデータ化し、帰国後も必要に応じ、助言を与えるなどのフォローアップを行っています。

◇宿 舎

○宿舎数

・単身用 50室

・夫婦用 6室

・世帯用 3室

○宿舎費

・単身用 5,000～6,000円

・夫婦用 12,000円

・世帯用 15,000円

○宿舎設備・備品

ベッド、机、椅子、エアコン、書棚、洋服ダンス、シューズボックス、電気スタンド、電気ポット
共同設備として、キッチン、シャワー室、洗濯室、ラウンジ、和室

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

・周辺に病院・スーパーあり。通学時間徒歩15分

◇問合せ先

大学所在地 〒680-8551 鳥取市湖山町南4-101

担当部署 鳥取大学地域学部教務係

連絡先 (TEL, FAX, E-mail)

TEL：0857-31-5178 FAX：0857-31-5076

E-mail：reg-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp

ホームページアドレス

<https://gss.tottori-u.ac.jp/zenki/rs> -033-

大学名： 鳥取大学(大学番号36)

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	大学院持続性社会創生科学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
36001	河合 務 教授	tkawai@tottori-u.ac.jp	教育思想	教育の思想、西洋教育史	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	大学在学中に教育学を専攻した者。
36002	田中 大介 准教授	tanaka@tottori-u.ac.jp	発達・認知心理学	認知発達、認知機能に関する実験的アプローチ	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		大学在学中に心理学を専攻した者。
36003	小林 勝年 教授	katu@tottori-u.ac.jp	臨床発達心理学	臨床発達心理学	☒ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語		大学在学中に心理学を専攻した者。
36004	寺川 志奈子 教授	stera@tottori-u.ac.jp	発達・教育心理学	子どもの発達と教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		大学在学中に心理学を専攻した者。
36005	畑 千鶴乃 准教授	chizuno@tottori-u.ac.jp	児童福祉学	児童福祉政策	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		大学在学中に児童福祉学を専攻した者。
36006	谷中 久和 准教授	yanaka@tottori-u.ac.jp	脳科学・心理学	脳科学・心理学およびそれらを基礎とした障害の理解	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		大学在学中に心理学を専攻した者。
36007	鈴木 慎一郎 教授	suzuki@tottori-u.ac.jp	音楽科教育	音楽科教育に関すること	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
36008	小笠原 拓 教授	taku@tottori-u.ac.jp	国語科教育	教育の実践的研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
36009	関 耕二 准教授	sekikoji@tottori-u.ac.jp	体育学	運動生理学・体育方法学分野からの研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
36010	高橋 健司 教授	ktakahasi@tottori-u.ac.jp	社会科教育	社会科の実践的研究・教材開発研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
36011	泉 直志 准教授	izumi@tottori-u.ac.jp	理科教育学	理科教育学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
36012	福山 寛志 講師	hfukuyama@tottori-u.ac.jp	発達心理学	乳幼児の認知・運動発達及び親子相互作用に関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
36013	石山 雄貴 准教授	ishiyama@tottori-u.ac.jp	地域教育計画論	持続可能な地域づくりに向けた教育の役割に関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
36014	呉 永鎬 准教授	o.vongho@tottori-u.ac.jp	教育社会学	脱植民地化と教育、マイノリティと教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
36015	青山 聡 講師	s.aoyama@tottori-u.ac.jp	英語教育学	第二言語習得研究に基づく英語科教育法の研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
36016	渡邊 正人 講師	m-watanabe@tottori-u.ac.jp	特別支援教育学	特別支援教育学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		大学在学中に教育学を専攻した者。
36017	中尾 泰斗 准教授	t.nakao@tottori-u.ac.jp	美術	絵画制作や美術教育に関すること	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		大学在学中に絵画を専攻した者

※「研修の対象者」は該当する方(両方に該当する場合は両方)に☑を付けてください。



島根大学 (島根県)

伝統文化が色濃く残る地方都市で、地域の教育団体との交流も交えながら研修を行う

◇大学紹介

○大学の概要

島根大学は7学部と4研究科で構成される中規模総合大学である。温かい指導と人情豊かな雰囲気の中で行われる少人数教育が大学の特色の一つで、授業内外で教員とのふれあいの機会も多く、留学生同士また日本人学生との交流も活発である。

松江市は、宍道湖、日本海、中国山地に囲まれた自然豊かな美しい地方都市であり、国際文化観光都市にも指定されている。城下町として知られ、古くから茶道や和菓子の文化が栄え、周辺には神社や仏閣、史跡、温泉が点在している。他県と比べ、島根県内に在住する外国人は少ないが、地域の人々との交流が盛んである。治安もよく、冬には時々雪が降るが、年間を通して気候は穏やかで住みやすい。

○国際交流の実績 (2022年10月1日現在)

- ・ 交流協定：28ヵ国103大学・機関
- ・ 過去3年間の留学生と教員研修留学生受入実績数

2022年度：214名 内教員研修留学生 1名
2021年度：214名 内教員研修留学生 0名
2020年度：181名 内教員研修留学生 1名

◇教員研修コースの概要

○コースの特色

附属学校を始めとする地域の教育施設や、教育団体との連携による個別指導を中心とした研修を実施

○受入定員 10名

○研修コースの概要

- ・ 日本語教育

文部科学省が指定する大学の日本語研修コースで半年間日本語研修を受ける。島根大学での日本語補講も実施する。

- ・ 専門教育

留学生各人の研究テーマに沿った特別カリキュラムと個人指導との組み合わせによる講義・自習を行う。

- ・ 見学・地域交流等の参加型科目

伝統工芸や地場産業の見学など日本の文化や地域への理解を深めることを目的とした留学生見学旅行を年4回程度実施する。

- ・ 日本人学生との共修の機会、日本文化の体験等

ホームステイへの参加や地域イベントの参加もある。(農業体験、和菓子体験)

◇修了生へのフォローアップ

- ・ 修了生には修了証を発行
- ・ 各国島根大学留学生同窓会への参加



島根伝統芸能：どじょうすくい(安来節)

◇宿 舎

大学から徒歩5分のところに留学生用宿舎「国際交流会館」がある(単身用26室、夫婦用1室) 単身用 月額5,900円 夫婦用 月額9,500円 宿舎費等の支払いは入居後となります。※入居希望者が多い場合、学生寮を斡旋する場合があります。(月額4,000円~24,000円)

○宿舎設備・備品

単身用のシャワー、共用調理室、インターネット(無線LAN)等

○宿舎周辺の生活情報

徒歩5分内にバス停、24時間営業の大型スーパー、各種食堂など

◇問い合わせ先

〒690-8504

島根県松江市西川津町1060

島根大学国際課留学生交流担当

Tel : +81- (0) 852-32-6106

Fax : +81- (0) 852-32-6481

E-mail : ied-ryugaku@office.shimane-u.ac.jp

H.P : <http://www.shimane-u.ac.jp/>

観光名所



松江城



出雲大社

大学名： 島根大学（大学番号37）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科，教育学部							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去５年間の受入国、人数）
37001	川路 澄人 教授	kawaij@edu.shimane-u.ac.jp	美術教育	美術科教育	☒ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者、過去5年間の受入実績0人。
37002	廣兼 志保 教授	shiho-h@edu.shimane-u.ac.jp	保健体育・舞踊教育学	体育科教育・ダンス教育	☒ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者、過去5年間の受入実績0人。
37003	石野 陽子 教授	yoko-ishino@edu.shimane-u.ac.jp	発達心理学	発達心理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	2	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者。当方、中国語学習者です。過去5年間の受入実績0人。
37004	深見 俊崇 教授	t-fukami@edu.shimane-u.ac.jp	教職教育	教員養成・現職教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語での会話が可能であること、過去5年間の受入実績0人。
37005	香川 奈緒美 准教授	kagawa@edu.shimane-u.ac.jp	人間コミュニケーション学・教育社会学	コミュニケーション論・教育社会学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語での会話が可能であること、過去5年間の受入実績0人。
37006	富安 慎吾 准教授	tomivasu@edu.shimane-u.ac.jp	国語教育	国語教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	大学で当該分野を専攻した者、英語能力を持ち、日本語能力をある程度持つ者、過去5年間の受入実数0人
37007	下村 岳人 講師	tshimomura@edu.shimane-u.ac.jp	数学教育	算数教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者、過去5年間の受入実績0人。
37008	正岡 さち 教授	sachi@edu.shimane-u.ac.jp	住居学	住居学・住教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語能力を有する者、過去5年間の受入実績0人。
37009	小早川 倫美 講師	kobayakawat@edu.shimane-u.ac.jp	教育行政学	教育行政学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者、過去5年間の受入実績0人。
37010	伊藤 優 講師	yitou@edu.shimane-u.ac.jp	幼児教育	幼児教育	☒ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者、過去5年間の受入実績0人。
37011	早川 知宏 助教	hayakawa@edu.shimane-u.ac.jp	教育方法学	教育方法学	☒ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者、過去5年間の受入実績0人。

大学名： 島根大学（大学番号37）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科，教育学部							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去５年間の受入国、人数）
37012	福田 哲之 教授	t-fukuda@edu.shimane-u.ac.jp	書道学	書道	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語のできる者，過去5年間の受入実数0人
37013	竹田 健二 教授	takeda@edu.shimane-u.ac.jp	中国哲学	漢文学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語のできる者，過去5年間の受入実数0人
37014	百留 康晴 教授	yhyakutome@edu.shimane-u.ac.jp	日本語学	日本語史・語彙意味論	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語のできる者，過去5年間の受入実数0人
37015	林 高宣 教授	havashit@edu.shimane-u.ac.jp	英語教育学・言語学	英語学・言語学	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	当該分野を専攻し、日本語及び英語能力に支障のないこと，過去5年間の受入実数0人
37016	縄田 裕幸 教授	nawata@edu.shimane-u.ac.jp	英語教育学・言語学	英語学・言語学	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	当該分野を専攻し、日本語及び英語能力に支障のないこと，過去5年間の受入実数0人
37017	猫田 英伸 准教授	nekodah@edu.shimane-u.ac.jp	英語教育学	英語・英語教育（研究）	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	当該分野を専攻し、日本語及び英語能力に支障のないこと，過去5年間の受入実数0人
37018	長谷川 博史 教授	hasegawai@edu.shimane-u.ac.jp	日本史学	日本中世史	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語の史料読解に取り組めること。 過去5年間の受入実績0人。
37019	富澤 芳亜 教授	y-tomi@edu.shimane-u.ac.jp	東洋史学	東アジア近現代史	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語での会話が可能であること。 過去5年間の受入実績0人。
37020	作野 広和 教授	hsakuno@edu.shimane-u.ac.jp	人文地理学・農業経済学	農村地理学・農村地域開発	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語又は英語	1	日本語または英語での会話が可能であること，過去５年間の受け入れ実績受入国マラウイ 受入数１人
37021	宇都宮 明子 准教授	autsunom@edu.shimane-u.ac.jp	教科教育実践開発	社会科教育実践学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語での会話が可能であること。 過去5年間の受入実績0人。
37022	諸岡 了介 教授	morooka@edu.shimane-u.ac.jp	社会学	理論社会学・現代社会論	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語又は英語	1	日本語又は英語での会話が可能であること。 過去5年間の受入実績0人。

大学名： 島根大学（大学番号37）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科，教育学部							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
37023	<u>池松 辰男 講師</u>	ikematsu@edu.shimane-ac.jp	哲学	近代ドイツ哲学・西洋倫理思想史	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語の哲学・倫理学の文献を講読できること。過去5年間の受入実績0人。
37024	<u>御園 真史 教授</u>	misono@edu.shimane-ac.jp	数学教育	数学教育学と教育工学を基盤とした数学における授業研究と授業デザイン	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	2	日本語または英語ができること，過去5年間の受入実数0人
37025	<u>栢野彰秀 教授</u>	a_kayano@edu.shimane-ac.jp	理科教育	理科教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者。日本語の十分な能力を有する者。過去5年間の受入実数0人
37026	<u>塚田真也 准教授</u>	tsukada@edu.shimane-ac.jp	物理学	物理教育・固体物理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	大学で当該分野を専攻した者。過去5年間の受入実数0人
37027	<u>長谷川裕之 准教授</u>	hasegawa.hiroyuki@edu.shimane-ac.jp	物質科学	固体化学・有機電子材料・ナノテクノロジー	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	当該分野の学士号。日本語または英語の日常会話。過去5年間の受入実数0人
37028	<u>辻本 彰 講師</u>	tsujimoto@edu.shimane-ac.jp	地球環境学	地質学・微古生物学・環境地質学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	地球科学分野の学士号。日本語と英語の日常会話。過去5年間の受入実数0人
37029	<u>境 英俊 教授</u>	sakaihi@edu.shimane-ac.jp	武道・スポーツ	運動学(武道)	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者、過去5年間の受入実数0人
37030	<u>西村 覚 准教授</u>	satoru-n@edu.shimane-ac.jp	健康教育学	健康教育学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者、過去5年間の受入実数0人
37031	<u>原 丈貴 准教授</u>	thara@edu.shimane-ac.jp	スポーツ健康科学	運動生理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者、過去5年間の受入実数0人
37032	<u>須崎 康臣 講師</u>	susaki@edu.shimane-ac.jp	体育科学	体育心理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者、過去5年間の受入実数0人

大学名： 島根大学（大学番号37）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科，教育学部							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
37033	河添 達也 教授	kawasoi@edu.shimane-ac.jp	作曲	作曲実技	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者、過去5年間の受入実数0人
37034	藤井 浩基 教授	kofujii@edu.shimane-ac.jp	音楽教育	音楽科教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者、過去5年間の受入実数0人
37035	佐々木 直樹 教授	n-sasaki@edu.shimane-ac.jp	声楽	声楽	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語の出来る者、過去5年間の受入実数0人
37036	小坂 達也 准教授	kosaka_t@edu.shimane-ac.jp	器楽	金管楽器	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語の出来る者、過去5年間の受入実数0人
37037	藤田 英樹 教授	hidekif@edu.shimane-ac.jp	彫刻	彫刻制作	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語の出来る者、過去5年間の受入実数0人
37038	小谷 充 教授	kotani@edu.shimane-ac.jp	デザイン	デザイン	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語の出来る者、過去5年間の受入実数0人
37039	有田 洋子 准教授	arita@edu.shimane-ac.jp	芸術教育	美術科教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者、過去5年間の受入実数0人
37040	野村 真弘 講師	nomura_m@edu.shimane-ac.jp	絵画	絵画制作	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語の出来る者、過去5年間の受入実数0人
37041	松本 一郎 教授	chromim@edu.shimane-ac.jp	理科教育・環境教育・岩石鉱物鉱床学	理科教育・環境教育・地学教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語での会話が可能であること、過去5年間の受入実数0人
37042	橋爪 一治 教授	hashitsume@edu.shimane-ac.jp	技術教育	技術科教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語での会話が可能であること、過去5年間の受入実数0人
37043	久保 研二 准教授	kuboken@edu.shimane-ac.jp	教科教育学	体育科教育学，教師教育学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1	日本語または英語での会話が可能であること、過去5年間の受入実数0人



岡山大学 (岡山県)

歴史ある総合大学として培った知見を活かしつつ、県内の学校と連携して教育実践を学ぶことが出来ます。

◇大学紹介

○大学の概要

岡山大学は、1949年に設立された国立大学ですが、その前身は1922年設立の岡山医科大学、1900年設立の第六高等学校など長い伝統があります。設立後発展を重ね、現在では10の学部及び8の大学院を擁する全国で有数の総合大学です。

国際交流に力を入れているのが本学の特色のひとつです。本学に在籍している外国人留学生に対しての日本語教育は教育推進機構が担当し、生活面のサポートは国際部や留学生が在籍する研究科・学部などが行っています。

また、本学はSDGsに関する先進的な取り組みを行っており、その取り組みが評価され2017年12月には、日本政府のSDGs推進本部が選定する第1回「ジャパンSDGsアワード」の特別賞「SDGsパートナーシップ賞」を国公立大学で唯一受賞しました。

・学生数 (2022年5月1日現在)

学部学生：10,069名 大学院生：2,988名

○国際交流の実績 (各年5月1日現在)

・過去3年間の受入れ実績

(留学生 / 教員研修留学生)

2022年度：798名 / 1名

2021年度：774名 / 0名

2020年度：760名 / 2名

(教員研修留学生は、1980年から毎年1～8名受入れ、現在までに延べ20ヶ国161名を受け入れています。)

◇教員研修コースの概要・特色

○研修コースの特色

日本語ができない研修生に6ヶ月間初歩から日本語と日本事情に関する研修を集中的に行います。その後、それぞれの研修生が深めたい専門教育を1年間行い、研修生の研修目的を十分に達成させます。

○受入定員：12人以内

○研修コースの概要

- ・日本語教育
 - ・10月から3月までの6ヶ月間、教育推進機構において日本語予備教育として、日本語及び日本事情を原則として600時間実施します。
 - ・研修生の日本語学習歴に応じ、また漢字圏、非漢字圏に分けてクラス編成しています。
 - ・研修生のレベルに応じて補講を行っています。

・専門教育

【1年コース】

- ・指導教員との面談を通じて、教員研修留学生の関心や日本語能力に応じて研究計画を設定します。研究計画や教員研究留学生の希望に沿って、大学の講義や近隣の小・中学校での授業観察等を組み合わせたプログラムを受講します。

【1年半コース】

- ・10月までに、日本語予備教育が不要であると指導教員が判断した場合は、10月から専門教育を受けることが可能です。
※事前に指導教員との面談を行う可能性があります。
- ・見学・地域交流等の参加型科目
- ・岡山県内の公立小・中学校や岡山大学附属小・中学校等での授業見学や国際交流を行います。

◇修了生へのフォローアップ

岡山大学は、2011年10月に岡山大学国際同窓会を設立しました。また、スーパーグローバルホームカミングデイを開催し、同窓生や留学生の交流の場を設けています。今後、更に海外での活動を充実させ、本学修了生へのフォローアップに務めていく予定です。

◇宿 舎

教員研修留学生は、渡日直後の半年間は岡山大学外国人留学生・研究員宿泊施設に優先して入居することができます。

宿舎費は次のとおりです。宿舎費の他に、入寮費30,000円と光熱水道料金が必要です。宿舎費や入寮費等の支払いは入居後となります。

○宿舎数、宿舎費(単身者用)

・桑の木留学生宿舎

宿舎費：月額 14,000円 ～ 16,000円

・国際交流会館： 室数 18

寄宿料：月額 27,000円

・居居留学生宿舎

寄宿料：月額 28,000円

※宿泊費等は改定する場合があります。

※宿泊施設は自分の居室も含め、全館禁煙です。

※配偶者が岡山県在住の場合は宿舎への入居はできません。

○宿舎設備・備品：

机、椅子、ベッド、ユニットバス、トイレ、ミニキッチン、冷蔵庫、冷暖房機

○宿舎周辺の生活情報・通学時間：

キャンパスまで徒歩10～15分程度。徒歩圏内にショッピングモールがあります。

◇問合せ先

大学所在地：岡山県岡山市北区津島中3丁目1-1

担当部署：岡山大学教育学系教職支援グループ

T E L : +81-86-251-7588

E-mail : hgg7598●adm.okayama-u.ac.jp

●を@に置き換えてください

U R L : <https://www.okayama-u.ac.jp/-040->

大学名： 岡山大学（大学番号38）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
38001	木村 功	kimutaku@okayama-u.ac.jp	日本文学	日本近代文学の研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	国語教育講座全体で1名	日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者、大韓民国1名
38002	浮田 真弓	maukida@okayama-u.ac.jp	国語教育	国語科教育の授業改善とカリキュラムに関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者
38003	土屋 聡	tsuchi-s@okayama-u.ac.jp	中国古典学	漢文学の研究	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者
38004	又吉 里美	satomim@okayama-u.ac.jp	日本語学	日本語の分析	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者
38005	池田 匡史	masa_ikeda@okayama-u.ac.jp	国語教育	国語科教育における学習設計論・カリキュラム論	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者
38006	大熊 正哲	ohkuma@okayama-u.ac.jp	応用経済学	金融論及びその他の応用経済学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語又は英語	1名	日本語又は英語を読む・書く・話すことができること
38007	川田 力	tkawada@okayama-u.ac.jp	人文地理学	日本地誌および地理教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語、独語	1名	日本語もしくは英語、独語の話せる者
38008	桑原 敏典	kuwabara@okayama-u.ac.jp	社会科教育	社会科教育のカリキュラム、授業構成についての研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1名	日本もしくは英語を読み・話すことができる者、大韓民国1名
38009	高田 宏史	h_takada1978@okayama-u.ac.jp	政治学	西洋政治思想史および政治哲学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1名	日本語もしくは英語を読む・書く・話すことができる者
38010	松多 信尚	matta@okayama-u.ac.jp	地理学	地形学および災害の地理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1名	日本語又は英語が話せること
38011	村井 良介	murair@okayama-u.ac.jp	日本史学	日本中世史	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1名	日本語を読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者
38012	山田 秀和	hiyamada@okayama-u.ac.jp	社会科教育	社会科教育のカリキュラム、授業構成についての研究（歴史教育中心）	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1名	日本語を読み・書き・話すことができる者、ガーナ1名
38013	矢口 啓朗	hiroaki.yaguchi@okayama-u.ac.jp	西洋史	ウィーン体制及びロシア外交史	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1名	日本語または英語を読み・書き・話せる者
38014	岡崎 正和	masakazu@okayama-u.ac.jp	数学教育	算数・数学教育における理解論、授業設計論	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1名	日本語又は英語が話せること
38015	石橋 一昴	iishibashi@okayama-u.ac.jp	数学教育	算数・数学教育における授業設計論	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1名	日本語が話せること
38016	中村 登	n-nakamu@okayama-u.ac.jp	数学	関数解析学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1名	日本語又は英語が話せること
38017	中川 征樹	nakagawa@okayama-u.ac.jp	数学	トポロジー	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1名	日本語又は英語が話せること
38018	宮内 通孝	miyauchi@okayama-u.ac.jp	数学	整数論	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1名	日本語又は英語が話せること

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件 (語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の 受入国、人数)
38019	仲田 研登	nakada@okayama-u.ac.jp	数学	表現論、組合せ論	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1名	日本語又は英語が話せること
38020	安藤 元紀	andom@okayama-u.ac.jp	生物学	細胞生理学, 生物物理学, 形態学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1名	英語又は日本語ができること
38021	石川 彰彦	teruhiko@okayama-u.ac.jp	化学	新規合成反応の開発	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1名	英語又は日本語ができること
38022	稲田 佳彦	y-inada@okayama-u.ac.jp	物理学・理科教育	物理教育、STEAM教育、物性研究(超伝導。磁性。極低温実験)	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1名	英語又は日本語ができること
38023	藤井 浩樹	fujii-hi@okayama-u.ac.jp	理科教育	理科カリキュラム、理科学習指導の研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1名	英語又は日本語ができること
38024	原田 太郎	tarohara@okayama-u.ac.jp	生物学	植物学、園芸学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1名	英語又は日本語ができること
38025	齊藤 武	saitake@okayama-u.ac.jp	作曲・指揮	作曲・作曲理論、指揮・指揮法	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	音楽教育 講座全体 で1名	大学学部卒業以上の学力のある者及び現職教員
38026	早川 倫子	rinko@okayama-u.ac.jp	音楽教育	音楽科教育、乳幼児の音楽的発達	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者
38027	小川 容子	yogawa@okayama-u.ac.jp	音楽教育	日本の音楽授業研究、音楽知覚認知研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者
38028	長岡 功	isaon@okayama-u.ac.jp	器楽(ピアノ)	ピアノ作品の解釈と演奏法の研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		大学での鍵盤楽器の学修経験があること
38029	諸田 大輔	d-morota@okayama-u.ac.jp	器楽(管楽器)	管楽器作品の解釈と演奏法の研究、(特にフルート)	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		大学での管楽器の学修経験があること
38030	虫明 眞砂子	mushiaki@okayama-u.ac.jp	声楽・合唱	合唱指揮, 合唱指導, 歌唱指導, 合唱, 声楽,	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		大学での声楽や合唱の学修経験があること
38031	赤木 里香子	rikako@okayama-u.ac.jp	美術教育	美術、工芸教育、美術理論	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	講座で 1名	日本語が話せること
38032	山本 和史	kazuyama@okayama-u.ac.jp	工芸工業デザイン学	木材工芸、材料の加工法、工業デザイン	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		日本語が話せること
38033	清田 哲男	kiyota925@okayama-u.ac.jp	美術教育	美術、工芸教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		日本語が話せること
38034	足立 稔	adachi@okayama-u.ac.jp	保健学	健康教育, 予防医学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1名	日本語が話せること
38035	原 祐一	yuichi@okayama-u.ac.jp	保健体育	体育科教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1名	日本語が話せること
38036	李 璟媛	leekw@okayama-u.ac.jp	家庭経営	家族関係	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	講座で 1名	日本語が話せること
38037	篠原 陽子	sw20@okayama-u.ac.jp	被服学	被服整理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		日本語が話せること
38038	入江 隆	irie@okayama-u.ac.jp	電気工学	電気エネルギー教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1名	英語又は日本語ができること
38039	笠井 俊信	kasai@okayama-u.ac.jp	情報工学	情報教育, 教育のICT活用	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1名	講義を理解できる日本語能力, 希望する専門分野に関する基礎的知識

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件 (語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の 受入国、人数)
38040	野毛 宏文	noge@okayama-u.ac.jp	機械工学	デジタルファブ리케이션	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1名	日本語または英語が話せること
38041	スコット ガード ナー	scott@okayama-u.ac.jp	英語コミュニ ケーション	英語ライティング、異文化コミュニケーショ ン、Bakhtinian Dialogue	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1名	英語が話せること
38042	ショウナ キャロル	scarroll@okayama-u.ac.jp	異文化理解	異文化理解、クリティカル・リテラシー、社会 正義、ジェンダーの公平・公正、LGBTQ関連	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語、日本語	1名	英語と日本語で科学的レポートの読み書きができること
38043	佐藤 暁	sato2ru@okayama-u.ac.jp	障害児教育学	障害児心理臨床	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1名	日本語が話せること
38044	大竹 喜久	ohtake@okayama-u.ac.jp	障害児教育	知的障害児教育課程・方法論	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1名	日本語が話せること
38045	大守 伊織	iori@okayama-u.ac.jp	障害児教育	神経発達 of 生理・病理	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1名	英語論文が読める、書ける
38046	吉利 宗久	yositosi@okayama-u.ac.jp	障害児教育	特別支援教育の歴史と法制	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1名	日本語が話せること
38047	丹治 敬之	tanji@okayama-u.ac.jp	障害児教育学	発達障害児指導法	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1名	日本語が話せること
38048	高橋 敏之	foxbat@okayama-u.ac.jp	幼児保育学、児 童学、初等芸術 教育学	幼児の表現、言葉、環境、児童文化と、それに 関連する保育実践、家庭教育、幼小一貫教育、 小学校生活科教育について研究する。	☒ 幼稚園教諭又 は保育士 ☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1名	日本語がある程度話せること
38049	西山 修	osam@okayama-u.ac.jp	幼児教育学	日本における保育内容(人間関係、環境)	☒ 幼稚園教諭又 は保育士 ☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1名	日本語の文献が読めること
38050	片山 美香	kmika@okayama-u.ac.jp	子どもケア	就学前から児童期に至る心理社会的発達支援に 関する研究	☒ 幼稚園教諭又 は保育士	日本語	1名	日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる 者
38051	横松 友義	yokoma@okayama-u.ac.jp	幼児教育	幼児教育の研究	☒ 幼稚園教諭又 は保育士	日本語	1名	日本語の文献が読めること
38052	馬場 訓子	nori-baba@okayama-u.ac.jp	幼児教育学	日本における保育内容(健康)	☒ 幼稚園教諭又 は保育士	日本語	1名	日本語の文献が読めること
38053	高瀬 淳	takase@okayama-u.ac.jp	教育行政	日本の教育行政・制度について	☒ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語	1名	日本語の文献が読めること
38054	尾上 雅信	onoue@okayama-u.ac.jp	教育学	日本におけるフランス教育史研究の概要	☒ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語	1名	日本語の文献が読めること
38055	熊谷 愼之輔	kumagai@okayama-u.ac.jp	生涯学習学	日本の社会教育・生涯学習について	☒ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語	1名	日本語の文献が読めること
38056	山口 健二	yama_ken@okayama-u.ac.jp	教育制度	日本の教育制度の社会学的研究	☒ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語	1名	日本語の文献が読めること
38057	尾島 卓	oiitaku@okayama-u.ac.jp	教育方法学	日本における学校教育実践に関する研究	☒ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語	1名	日本語の文献が読めること
38058	梶井 一暁	kkajii@okayama-u.ac.jp	教育学	日本を中心とする教育の歴史に関する研究	☒ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語	1名	日本語の文献が読めること
38059	平田 仁胤	yoshitsugu@okayama-u.ac.jp	教育学	教育に関する哲学的研究	☒ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語	1名	日本語の文献が読めること

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件 (語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
38060	青木 多寿子	aokit@okayama-u.ac.jp	発達心理学	人の人間的成長・発達に関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	教育心理学講座全体で1名	日本語または英語が話せること、ミャンマー1名
38061	寺澤 孝文	terasawa@okayama-u.ac.jp	学習心理学	学習・記憶に関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		日本語でのコミュニケーション能力が十分な者
38062	三宅 幹子	miyake@okayama-u.ac.jp	発達心理学	仲間関係に関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語		日本語または英語が話せること
38063	岡崎 善弘	okazakiys@okayama-u.ac.jp	発達心理学	認知発達に関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語		日本語または英語が話せること
38064	伊藤 武彦	takehiko@okayama-u.ac.jp	学校保健医科学	学校安全、特に通学区域の安全についての研究、環境側的に基づく熱中症予防に関する研究、学校分析に用いるための通学区域の分析法に関する研究、薬物乱用防止教育に関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	養護教育講座全体で1名	日本語が話せること
38065	上村 弘子	kamimu_h@okayama-u.ac.jp	養護実践学	開発途上国における学校保健活動のあり方やわが国の養護実践に関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		日本語が話せること
38066	松枝 睦美	matsueda@okayama-u.ac.jp	学校保健医科学	学校救急処置における養護教諭の専門性についての研究と、性にかかわる発達課題や健康問題を保健指導や保健教育にいかすことができるのかについて研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		日本語が話せること
38067	三村 由香里	mimurin@okayama-u.ac.jp	学校保健医科学	発育発達過程において、内分泌要因がどのように影響を及ぼしているのかについての研究や、健康診断をどのように健康教育にいかすことができるのかについて研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		日本語が話せること
38067	棟方 百熊	munakata@okayama-u.ac.jp	養護実践学	保健教育(健康教育)の内容や方法に関する研究や子どもの健康と生活習慣に関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		日本語が話せること
38069	津島 愛子	aiko2013@okayama-u.ac.jp	学校保健医科学	スポーツ医学やスポーツ外傷・障害、運動器検診に関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		日本語が話せること
38070	山内 愛	yamauchia@okayama-u.ac.jp	養護実践学	養護教諭の職務に関連した国際比較研究とわが国の養護実践に関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語		日本語または英語が話せること
38071	金川 舞貴子	kanamaki@okayama-u.ac.jp	教育経営	学校経営、教師教育に関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	講座で1名	日本語の文献が読めること
38072	松田 聡	manyo@okayama-u.ac.jp	日本文学	日本上代文学の研究	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者。 日本の古典文学を原典で読める者。
38073	宮本 浩治	komiyamo@okayama-u.ac.jp	国語教育	教科教育研究(国語科教育)	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者
38074	川崎 弘作	k-kawasaki@okayama-u.ac.jp	理科教育	理科学習指導の研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者
38075	服部 裕一郎	ttori.yuichiro@okayama-u.ac.jp	数学教育	算数・数学教育における授業設計論	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		日本語が話せること



広島大学 (広島県)

持続可能な社会の実現に向けた教育理論と実践の統合をめざして

◇大学紹介

○大学の概要

1949年、広島大学は、当時原子爆弾により完全に破壊された広島市に、再生と平和への希望をもって設立された。現在も、長期ビジョンとして「多様性をはぐくむ自由で平和な国際社会の実現」を掲げ、持続可能な開発目標の達成に貢献することを目指している。西日本の教育系大学の代表格としての伝統を持ち、国立大学としては、全国有数規模の学生数を誇る。12の学部と4の大学院があり、グローバル化、情報化、生涯学習及び国際協力へのニーズに対応した教育・研究が行われている。学部・大学院以外にも、高等教育研究開発センター、平和センター、森戸国際高等教育学院、原爆放射線医科学研究所などのユニークなセンター・研究所群を持つ。市街地を離れた広大な東広島キャンパスは、自然に恵まれ静かに落ち着いて勉学に打ち込める環境にある。



○国際交流の実績

- 過去3年間の留学生の受入実績
2022年度：1,638名 2021年度：1,650名
2020年度：1,750名
- 過去3年間の教員研修留学生の受入実績
2022年度：8名 2021年度：7名
2020年度：5名

◇教員研修コースの概要・特色

○研修コースの特色

人間社会科学研究科・教育科学専攻は、持続可能で平和な世界の構築を目指して、その基盤となる国内外の教育に関わる研究、実践及び人材育成に貢献する。教師教育デザイン学プログラム、教育学プログラムでは、教育諸科学を基盤として幼児教育、初等教育、中等教育、特別支援教育、高等教育のリーダーとなる教師、教師教育者、教育研究者を育ててきた。また、国際教育開発プログラムでは、特にアジア、アフリカ、中南米諸国における教育開発人材の育成に大きく貢献してきた。本教員研修留学生については、開始以来125名を受け入れた。人間や社会の持続的発展や平和の実現の観点から、新しい教育的価値や知識を創造する人材を育てていく。

○受入定員

30名

○研修コースの概要

- ・日本語教育

最初の6カ月（10月～3月）に森戸国際高等教育学院で初級レベル週30時間の日本語予備教育を履修する。主指導教員が認める限りにおいて、この半年間の日本語教育を省いて直接に専門教育の1年半コース（必要に応じて中・上級レベルの「日本語・日本事情」）に入ることが認められる場合がある。

- ・専門教育

専門的教育期の1年間（4月～3月）に、大学院の留学生と同様に指導教員による個別指導をうけて、各自の研修課題について深く研究する。研修の終わりに「研修修了報告書」を提出する。

- ・実習・見学・地域交流等の参加型科目

日本人学生とともに学校訪問や各交流会、歴史探訪旅行等の企画が行われている。



◇修了生へのフォローアップ

組織的なフォローアップよりは、主指導教員による個別のフォローアップを重視している。修了生は、高度な専門的能力をもつ教育者として活躍している。

◇宿 舎

日本語教育期の半年間は、国際交流会館（広島大学の留学生用宿舎）に入居できる。専門教育期間は、広島大学生協が管理する留学生アパートや、公的宿舎、民間アパートなどの選択肢がある。宿舎入居の申込みは、渡日前（7月頃）にオンラインフォームまたはEメールで行う。

なお、奨学金支給までの生活費、宿舎入居のための資金として、少なくとも10万円程度を用意しておくことが望ましい。

広島大学の留学生用宿舎（日本語教育期間のみ）

「国際交流会館（単身室）」

広さ13㎡、家賃5,900円/月、共益費2,500円/月、教育学部まで徒歩20分、自転車10分
IDECまで徒歩10分、自転車5分

広島大学生協が管理する留学生用宿舎

「広島大学推奨留学生アパート」（単身室）

広さ18～30㎡、家賃（共益）17,000～31,000円/月、教育学部、IDECまで自転車10～30分
費込宿舎情報（広島大学生協ウェブサイト）
<http://www.hucoop.com/apart/index.html>

◇問合せ先

大学所在地 広島県東広島市鏡山1丁目1-1
担当部署 大学院人間社会科学研究科
教育学系総括支援室（大学院課程担当）
TEL: +81-82-424-6720, FAX: +81-82-424-7108
E-mail: kyoiku-in@office.hiroshima-u.ac.jp
URL: <https://www.hiroshima-u.ac.jp/gshs>

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	人間社会科学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
39001	山内 規嗣	nyamauc@hiroshima-u.ac.jp	学校教育	学校教育思想史	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	
39002	児玉 真樹子	mkodama@hiroshima-u.ac.jp	教育心理	キャリア形成, キャリア教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	
39003	権藤 敦子	gondoat@hiroshima-u.ac.jp	音楽科教育	音楽科の教育法	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語	1人	
39004	中村 和世	knakamur@hiroshima-u.ac.jp	図画工作科教育	図画工作	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語	1人	
39005	渡邊 巧	takumiw@hiroshima-u.ac.jp	生活科教育・総合的学習	生活科教育・総合的学習	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員 ☒ 幼稚園教諭	英語・日本語	1人	2(ケニア、ガーナ)
39006	若松 昭彦	wakama@hiroshima-u.ac.jp	知的障害教育	自閉性障害児の指導	☐ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語	1人	特別支援学校・特別支援学級教員のみ受入可
39007	川合 紀宗	nkawai@hiroshima-u.ac.jp	音声言語病理学 特別支援教育, インクルーシブ教育	コミュニケーション障害の臨床・アセスメント法開発・特別支援教育制度	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員 ☒ 幼稚園教諭	英語・日本語	1人または2人	2(メキシコ、パナマ) 特別支援学校教員受入可
39008	氏間 和仁	ujima@hiroshima-u.ac.jp	特別支援教育 インクルーシブ教育	視覚障害教育	☐ 小学校教員 ☐ 中高教員	英語・日本語	1人	特別支援学校・特別支援学級教員のみ受入可
39009	林田 真志	mhyshd@hiroshima-u.ac.jp	特別支援教育 インクルーシブ教育	聴覚障害教育	☐ 小学校教員 ☐ 中高教員	英語・日本語	1人	1(ジンバブエ) 特別支援学校・特別支援学級教員のみ受入可
39010	船橋 篤彦	afunaba@hiroshima-u.ac.jp	特別支援教育 インクルーシブ教育	肢体不自由教育	☐ 小学校教員 ☐ 中高教員	英語・日本語	1人	特別支援学校・特別支援学級教員のみ受入可
39011	森 まゆ	morimayu@hiroshima-u.ac.jp	特別支援教育 インクルーシブ教育	視覚障害教育	☐ 小学校教員 ☐ 中高教員	英語・日本語	1人	特別支援学校・特別支援学級教員のみ受入可
39012	村上 理絵	mrkm0625@hiroshima-u.ac.jp	特別支援教育 インクルーシブ教育	発達障害教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員 ☒ 幼稚園教諭	日本語	1人	特別支援学校教員受入可
39013	新海 晃	ashinkai@hiroshima-u.ac.jp	特別支援教育 インクルーシブ教育	聴覚障害教育	☐ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語	1人	特別支援学校・特別支援学級教員のみ受入可
39014	古賀 信吉	nkoga@hiroshima-u.ac.jp	化学教育	化学教材の開発	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語	1人	
39015	磯崎 哲夫	isozaki@hiroshima-u.ac.jp	理科教育	理科教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語	1人	1(フィリピン)
39016	竹下 俊治	stakesh@hiroshima-u.ac.jp	生物教育	生物教材の開発	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語	1人	
39017	富川 光	tomikawa@hiroshima-u.ac.jp	生物学	生物教材の開発	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語	1人	1(マラウイ)
39018	松浦 拓也	takuyam@hiroshima-u.ac.jp	理科教育	理科教育方法学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語	1人	1(ナイジェリア)
39019	梅田 貴土	tumeda@hiroshima-u.ac.jp	物理教育	物理教材の開発	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語	1人	1(フィリピン)
39020	三好 美織	miorim@hiroshima-u.ac.jp	理科教育	科学教育カリキュラム研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語	1人	

39021	小山 正孝	mkoyama@hiroshima-u.ac.jp	数学教育	数学教育方法	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語	1人	1（ナイジェリア）
39022	寺垣内 政一	teragai@hiroshima-u.ac.jp	幾何教育	幾何内容	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語	1人	
39023	池畠 良	ikehatar@hiroshima-u.ac.jp	解析教育	基礎解析学	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語	1人	
39024	影山 和也	kkageya@hiroshima-u.ac.jp	数学教育	数学教育	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語	1人	
39025	北臺 如法	nyoho@hiroshima-u.ac.jp	代数教育	代数内容教育・代数学数学教材開発・計算機支援数学	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語	1人	
39026	渡辺 健次	wtnbk@hiroshima-u.ac.jp	情報学	情報ネットワーク基礎・応用	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1人	1（ミャンマー）
39027	長松 正康	nagamatu@hiroshima-u.ac.jp	情報教育	情報教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語	1人	1（中国）
39028	木村 彰孝	aakimura@hiroshima-u.ac.jp	技術教育	木材加工教育、木材と人の関わりを科学する	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	
39029	川田 和男	kawada@hiroshima-u.ac.jp	技術教育、工業教育	メカトロニクス教育、ものづくり教育、技能評価	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	
39030	鈴木 裕之	hiro-suzuki@hiroshima-u.ac.jp	技術教育	金属加工、機械材料学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語・西語	1人	
39031	草原 和博	kusahara@hiroshima-u.ac.jp	社会科教育	地理・歴史のカリキュラムと指導法、教師教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語	1人	
39032	川口 広美	hkawaguchi@hiroshima-u.ac.jp	社会科教育	社会認識教育学、シティズンシップ教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1人	3（フィリピン、ガーナ、マラウイ）
39033	熊原 康博	kumakuma@hiroshima-u.ac.jp	自然地理学	自然地理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1人	
39034	上田 毅	tueda@hiroshima-u.ac.jp	体育科教育	スポーツ生理学	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	
39035	沖原 謙	okihara@hiroshima-u.ac.jp	体育科教育	スポーツ経営学	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	
39036	出口 達也	deguchi@hiroshima-u.ac.jp	体育科教育	コーチング学	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	
39037	齊藤 一彦	saitoh@hiroshima-u.ac.jp	体育科教育	スポーツ教育学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1人	
39038	岩田 昌太郎	ishotaro@hiroshima-u.ac.jp	体育科教育	体育科教育学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	
39039	黒坂 志穂	shihok@hiroshima-u.ac.jp	体育科教育	舞踊教育学	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	
39040	小木曽 航平	kogisok@hiroshima-u.ac.jp	体育科教育	スポーツ社会学	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1人	
39041	柳岡 拓磨	yanaoka@hiroshima-u.ac.jp	体育科教育	スポーツ・コンディショニング学	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1人	
39042	今川 真治	imakawa@hiroshima-u.ac.jp	人間生活教育学	生涯発達学	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	
39043	鈴木 明子	suzuaki@hiroshima-u.ac.jp	人間生活教育学	人間生活教育学	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	
39044	村上 かおり	murakao@hiroshima-u.ac.jp	人間生活教育学	被服学	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	
39045	松原 主典	kmatsuba@hiroshima-u.ac.jp	人間生活教育学	食品化学・栄養学	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1人	1（ナイジェリア）
39046	高田 宏	takatah@hiroshima-u.ac.jp	人間生活教育学	住居学	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	
39047	富永 美穂子	mtomi@hiroshima-u.ac.jp	人間生活教育学	調理科学	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語	1人	
39048	枝川 一也	edagawak@hiroshima-u.ac.jp	声楽	発声法 演奏法	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・伊語	1人	

39049	高旗 健次	kent-violin@hiroshima-u.ac.jp	器楽	ヴァイオリン演奏法	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	
39050	徳永 崇	t-tokunaga@hiroshima-u.ac.jp	作曲	現代音楽の作曲	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	
39051	伊藤 真	itoshin@hiroshima-u.ac.jp	音楽教育学	音楽科教育法	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	
39052	大野内 愛	oonouchi@hiroshima-u.ac.jp	音楽教育学・声楽	音楽科教育法 発声法 演奏法	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	
39053	三根 和浪	kmine@hiroshima-u.ac.jp	美術教育学	美術科教育法	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	
39054	蜂谷 昌之	mhachiya@hiroshima-u.ac.jp	美術教育	美術教育	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	
39055	仁科 陽江	ynishina@hiroshima-u.ac.jp	言語学	対照言語学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・独 語・英語	1人	
39056	柳澤 浩哉	yanagisa@hiroshima-u.ac.jp	日本語表現・修辞学	日本語表現、修辞学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	JLPT N1程度の日本語能力を条件とする。
39057	永田 良太	ryota@hiroshima-u.ac.jp	社会言語学	談話分析	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	JLPT N1程度の日本語能力を条件とする。
39058	西村 大志	hnishi@hiroshima-u.ac.jp	文化社会学・日本文化	近・現代日本の文化社会学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	JLPT N1程度の日本語能力を条件とする。
39059	渡部 倫子	tomokow@hiroshima-u.ac.jp	日本語教育学	日本語教育学、言語評価	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	
39060	中山 亜紀子	anakayam@hiroshima-u.ac.jp	日本語教育学	質的研究、日本語教育学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英 語・韓国語	1人	JLPT N1程度の日本語能力を条件とする。
39061	小口 悠紀子	koguchiv@hiroshima-u.ac.jp	日本語教育学	日本語教育学、日本語教授法	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	JLPT N1程度の日本語能力を条件とする。
39062	丸山 恭司	yasumaru@hiroshima-u.ac.jp	教育哲学、教育倫理学	道德教育、専門職倫理	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本 語	1人	1（インド）
39063	山田 浩之	yam@hiroshima-u.ac.jp	教育社会学	教育社会学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	
39064	小川 佳万	yogawa@hiroshima-u.ac.jp	比較国際教育学	アジアの教育改革	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・中国 語・日本語	1人	
39065	七木田 敦	nanakida@hiroshima-u.ac.jp	幼児教育学	幼児教育指導法	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員 ☒ 幼稚園教諭	英語・日本 語	1人	1（ナイジェリア）
39066	三時 真貴子	msan@hiroshima-u.ac.jp	西洋教育史	西洋教育史	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本 語	1人	
39067	滝沢 潤	takizawa@hiroshima-u.ac.jp	教育行財政学	教育行政、教育制度	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本 語	1人	1（マラウイ）
39068	中坪 史典	nakatsub@hiroshima-u.ac.jp	幼児教育学	幼児教育学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員 ☒ 幼稚園教諭	英語・日本 語	1人	2（メキシコ、ジンバブエ）
39069	恒松 直美	ntsunema@hiroshima-u.ac.jp	比較国際教育学	ジェンダー論・国際教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本 語	1人または2人	英語能力・日本語能力の証明書&インタビュー
39070	梅村 比丘	umemura@hiroshima-u.ac.jp	心理学	アタッチメント理論の研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本 語	2人	心理学とアタッチメント理論の知識、インタビューを行い受け入れるか決める
39071	神原 利宗	tkambara@hiroshima-u.ac.jp	心理学	語と意味の連合に関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本 語	2人	英語または日本語能力の証明書、インタビューを行い受け入れるか決める
39072	桑山 尚司	kuwayama@hiroshima-u.ac.jp	国際教育	国際教育協力、留学・国際交流	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本 語	1人または2人	1（カンボジア）
39073	Brett Raymond Walter	brw201@hiroshima-u.ac.jp	外国語教育	多文化主義と教育、外国語・第二言語教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語	1人または2人	
39074	Tinka Delakorda Kawashima	tinka-delakorda@hiroshima-u.ac.jp	社会学	文化的・宗教的多様性と教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語	1人または2人	
39075	Russell Sarwar Kabir	kabir@hiroshima-u.ac.jp	教育心理学	学習者の自己効力感と動機付け、異文化間コミュニケーション	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語	1人または2人	1（ナイジェリア）

39076	寺内 大輔	terauchi@hiroshima-u.ac.jp	音楽科教育	音楽づくり, 創作, 音楽教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語	1人	
39077	高橋 均	takahi@hiroshima-u.ac.jp	教育心理学	社会的スキル	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	
39078	馬場 卓也	takuba@hiroshima-u.ac.jp	数学教育	数学教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語	1人	2 (フィリピン、バングラデシュ)
39079	三輪 千明	cmiwa@hiroshima-u.ac.jp	幼児教育・保育	幼児教育・保育	☒ 小学校教員 ☐ 中高教員 ☒ 幼稚園教諭	英語・日本語	1人	2 (ナイジェリア、ジンバブエ)
39080	牧 貴愛	maki@hiroshima-u.ac.jp	教職開発	教師教育、教育制度	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語	1人または2人	1 (アルゼンチン)
39081	谷口 京子	tanikyo@hiroshima-u.ac.jp	教育学	教育開発計画、教育政策	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語	1人または2人	
39082	清水 欽也	kinyas@hiroshima-u.ac.jp	科学教育	開発途上国の理科教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語	1人または2人	
39083	佐藤 暢治	nsato@hiroshima-u.ac.jp	言語学	日本語学、モンゴル語学	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・モンゴル語	1人	JLPT N1程度の日本語能力を条件とする。

※「研修の対象者」は該当する方(両方に該当する場合は両方)に☑を付けてください。

本学は学校現場とのつながりも強く、教員や児童・生徒との交流のチャンスもあります。
共通科目「日本の教育と文化」を設定し、指導教員により個別指導が行われる他、大学院の授業を聴講できます。

◇大学紹介

○大学の概要

本学は、社会的要請に基づき、主として現職教員に高度の研究・研鑽の機会を確保する大学院と、初等教育教員及び中学校教員の養成を行う学部を持ち、学校教育に関する理論的・実践的な教育研究を進める「教員のための大学」及び学校教育の推進に寄与する「開かれた大学」として1981年10月1日に創設された。

大学院学校教育研究科「修士課程」では、多様化する学校現場の教育課題の解決・改善に関して、専門的な立場から支援できる人材を育成すること、「専門職学位課程」では、教員の資質能力の総合的な育成により、教科・教職の両領域における確かな専門性と実践力を有する教員を養成することを目的としている。

・地域の特徴

本学が所在する鳴門市は、日本の南西、四国の東部徳島県東北部に位置し、本学のキャンパスは鳴門市の中心部から北へ約4kmの位置にあり、紺碧の海と緑の丘陵に囲まれた勉学にいい場所として最適の環境の地である。

また、日本の古都京都、日本第2の経済都市大阪に近く、西日本の海外の玄関、関西国際空港から約2時間の地にあり、生活を営む地域として最適である。

- ・学生数(2022年10月1日現在)
学部 449人、大学院 524人

○国際交流の実績(2022年10月1日現在)

- ・協定締結校 13校
- ・留学生数 119人
- ・教員研修留学生受入実績(専門研修)
2020年度 6人、2021年度 7人、2022年度 6人

◇教員研修コースの概要

○コースの特色

専門家から教育事情についての最新情報を得るため、また、日本の教育制度、文化について理解を深めるために、教員研修留学生を対象に共通科目「日本の教育と文化」を設定している。この科目では、教育史、教育制度を学ぶ他、附属学校(園)の研究授業を見学などの行う。

また、指導教員により、一人一人の研修目的に応じた個別指導が行われる他、大学院の授業を聴講できる。

○受入定員 8人

○研修コースの概要

- ・日本語教育
 - 日本語クラス
徳島大学で6か月の日本語集中コースの教育を受ける。
 - 日本語補講(前期・後期)
レベル・技能別の日本語補講を受講できる。
 - 日本語Ⅰ、日本語Ⅱ(前期)
日本語Ⅲ、日本語Ⅳ、日本事情・日本文化(後期)
各自レベルに応じて大学院で開講している授業を聴講できる。
- ・専門教育
日本の教育と文化(前期)
講義は日本語及び英語で行われ、必要に応じて通訳をつける。
(学校制度、教育課程、教科書行政、教員養成・教育実習等)
- ・見学・地域交流等の参加型科目
日帰り研修など
- ・その他
行事等への参加
入学式、小学校訪問、国際交流パーティ、日本文化体験、健康診断、研究発表会及び修了式など

◇修了生へのフォローアップ

帰国後のネットワーク作りを目的とし、本学修了生に対しメールマガジンを配信している。

◇宿 舎

学生の勉学のための生活環境を提供するため、大学キャンパス内に学生宿舎が設置されている。教員研修留学生は、宿舎への入居が可能である。

○宿舎数

区分	室数	宿舎料
単身棟(男) 10 m ²	160室	4,300円
単身棟(女) 10 m ²	240室	4,300円
世帯棟 40 m ²	40室	9,500円
世帯棟 52 m ²	40室	11,900円

(注) 寄宿料は月額(2022年4月1日現在)である。
共益費、光熱費は別途必要である。

○宿舎設備・備品

机、イス、衣類収納ロッカー、ベッドと収納庫、照明器具、テレビ配線。



◇問合せ先

大学所在地 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748

担当部署 教務部学生課国際交流係

連絡先 TEL: +81-88-687-6111

FAX: +81-88-687-6121

E-mail: kokusai@naruto-u.ac.jp

ウェブサイト <http://www.naruto-u.ac.jp/iso/>

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	学校教育研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
40001	今田 雄三	yimada@naruto-u.ac.jp	教育相談・臨床心理	教育相談と 思春期精神医学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1 人	
40002	葛西 真記子	mkasai@naruto-u.ac.jp	教育相談・臨床心理	教育相談と臨床心理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
40003	吉井 健治	kyoshii@naruto-u.ac.jp	教育相談・臨床心理	教育相談と臨床心理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
40004	小倉 正義	mogura@naruto-u.ac.jp	特別支援教育・教育相談・臨床心理	特別支援教育・発達支援・教育相談・臨床心理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
40005	久米 禎子	tkume@naruto-u.ac.jp	教育相談・臨床心理	教育相談と臨床心理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
40006	川西 智也	tkawanishi@naruto-u.ac.jp	教育相談・臨床心理	教育相談と臨床心理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
40007	古川 洋和	hfurukawa@naruto-u.ac.jp	臨床心理学	臨床疫学と臨床心理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
40008	廣瀬 雄二	yhirose@naruto-u.ac.jp	教育相談・臨床心理	教育相談と臨床心理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
40009	内田 香奈子	k.uchida@naruto-u.ac.jp	心理教育科学	予防教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1 人	
40010	田中 淳一	tanakaj@naruto-u.ac.jp	認知脳科学	記憶・学習の神経機構	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1 人	同じ専門分野であること
40011	高橋 眞琴	mtakahashi@naruto-u.ac.jp	障害心理学・人間発達科学	日本と諸外国のインクルーシブ教育政策の研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1 人	
40012	小澤 大成	hiroaki@naruto-u.ac.jp	地球科学・理科教育	初中等の理科教育・教員研修・地質学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語	1 人	
40013	武田 清	takeda@naruto-u.ac.jp	物理化学・理科教育	化学・化学物理学, 化学教育・物理教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語	1 人	研究を遂行するのに十分な英語もしくは日本語能力ラオス (1, 2016年)
40014	石坂 広樹	hishizaka@naruto-u.ac.jp	数学教育・教育行政・国際教育	算数数学教育・教育行政・国際教育・統計学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・フランス語・スペイン語・ポルトガル語	1 人	ブラジル (1, 2016年), マレーシア (1, 2018年), マラウイ (1, 2018年), ホンジュラス (1, 2020年), コロンビア (1, 2021年)
40015	石村 雅雄	maishim@naruto-u.ac.jp	教師教育・教育政策	日本や諸外国の教師教育・教育政策に関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語又はフランス語	1 人	ブルキナファソ (1, 2016年), 中国 (1, 2018年), ガーナ (1, 2019年), モロッコ (1, 2022年)
40016	ジェラード マーシェン	gerard@naruto-u.ac.jp	英語科教育	小学校英語教育カリキュラム開発	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語および日本語	1 人	インドネシア (1, 2016年), フィリピン (1, 2020年)
40017	鎌田 スザン・リン	skamata@naruto-u.ac.jp	英語科教育	小学校英語教育カリキュラム, ライティング	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語	1 人	英語能力 フィリピン (1, 2019年, 1, 2021年), ラトビア (1, 2021年), モンゴル (1, 2022年)
40018	日下 智志	skusaka@naruto-u.ac.jp	数学教育・教育調査	数学教育・国際教育・教育内容開発	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・フランス語・スペイン語	1 人	モザンビーク (1, 2022年), ソロモン (1, 2022)
40019	余郷 裕次	gsxr1100@naruto-u.ac.jp	国語教育	国語科教育学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1 人	
40020	原 卓志	tkhara@naruto-u.ac.jp	日本語学	国語学, 国語史	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1 人	
40021	幾田 伸司	s.ikuta@naruto-u.ac.jp	国語教育	国語科授業論、国語科教材論	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1 人	
40022	平川 恵実子	ehirakawa@naruto-u.ac.jp	日本文学	日本古典文学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1 人	
40023	構 大樹	dkamae@naruto-u.ac.jp	日本文学	日本近代文学・文化	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1 人	

※「研修の対象者」は該当する方(両方に該当する場合は両方)に☑を付けてください。

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	学校教育研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
40024	数下 克彦	yabuchan@naruto-u.ac.jp	英語学	理論言語学（形式意味論）	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語および日本語	1 人	
40025	山森 直人	yamamori@naruto-u.ac.jp	英語教育学	外国語としての英語教育（TEFL）	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語および日本語		
40026	木口 圭子	kkiguchi@naruto-u.ac.jp	英語文学	イギリス詩	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語および日本語		
40027	森山 倭成	kmoriyama@naruto-u.ac.jp	英語学	統語論，生成文法	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語および日本語		
40028	青葉 暢子	aoba@naruto-u.ac.jp	経済学	経済学，保険理論，金融論，財政学，公共経済学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	2 人	研究に必要な日本語能力を有していること。過去5年間受け入れ実績は0。
40029	立岡 裕士	tatuoka@naruto-u.ac.jp	人文地理学	人文地理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員			研究に必要な日本語能力を有していること。過去5年間受け入れ実績は0。
40030	原田 昌博	mharada@naruto-u.ac.jp	西洋史	ドイツ現代史	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員			研究に必要な日本語能力を有していること。過去5年間受け入れ実績は0。
40031	麻生 多聞	tamon@naruto-u.ac.jp	憲法	憲法学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員			研究に必要な日本語能力を有していること。過去5年間受け入れ実績は0。
40032	伊藤 直之	naoyuki@naruto-u.ac.jp	社会科教育学	社会科教育学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員			研究に必要な日本語能力を有していること。過去5年間受け入れ実績は0。
40033	井上 奈穂	ninoue@naruto-u.ac.jp	社会科教育学	社会科教育学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員			研究に必要な日本語能力を有していること。過去5年間受け入れ実績は0。
40034	畠山 輝雄	thatakeyama@naruto-u.ac.jp	人文地理学	人文地理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員			研究に必要な日本語能力を有していること。過去5年間受け入れ実績は0。
40035	町田 哲	machida@naruto-u.ac.jp	日本史	日本近世史	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員			研究に必要な日本語能力を有していること。過去5年間受け入れ実績は0。
40036	眞野 豊	ymano@naruto-u.ac.jp	社会学	ジェンダー、セクシュアリティ、差別問題	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員			研究に必要な日本語能力を有していること。過去5年間受け入れ実績は0。
40037	秋田 美代	akitam@naruto-u.ac.jp	数学教育学	指導方法及び評価論，教材論	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語および日本語	4 人	フィリピン（1, 2016年 1, 2019年 1, 2021）
40038	宮口 智成	tmiyaguchi@naruto-u.ac.jp	数理科学	非線形力学，確率論	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員			
40039	早田 透	thayata@naruto-u.ac.jp	数学教育学	教授学的状況の設計論	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員			ガーナ（1, 2019年），ウガンダ（1, 2020年），フィリピン（1, 2022）
40040	山中 仁	hyamanaka@naruto-u.ac.jp	幾何学	群作用のトポロジー，GKM理論	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員			
40041	伊藤 陽介	ito@naruto-u.ac.jp	情報	情報	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語	2 人	
40042	宮下 晃一	miyasita@naruto-u.ac.jp	機械	機械	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員			
40043	米延 仁志	yn@naruto-u.ac.jp	木材加工	木材加工	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員			
40044	曽根 直人	naosone@naruto-u.ac.jp	情報	情報	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員			
40045	宮本 賢治	kmiyamot@naruto-u.ac.jp	電気	電気	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員			
40046	阪東 哲也	tebando@naruto-u.ac.jp	教育情報学	教育情報学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員			
40047	美井野 優	ymiino@naruto-u.ac.jp	情報	情報	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員			

※「研修の対象者」は該当する方(両方に該当する場合は両方)に☑を付けてください。

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	学校教育研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
40048	金 貞均	kim@naruto-u. ac. jp	住居学	住様式及び居住システム，住教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語、韓国語	1 人	
40049	西川 和孝	nishikw@naruto-u. ac. jp	食物学	食教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語	1 人	
40050	福井 典代	fukui@naruto-u. ac. jp	被服学	衣生活教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員		1 人	
40051	坂本 有芳	ysakamoto@naruto-u. ac. jp	消費生活科学	生活経営・消費者教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語および英語	1 人	
40052	速水 多佳子	thayami@naruto-u. ac. jp	家庭科教育	家庭科教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語	1 人	マラウイ(1, 2021年)
40053	森 正	morishou@naruto-u. ac. jp	器楽	ピアノ演奏法及び指導法の研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	ドイツ語および日本語	1 人	受入分野と同じ専門分野であること。 日本語文献読解力を有すること。
40054	銚口 真理子	mtetsuguchi@naruto-u. ac. jp	音楽教育学	日本の音楽科教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1 人	日本語文献読解力を有すること。
40055	山田 啓明	hyamada@naruto-u. ac. jp	指揮	指揮法及びアンサンブル指導の研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	ドイツ語および日本語	1 人	受入分野と同じ専門分野であること。 日本語文献読解力を有すること。
40056	小川 勝	ogawa@naruto-u. ac. jp	美術史・芸術学	美術の理論的研究	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語、スペイン語、フランス語	1 人	
40057	松井 敦典	matsui@naruto-u. ac. jp	健康・スポーツ系教育	スポーツバイオメカニクス、安全水泳	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語および日本語	2 人	英語または日本語で日常会話ができること
40058	南 隆尚	minami@naruto-u. ac. jp	健康・スポーツ系教育	健康・スポーツ系教育	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語及び日本語		受入分野と同じ専門分野であること。 日本語文献読解力を有すること。
40059	湯口 雅史	myuguchi@naruto-u. ac. jp	健康・スポーツ系教育	体育（保健体育）科教育	☒ 小学校教員 ☐ 中高教員	英語及び日本語		
40060	金野 誠志	skanou@naruto-u. ac. jp	人間科学	教育実践学，文化理解教育，道德教育実践	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	2 人(状況に応じて変更する場合があります)	受入分野と同じ専門分野であること。 日本語文献読解力を有すること。
40061	谷村 千絵	tanimura@naruto-u. ac. jp	人間科学	教育哲学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
40062	田村 和之	ktamura@naruto-u. ac. jp	環境教育	環境教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語および日本語		

※「研修の対象者」は該当する方（両方に該当する場合は両方）に☑を付けてください。



香川大学

香川大学 (香川県)

大学の教員研修コースは、各専攻において留学生の関心に基づいた個別指導を中心としたプログラムを用意している

◇大学紹介

○大学の概要

香川大学は1949年に設置された。2003年10月にそれまでの香川大学と香川医科大学が統合して新しい香川大学となった。

教育学部、法学部、経済学部、医学部、創造工学部、農学部、農学部の6つの学部があり、修士課程は、創発科学研究科（教育学、法学、経済学、工学的分野を含む）、医学系研究科（看護学）、農学研究科を、博士課程は医学系研究科（医学・看護学）、工学研究科、連合農学研究科を、また、専門職学位課程は教育学研究科、地域マネジメント研究科を有している。

○国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2022年度：153人

2021年度：138人

2020年度：175人

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2022年度：0人

2021年度：0人

2020年度：0人

◇教員研修コースの概要・特色

○研修コースの特色

本学大学院教育学研究科では、留学生の関心に基づいた個別指導を中心としたプログラムを用意している。教育学研究科には、現職の教員が多く在籍しており、実際の教育現場について知ることできる。

○受入定員 3名

○研修コースの概要

・日本語教育（最初の6ヶ月：2023年10月～2024年3月）

文部科学省が指定する日本語研修コースで、当該学生のレベルに応じて、半年間の日本語及び日本事情教育を提供する（次のいずれか）。日本語初級 週12回程度 / 日本語中級 週12回程度 / 日本語上級 週12回程度

・専門教育

形態:指導教員による個別指導

留学生の専攻分野に関する大学院の授業、又は学部の授業への参加

・見学・地域交流等の参加型科目

1. 附属学校や協力校である公立小中高等学校での授業

参加や研究発表会への参観

2. 休日にキャンパスを開放し、地域の幼児・児童・生徒

を大学に招き学習や研究活動を体験してもらう行事への参加活動

◇修了生へのフォローアップ

いくつかの国や地域に関しては、すでに帰国留学生ネットワークが形成されている

◇宿 舎

香川大学留学生会館

○宿舎数

・単身用 32室

○宿舎費

月額 7,400円（光熱水料等は別途負担）

○宿舎設備・備品

共 同：キッチン、洗濯機、シャワー室等

居室内：ベッド、机椅子、書棚、冷蔵庫、タンス、トイレ、流し台、エアコン、Wi-Fi

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

宿舎から教育学部キャンパスまで

-自転車40分、-電車と徒歩35分

香川大学花園寮（月額22,500円）への入居も可能。空室がない場合は、キャンパス周辺の民間アパート（月3万円程度）を大学生協等を通じて紹介する。

◇問合せ先

〒760-8521 香川県高松市幸町1-1

香川大学 教育・学生支援部 国際課

TEL：+81-87-832-1149

FAX：+81-87-832-1192

E-MAIL：ryugaku-h@kagawa-u.ac.jp

URL：https://www.kagawa-u.ac.jp/



大学名： 香川大学(大学番号41)

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
41001	平 篤志 教授	taira.atsushi@kagawa-u.ac.jp	人文地理学 地域研究	人文地理学的研究・地域研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	専攻分野の基礎を学習していること 受入実績(マラウィ共和国：1名)
41002	笹屋 孝允 准教授	sasaya.takayoshi@kagawa-u.ac.jp	高度教職実践	小中学校教育全般、授業研究、教師教育、日本語指導	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	専攻分野の基礎を学習していること
41003	高橋 尚志 教授	takahashi.naoshi@kagawa-u.ac.jp	物性物理学 理科教育 科学教育	表面物性研究、物理教育研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	専攻分野の基礎を学習していること 受入実績(ブータン王国：1名)
41004	高木由美子	takagi.yumiko@kagawa-u.ac.jp	化学	有機化学・化学教育に関すること	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語	1人	英文で報告書の作成ができること、過去5年間はなし

※「研修の対象者」は該当する方(両方に該当する場合は両方)に☑を付けてください。



愛媛大学 (愛媛県)

専門教育・日本語教育・日々の生活支援 愛媛大学は全てサポートします

◇大学紹介

○大学の概要

・愛媛大学は、法文学、教育学、社会共創学、理学、医学、工学、農学の7学部と大学院がある総合大学で、学生数は約10,000人である。

・附属の幼稚園、小学校、中学校、高校、特別支援学校があり、これらの学校での授業に外国人留学生が参加する機会も多い。

・本学のある愛媛県松山市は日本の他の都市と比べて物価が安く暮らしやすい地域である。交通手段は自転車ですぐであり、大学から市中心部へも自転車で5分以内で行くことができる。

○国際交流の実績 (2022年10月1日現在)

	2022年度	2021年度	2020年度
留学生数	204	223	275
教員研修留学生受入数	4	2	4

◇教員研修コースの概要・特色

本研修コースの特徴は、日常生活で最低限必要な日本語表現と生活習慣を、専門教育・日本語集中コース開始前に修得できるよう設計されている点である。また、日本語の授業では、地域住民による支援体制が整っている。

○受入定員：5名

○研修コースの概要

・日本語教育

a) サバイバルコース：入学直後2週間、日常生活に最低限必要な日本語表現と生活習慣を学ぶことができる。

b) オリエンテーション：入学直後に2日間実施され、学生生活で不可欠な情報が提供される。続いて行われるウェルカムパーティーでは、日本人学生も含め多くの学生と知り合うことができる。

c) 予備教育コース：日本語及び日本文化・日本事情の講義を1学期間集中的に実施する。「Studies on Japanese culture」など英語で行われる授業も用意されている。また、一般家庭でホームステイも行う。

d) 通常コース：上記のコース受講後、引き続き学習できる様々なクラスを開講している。

・専門教育

a) 半年間の日本語予備教育コースの後、それぞれの専門分野に応じ、学部の専門教育を受けることができる。専門教育は、教員のアドバイスにより学習計画を立て、それをもとに必要な指導を指導教員から受けることになる。

b) 学習計画：研修生の希望に沿って立てることができる。研究分野によっては、フィールドワークや実験・調査・授業観察にも参加できる。研修の終わりには研究報告書の提出が必要。

・見学・地域交流等の参加型科目

実地見学旅行：日本の歴史や文化に触れる機会として、京都や奈良への研修旅行が実施される。スキー研修も実施する。

◇修了生へのフォローアップ

研修終了後も、担当教員がメールやWeb会議システムを通じて指導する。

◇宿 舎

大学所有の宿舎がありますが、入居希望者が多い場合は入居できません。その場合は、愛媛大学生協を通じてキャンパス周辺の民間アパート（初期費用約20万円）を紹介します。

大学所有の宿舎

	御幸学生宿舎	国際交流会館
室数	単身用 約70室	単身用 30室 世帯用 4室
月額費用	約22,000円	約13,000円 (世帯用25,000円)
設備備品	風呂、トイレ、机、椅子、ベッド、エアコン、IH調理器、冷蔵庫（建物内にコインランドリー、売店）	風呂、トイレ、机、椅子、ベッド、エアコン、ガスコンロ、オープンレンジ、冷蔵庫、洗濯機
通学時間	自転車ですぐ10～15分	自転車ですぐ30～40分

◇問合せ先

所在地 〒790-8577 愛媛県松山市文京町3

担当部署 国際連携支援部国際連携課

TEL: +81-089-927-9157

E-mail kokuryu@stu.ehime-u.ac.jp

HP <http://web.isc.ehime-u.ac.jp/>

シラバス <https://campus.ehime-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx?>

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学部							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
42001	張 貴民	zhang.gui-min.mc@ehime-u.ac.jp	地理学	地理学、地理教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、中国語	2人	日本語または中国語でコミュニケーションがとれること。受入実績はなし。
42002	鴛原 進	oshihara.susumu.mi@ehime-u.ac.jp	社会科教育	社会科グローバル学習	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	2人	日本語又は英語でコミュニケーションがとれること。フィリピン2名、マラウイ2名
42003	安部 利之	abe.toshiyuki.mz@ehime-u.ac.jp	数学教育	代数学に関する教材研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	高校数学程度の基礎力があること。過去5年間 0名
42004	隅田 学	sumida.manabu.mm@ehime-u.ac.jp	科学教育、才能教育、STEM教育、国際教育協力	カリキュラム開発、学校との共同研究、教材開発	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	3人	特になし。中国1名、ナイジェリア2名、ガーナ1名、メキシコ1名
42005	向 平和	muko.heiwa.mm@ehime-u.ac.jp	理科教育学、生物教育、環境教育(ESD, SDGs)	教材開発、基礎的な生物実験	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	特になし。フィリピン1名、インド1名、ナイジェリア1名、マラウイ1名

受入研究科等名	理学部							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
42006	松浦 真也	matsuura.masaya.mx@ehime-u.ac.jp	応用数学	データ解析、数理曲線を用いたプロダクトデザイン	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	語学能力：英語能力または日本語能力
42007	山崎 義徳	yamasaki.yoshinori.mh@ehime-u.ac.jp	数学	数論（初等整数論、解析数論）	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	語学能力：英語能力または日本語能力
42008	宮田 竜彦	miyata.tatsuhiko.mf@ehime-u.ac.jp	物理化学・生物物理	液体の統計力学理論・分子シミュレーション	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	語学能力：英語能力または日本語能力 受入実績は1名（英国）
42009	杉浦 美羽	miwa.sugiura@ehime-u.ac.jp	生物物理学、生化学	光生物およびそのタンパク質の生化学的、物理化学的性質の解析	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語、フランス語	1人	語学能力：英語能力、日本語能力または、フランス語能力、受入実績は5名（フランス、韓国）
42010	座古 保	zako.tamotsu.us@ehime-u.ac.jp	生体分析化学、蛋白質科学	ナノ分析化学およびタンパク質の機能解析	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	語学能力：日本語能力、英語能力、受入実績は1名（スイス）
42011	岩田久人	iwata.hisato.mz@ehime-u.ac.jp	環境毒性学	環境汚染物質による生物への影響評価	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	語学能力：日本語能力または英語能力 化学・生物学に関する基礎的な知識を有していること。

受入研究科等名	医学部							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
42012	今村 健志	imamura.takeshi.mm@ehime-u.ac.jp	バイオイメージング	先端顕微鏡を用いた生体イメージング法の実技	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語	2人	英語でコミュニケーションがとれること、細胞生物学の基礎を習得していること、受入実績は1人（スウェーデン）
42013	薬師神 芳洋	yoshiyak@m.ehime-u.ac.jp	癌の化学療法緩和医療	がん患者や家族に対して行う病状説明や内科治療を見学する。	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語	1人	3～6ヶ月程度の短期受入が希望。英語が話せる事が必須。中国・カナダからの短期の受け入れ経験あり。

42014	北澤 荘平	kitazawa@m.ehime-u.ac.jp	診断病理学	大学病院での一般的な診断病理学の実践	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語	1人	台湾・ベトナム・タイ・インドネシア・ミャンマー・マレーシアとの交流経験あり。上記からの留学希望
42015	日浅 陽一	hiasa@m.ehime-u.ac.jp	肝臓内科学	肝細胞癌、慢性肝障害および肝免疫	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語	1人	英語が話せ書けること
42016	三宅 吉博	epi-prev@m.ehime-u.ac.jp	疫学	疫学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1人	

受入研究科等名	工学部							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
42017	野村 信福	shin.nomu@eng.ehime-u.ac.jp	熱流体工学	伝熱工学基礎	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	2人	英語能力または日本語能力
42018	豊田 洋通	tovota@eng.ehime-u.ac.jp	特殊加工学	プラズマプロセスの基礎	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42019	柴田 諭	shibata.satoru.mg@ehime-u.ac.jp	福祉工学・ヒューマンロボットインタフェース	ヒューマンロボットインタフェース、感性工学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力、C言語に関するプログラミング能力が必要
42020	岡本 伸吾	okamoto.shingo.mh@ehime-u.ac.jp	ロボット・知能システム学、振動・制御、計算力学	ロボット・知能システム学、振動・制御、計算力学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42021	保田 和則	yasuda.kazunori.mb@ehime-u.ac.jp	流体工学・医用流体工学	非ニュートン流体や血液の流れ解析	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42022	李 在勲	lee.jaehoon.mc@ehime-u.ac.jp	ロボット工学、人工知能工学	ロボティクス、メカトロニクス、人工知能	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語、韓国語	2人	英語能力、日本語能力または韓国語能力
42023	市川 裕之	ichikawa@ehime-u.ac.jp	光工学	光学設計・数値解析	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42024	岡本 好弘	okamoto.yoshihiro.mi@ehime-u.ac.jp	情報ストレージ	情報ストレージの信号処理	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42025	神野 雅文	jinno.masafumi.mh@ehime-u.ac.jp	プラズマ科学・照明科学	プラズマの制御・計測・診断、照明光源開発	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42026	岡村 未対	okamura@cee.ehime-u.ac.jp	地盤工学	地盤工学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	2人	英語能力または日本語能力
42027	氏家 勲	iuiike@cee.ehime-u.ac.jp	コンクリート工学	コンクリート工学の基礎	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42028	吉井 稔雄	yoshii@cee.ehime-u.ac.jp	交通工学	交通工学・交通計画	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42029	安原 英明	yasuhara.hideaki.me@ehime-u.ac.jp	岩盤工学	岩盤工学、地盤工学、地球化学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42030	森脇 亮	moriwaki@cee.ehime-u.ac.jp	水文学・気象学	都市気象、流域水文学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42031	渡辺 幸三	watanabe.kozo@cee.ehime-u.ac.jp	保全生態工学	淡水域のフィールド調査、分子生物学実験	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	英語能力
42032	武部 博倫	takebe,hiromichi.mk@ehime-u.ac.jp	非鉄製錬とリサイクル	無機材料工学、非鉄製錬学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42033	小林 千悟	kobayashi.sengo.me@ehime-u.ac.jp	生体材料学	生体・医療用の金属材料の基礎	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42034	朝日 剛	asahi.tsuyoshi.mh@ehime-u.ac.jp	光化学	光機能性有機材料の光物理と光化学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42035	高井 和幸	takai.kazuyuki.mz@ehime-u.ac.jp	合成生物学	合成生物学の基礎	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力

42036	高橋 寛	takahasi@cs.ehime-u.ac.jp	情報工学	ディペンダブルコンピューティング	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	条件は英語能力、受入れ実績は1名（イエメン）
42037	小林 真也	kob@cs.ehime-u.ac.jp	情報工学	分散処理，並列処理	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力
42038	井門 俊	ido@cs.ehime-u.ac.jp	画像処理・バーチャルリアリティ	画像処理の研修・バーチャルリアリティの研修	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力、初歩的なプログラミング能力が必要
42039	中原 真也	nakahara.masaya.mf@ehime-u.ac.jp	水素エネルギー	燃焼工学の基礎	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力

受入研究科等名	農学部							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
42040	太上 博基	oue@agr.ehime-u.ac.jp	農業環境工学	灌漑排水学, 農業気象学, 農林水文学	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1人	英語能力または日本語能力



福岡教育大学 (福岡県)

日本の教員養成制度、学校教育等について幅広い専門領域から学ぶ

◇大学紹介

○大学の概要

本学は、学校教員の養成を主目的にした九州地区唯一の国立教員養成系大学である。教育学だけでなく文学、法学、経済、外国語、理学、工学、芸術、体育等の幅広い専門領域の研究者を擁する大学である。

大学が所在する宗像市は福岡市と北九州市のほぼ中間に位置し、北九州都市圏と福岡都市圏のベッドタウンとして発展し、豊かな自然環境に囲まれている。また、歴史的には、朝鮮半島に近いことから古より大陸との交流窓口として発展してきた。

自然に囲まれ、歴史に深くつながる地域に位置する大学として、その特性を教育に取り入れる工夫を行っている。

○国際交流の実績

- ・国際交流協定校 8校
- ・過去3年間の留学生の受入れ実績
 - 2022年度：7名
 - 2021年度：8名
 - 2020年度：13名

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

- 2022年度：1名
- 2021年度：0名
- 2020年度：1名

◇教員研修コースの概要・特色

○研修コースの特色

これまで諸外国からの教員研修留学生を多数受け入れてきたが、今後も教育を通して「アジアにおける教育研究の拠点」としての役割を果たし、諸外国との交流を推進していくことを目指している。

○受入定員

10名

○研修コースの概要

- ・日本語教育
各期開始時の日本語プレースメントテストの結果により推奨された科目を受講する。
「日本語」全5科目、「日本語補講」全5科目
(※非漢字圏の留学生のための漢字コースあり。)
- ・専門教育【1年コース、1年半コース共通】
個別指導及び通常講義の聴講、初等・中等諸学校等の実地見学や、講義及びセミナー形式の演習を行う。
- ・見学・地域交流等の参加型科目
地域の行事に参加したり、日本文化研修のため旅行をするといった様々な機会がある。

◇修了生へのフォローアップ

修了後、留学生から相談のある際は個別に対応している。

◇宿 舎

○宿舎数

- ・単身用：男子寮 3部屋、女子寮 15部屋
- ・夫婦用：なし
- ・世帯用：なし

○宿舎費

- ・22,000円程度（月額）

○宿舎設備・備品

- ・ベッド、机、椅子

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

- ・男子寮：バス15分
- ・女子寮：徒歩5分

※施設と設備は古いが、寮生たちとのコミュニケーションの中で日本語を上達させることができる。

※民間のアパートを借りることもできる。

※宿舎、民間アパート共に入国前に料金を払う必要はない。

◇問合せ先

〒811-4192

福岡県宗像市赤間文教町1番1号

福岡教育大学連携推進課

TEL：+81-940-35-1556

FAX：+81-940-35-1700

E-mail：ryugak01@fukuoka-du.ac.jp

<https://www.fukuoka-edu.ac.jp/>

大学名： 福岡教育大学(大学番号44)

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
44001	青山 之典	yaoyama@fukuoka-edu.ac.jp	国語科教育	読むことの指導	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	国語科教育(読むことの指導)に関する教養をもち、実践経験があること
44002	牛島 玲	ushijima-r@fukuoka-edu.ac.jp	特別支援教育	特別支援学級、通級による指導	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
44003	大竹 晋吾	ohtakedu@fukuoka-edu.ac.jp	学校経営	スクールリーダー教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		英語は会話等は十分では無いかもしれません。文章等是对应可能です。日本語能力試験N5程度の能力があれば受入れます。過去5年間の受入れ実績はありません。
44004	鬼木 務	oniki-t@fukuoka-edu.ac.jp	算数教育	問題解決的な学習指導	☒ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語		算数科教育に関する教養
44005	中山 健	tnakayam@fukuoka-edu.ac.jp	特別支援教育	発達障害児の心理と教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		特別支援教育および発達障害児に関する基礎知識。受け入れ実績なし。
44006	西野 秀昭	hideakin@fukuoka-edu.ac.jp	理科教育	理科教材の課題発見と工夫・改善・開発及び授業への効果的な活用方法	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語・英語		条件:日本語か英語でコミュニケーションできる、理科教育に関わる教員や学生、受け入れ実績は無し。
44007	西山 久子	hisakon@fukuoka-edu.ac.jp	学校臨床心理学	スクール・カウンセリング及び体制づくり	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		日本語でのコミュニケーション力、専門的能力、過去の受け入れ実数0名
44008	本多 壮太郎	shonda@fukuoka-edu.ac.jp	体育科教育	教科教育学, 実践教科教育学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語及び英語		体育科教育学に関する教養
44009	若木 常佳	wakaki@fukuoka-edu.ac.jp	教師教育 国語科教育	リフレクション・対話指導	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		教師教育や対話指導についての実践があること
44010	有元 康一	arimoto-k@fukuoka-edu.ac.jp	算数・数学科教育	算数・数学科教材開発(教材開発に関連する教科内容を含む)	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		算数・数学科教育および数学(教科内容)に関する基礎的な素養
44011	兼安 章子	kaneyasu-a@fukuoka.edu.jp	教職・家政教育	教師教育研究、家庭科教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
44012	坂井 清隆	sakai-k@fukuoka-edu.ac.jp	教育方法学 特に社会科教育	質的研究 授業分析 社会科教育実践分析	☒ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語	教育方法学及び社会科教育に関する基礎的な知識の獲得	
44013	山田 洋平	yamada-y@fukuoka-edu.ac.jp	教育心理学	子どもの社会性の育成	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	教育心理学に関する教養	
44014	飯田 史也	jjdifu@fukuoka-edu.ac.jp	国際相互理解教育, 教育史	多文化理解教育論, 内外教育交渉史研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語または英語	2	特段の条件なし 実績:2名(ブルキナファソ1 韓国1)
44015	川口 俊明	kawa5902@fukuoka-edu.ac.jp	教育社会学	研修の内容: 学力格差／学力調査／教育の効果	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	
44016	河内 祥子		教育制度学	教育法規, 教育実践学	☐ 小学校教員 ☐ 中高教員			

44017	鈴木 邦治	suzukuni@fukuoka-edu.ac.jp	教育制度学	教育経営学（学校組織マネジメント、授業改善、地域連携・協働）	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	中国及び韓国をはじめとして、「学びの共同体」を研究テーマとする方を歓迎いたします。
44018	竹本 英代	takeyo@fukuoka-edu.ac.jp	教育史	日本教育史、教育学説史	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	
44019	寺岡 聖豪	teraoka@fukuoka-edu.ac.jp	教育史	教育思想史研究	☒ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語	1	
44020	富安 浩樹	tomiyasu@fukuoka-edu.ac.jp	生涯学習	進路決定自己効力感	☒ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語	1	日本語が得意であること
44021	林 希 和彦		人権教育学	マイノリティ問題や格差問題と学校教育におけるこれらの支援	☐ 小学校教員 ☐ 中高教員			
44022	樋口 裕介	higuchi@fukuoka-edu.ac.jp	教育方法学	教育課程論、授業論	☒ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語	1	
44023	日高 和美		教育制度学	教育行政学、教育政策	☐ 小学校教員 ☐ 中高教員			
44024	船越 美穂		乳幼児教育	幼児教育の歴史、方法、内容に関する研究	☐ 小学校教員 ☐ 中高教員			
44025	生田 淳一		教授・学習心理学	動機づけ、学習方略	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	教育心理学に関する素養
44026	岩橋 知子		臨床心理学	精神分析的な心理療法	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員			
44027	大坪 靖直		社会心理学	対人認知	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員			
44028	笹山 郁生		社会心理学	社会的認知	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員			
44029	友清 由希子		臨床心理学	学校臨床心理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員			
44030	中島 義実		臨床心理学	学校における心理臨床	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員			
44031	中村 俊哉		臨床心理学	多文化間カウンセリング、教育文化の国際比較	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員			
44032	相澤 宏充		特別支援教育	聴覚障害	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	2	障害のある子供の教育に関する基礎的な知識と教育経験
44033	一木 薫		特別支援教育	肢体不自由	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
44034	大平 壇		特別支援教育	肢体不自由	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
44035	見上 昌睦		特別支援教育	言語障害	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
44036	中村 貴志		特別支援教育	視覚障害、認知症	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
44037	韓 星民		特別支援教育		☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
44038	深澤 美華恵		特別支援教育	病弱	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		

44039	藤金 倫徳		特別支援教育	知的障害, 自閉症、応用行動分析	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
44040	石丸 哲史		人文地理学	経済地理, 地理教育	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	
44041	小川 亜弥子		日本史学	日本史, 歴史教育	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
44042	小田 泰司		社会科教育	社会科教育学 (社会科教育史)	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
44043	小林 知子		国際関係論	近現代東アジア国際関係	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
44044	杉村 伸二		東洋史	世界史 (東アジア)	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
44045	谷本 純一		政治学	政治理論, 西洋政治思想史	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		政治学, 政治理論, 西洋政治思想史
44046	豊島 啓司		社会科教育	社会科教育学 (教育方法)	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
44047	久本 貴志		経済学	社会政策	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		社会政策
44048	堀 豊		哲学	中国哲学	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
44049	今井 一仁		数学教育	数学科教育	☐ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語	2	中等学校以上の数学の指導能力があること 実績: 韓国 1
44050	岩田 耕司		数学教育	数学科教育	☐ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語		
44051	岡崎 亮太		数学教育	数学 (代数学)	☐ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語		
44052	清水 紀宏		数学教育	数学科教育	☐ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語		
44053	中田 寿夫		数学教育	数学 (応用数学)	☐ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語		
44054	原 卓哉		数学教育	数学 (解析学)	☐ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語		
44055	藤本 光史		数学教育	数学 (応用数学)	☐ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語		
44056	甲斐 初美	kai-lab@fukuoka-edu.ac.jp	理科教育	理科教育 (小学校, 中学校, 高等学校に関する理科授業の研究)	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	理科教育学に関する基礎的知識
44057	小杉 健太郎	kosugi@fukuoka-edu.ac.jp	理科教育	物理化学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	化学に関する基礎的知識
44058	坂本 憲明	sakamoto@fukuoka-edu.ac.jp	理科教育	理科教育 (小学校, 中学校, 高等学校に関する理科授業の研究)	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語でのコミュニケーションができること (JLPT N2以上)
44059	鈴木 浩文	spiderhs@fukuoka-edu.ac.jp	理科教育	生物学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	2	動物学の基礎知識を習得していること
44060	伊藤 克治	itokat@fukuoka-edu.ac.jp	理科教育	化学, 有機化学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	化学分野の基礎的能力があること
44061	長澤 五十六	isoroku@fukuoka-edu.ac.jp	理科教育	無機化学・配位化学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	化学に関する基礎的知識
44062	福原 達人	fukuhara@fukuoka-edu.ac.jp	理科教育	生物学 (植物学)	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	自然科学の基礎的素養, 植物の形態・分類・生態について修得していることが望ましい
44063	松崎 昌之	matsuza@fukuoka-edu.ac.jp	理科教育	物理学	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	物理学及び数学に関する基礎的素養
44064	宮崎 義信	miyazaky@fukuoka-edu.ac.jp	理科教育	物理化学	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	化学に関する基礎能力があること

44065	森藤 義孝	morifuji@fukuoka-edu.ac.jp	理科教育	理科教育（小学校、中学校、高等学校に関する理科授業の研究）	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	理科教育学に関する基礎的知識
44066	山崎 聖司	yamasaki@fukuoka-edu.ac.jp	理科教育	植物生理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	
44067	木村 次宏	kimurat@fukuoka-edu.ac.jp	音楽教育	音楽科教育	☒ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語	1	
44068	橋本 エリ子	erikoh@fukuoka-edu.ac.jp	音楽教育	声楽・オペラ	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	
44069	原 尚志	taka0920@fukuoka-edu.ac.jp	音楽教育	声楽・オペラ	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	音楽科教育と音楽学に関する教養及び音楽実技能能力があること。
44070	原田 大志	izaino@fukuoka-edu.ac.jp	音楽教育	器楽（ヴァイオリン）	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	本学学生と同等以上の専門能力
44071	二宮 毅	ninomiya@fukuoka-edu.ac.jp	音楽教育	作曲	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	2	
44072	山中 和佳子	wakako-y@fukuoka-edu.ac.jp	音楽教育	音楽科教育（学校音楽教育に関する指導法と歴史、器楽教育の実践と歴史）	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語及び英語	1	
44073	山本 百合子	yurikoy@fukuoka-edu.ac.jp	音楽教育	音楽学（日本の音楽および舞踊劇の歴史と理論）	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語及び英語	1～2	
44074	加藤 隆之	katotaka@fukuoka-edu.ac.jp	美術教育	絵画（油彩画）	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	2	
44075	坂井 孝次	sakaik@fukuoka-edu.ac.jp	美術教育	書道史	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
44076	笹原 浩仁	sasahara@fukuoka-edu.ac.jp	美術教育	美術科教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
44077	千本木 直行	sembongi@fukuoka-edu.ac.jp	美術教育	彫刻	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
44078	服部 一啓	hatto-1k@fukuoka-edu.ac.jp	美術教育	書道教育、書道（漢字書）	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
44079	松久 公嗣	matty@fukuoka-edu.ac.jp	美術教育	絵画（日本画）	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
44080	宮田 洋平	youhei@fukuoka-edu.ac.jp	美術教育	金属工芸	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
44081	本田 代志子	hondayo@fukuoka-edu.ac.jp	美術教育	美術史、美学	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
44082	和田 圭壮	wadakei@fukuoka-edu.ac.jp	美術教育	書道教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
44083	兄井 彰	aaniyi@fukuoka-edu.ac.jp	保健体育	運動制御と運動学習・体育科教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	
44084	市丸 直人		保健体育		☐ 小学校教員 ☐ 中高教員			
44085	片平 誠人	katahira@fukuoka-edu.ac.jp	保健体育	アスレティックトレーニング、陸上競技	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	
44086	榑原 浩晃	hiroakis@fukuoka-edu.ac.jp	保健体育	体育学（体育哲学あるいは体育史の内容で研修することができる。）	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	体育哲学あるいは体育・スポーツ史の内容で研究したい者を受け入れる。過去5年間で0名。
44087	清水 知恵	shimizch@fukuoka-edu.ac.jp	保健体育	身体動きと時空間表現、心理学的側面との関係	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	ダンスに関わる専門的知識、および実技能能力もあることが望ましい
44088	檜崎 教子	narazaki@fukuoka-edu.ac.jp	保健体育	運動学（柔道）	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	身体と運動・スポーツに関する諸科学の基礎的素養
44089	樋口 善之	yhiguchi@fukuoka-edu.ac.jp	保健体育	学校保健、衛生学・公衆衛生学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	
44090	石橋 直	ishibashi-t@fukuoka-edu.ac.jp	技術教育	電気・工業教育	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	技術教育及び技術科学分野の基礎的能力があること。専門領域の文献を理解できる日本語能力を有すること。

44091	梅野 貴俊	t-umeno@fukuoka-edu.ac.jp	技術教育	機械工学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語による日常会話
44092	大内 毅	tohuchi@fukuoka-edu.ac.jp	技術教育	木材加工：学校現場で必要となる木材加工教育に関する研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	研究を遂行するために必要となる日本語能力を有すること、日常会話が日本語でできること。
44093	平尾 健二	khirao@fukuoka-edu.ac.jp	技術教育	栽培	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	研究を遂行するための専門的な日本語能力を有すること。栽培技術についての基礎知識をもつこと。
44094	Todd J. Leonard		英語教育	異文化理解	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語及び英語	1	英語教育についての基礎知識 マダガスカル 1、タイ 1

※「研修の対象者」は該当する方(両方に該当する場合は両方)に☑を付けてください。



長崎大学 (長崎県)

学校教育現場で必要とされる知識・技能獲得の為の研修を行います。

◇大学紹介

○大学の概要

長崎大学は、多文化社会学部、教育学部、経済学部、医学部、歯学部、薬学部、情報データ科学部、工学部、環境科学部、水産学部を有する総合大学である。教育学部には国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語、教育、教育心理、特別支援教育、幼児教育の各専門分野の教員（約80人）が配置されている。また、附属の小学校、中学校、特別支援学校、幼稚園もあり、留学生が学校教育の現場を見学することも出来る。

○国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2022年度：481人

2021年度：422人

2010年度：473人

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2022年度：1人

2021年度：2人

2010年度：0人

◇教員研修コースの概要・特色

○研修コースの特色

教育学部の全ての教職員の協力の下、「国際交流委員会」が設置され、教員研修留学生の研修を有意義に進めるための体制を整え、努力している。留学生のための交流パーティーや研修旅行を実施し、修学・生活上の悩みなどについても気軽に相談を受けるなど、和やかな雰囲気での留学生の受入れを行っている。

○受入定員 5人

○研修コースの概要

・日本語教育

留学生教育・支援センターが開講する日本語集中プログラムで研修生として6ヶ月間、週10時間の日本語教育を受ける。日本語レベルに応じて初級・中級のいずれかのクラスに配置する。

・専門教育

教員研修留学生の希望する専門研究分野に対応して、教育学部の教員（1名～複数名）が指導教員となる。留学生は、1年間に亘って指導教員の下で各種のゼミナールや講義を受ける。また、研修期間の最後に研修成果を示したレポート（日本語または英語）を作成し、発表する。

・見学・地域交流等の参加型科目

県下の小学校、中学校等に出向き、子供たちに出身国の生活習慣や文化等について説明する。これにより日本の教育現場に直接触れるとともに、子供たちとの交流を通して相互理解を深める事業を行う。

・その他

日本語教育に日本文化の授業が含まれており、日本舞踊、華道や茶道など日本の伝統文化を学び体験することが出来る。

◇修了生へのフォローアップ

学術研究等の相談があった時は、メールやSNS等でいつでも応じる体制を取っている。

◇宿 舎

長崎大学には、国際交流会館（西町本館・A棟・B棟）・坂本分館および国際学寮ホルテンシア（A棟・B棟）の計6棟の留学生用宿舎が設置されている。但し、数に限りがあるため、希望者全員が入居できないこともある。留学生向けの居室数等は、次のとおりである（2021年4月1日現在）

○宿舎数

・単身用 64室 ・2人シェア 12室

・4人シェア 84室

○宿舎費（1人あたり/半期）

・単身室 ￥96,000, ￥114,000, ￥180,000

・2人シェア ￥120,000

・4人シェア ￥162,000

○宿舎設備・備品

エア電気スタンド・冷蔵庫・シャワー・トイレ・洗濯室（共用/専用）・捕食室コン・ベッド・机・椅子・洋服ダンス・（共用/専用）

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

国際交流会館および国際学寮ホルテンシアは、文教キャンパス（メインキャンパス）から徒歩で15分程度の距離に立地し、付近には公務員宿舎も併設されている。国際交流会館坂本分館は長崎大学病院の敷地内に設置されており、医学部及び歯学部へは徒歩で数分の距離にある。付近には商店街があり、生活必需品等がいつでも購入できる。文教キャンパスまでは、路面電車を利用して20分程度である。

◇問合せ先

〒852-8521 長崎県長崎市文教町1-14

長崎大学学生支援部留学支援課

TEL：095-819-2209 E-mail：
ryugaku_shien@ml.nagasaki-u.ac.jp

URL：<https://www.nagasaki-u.ac.jp/>

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科								
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)	
46001	鈴木 慶子 (教授)	keiko-s	国語教育	書写書道	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1		
46002	前田 桂子 (教授)	kmaeda	国語教育	国語学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1		
46003	平瀬 正賢 (准教授)	masa-i	国語教育	国語教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1		
46004	大平 晃久 (准教授)	ohirat	人文地理学	文化・社会地理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1		
46005	池谷 和子 (准教授)	kazuikeya	法律	未成年者保護法	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1		
46006	田口 由香 (准教授)	y. taguchi	日本史	日本近代史	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1		
46007	中村 千秋 (准教授)	(sonny@i.edu.nagasaki-u.ac.jp)	情報システム	教育用コンピュータシステムの構築	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	英語による指導可。受入実績：ガーナ 1 名	
46008	倉田 伸 (准教授)	shin1222kurata	情報教育	情報教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1		
46009	星野 由雅 (教授)	hoshino	化学	無機化学、分析化学、化学教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	英語による指導可。受入実績：ナイジェリア 1 名、ウガンダ 1 名、フィリピン 1 名、ルワンダ 1 名	
46010	大庭 伸也 (准教授)	ooba	動物学	動物学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	英語による指導可。	
46011	福山 隆雄 (准教授)	fukuyama-takao	物理学	プラズマ科学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	英語による指導可。	
46012	三上 次郎 (教授)	mikami	作曲	和声学の研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	英語による指導可。	
46013	宮下 茂 (教授)	miyamo	声楽	声楽	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1		
46014	加納 暁子 (准教授)	k-akiko	ヴァイオリン、音楽教育	ヴァイオリンの演奏法、音楽教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1		
46015	西田 治 (准教授)	osamu-n	音楽教育	音楽教育の研究	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1		
46016	中川 泰 (教授)	nakagawa	美術教育	美術教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1		
46017	菅野 弘之 (教授)	kankan	美術教育	陶芸	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1		
46019	牧野 一穂 (准教授)	kmakino	美術教育	絵画(日本画)	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1		
46020	高橋 浩二 (准教授)	takahashi	体育・スポーツ哲学	身体及び運動実践の哲学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	英語による指導可。	
46021	藤本 登 (教授)	n-fuji	環境技術・機械工学とその教育	環境教育、技術教育(機械)について	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1		
46022	武藤 浩二 (教授)	cosy	電気電子情報工学及びその教育	回路理論、アナログ電子回路	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	英語による指導可。	
46023	及川 大地 (准教授)	daichioi	食物学	食品学、栄養学、食品機能学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	英語による指導可。	
46024	松元 浩一 (教授)	kmat	英語学	統語論	☐ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	英語による指導可。	
46025	鈴木 保巳 (教授)	ys11	障害児生理心理学	障害児生理心理学	☐ 小学校教員 ☐ 中高教員	日本語	1	※特別支援	
46026	小西 祐馬 (准教授)	konishi	児童福祉	児童福祉	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員				
46027	吉田 ゆり (教授)	yuyoshida	発達臨床心理学	発達臨床心理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員				
46028	森野 美央 (准教授)	morinomi	発達心理学	発達心理学、乳幼児保育	☒ 小学校教員 ☐ 中高教員			※小学校低学年まで	
46029	石川 衣紀 (准教授)	izumi	特別支援教育、特別ニーズ教育	特別支援教育学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員				
46030	高橋 甲介 (准教授)	kosuket	障害児心理学	応用行動分析学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員				

46031	内野 成美 (教授)	soudan	学校臨床心理学	学校臨床心理学, カウンセリング	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	受入実績：韓国 1 名
46032	前原 由喜夫 (准教授)	ymaehara	認知心理学	認知心理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	受入実績：韓国 1 名
46033	榎 景子 (准教授)	enoki	教育行政学, 教育制度論	教育行政学, 教育制度論	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	
46034	井手 弘人 (准教授)	hirotai	比較教育学, カリキュラム論	統合カリキュラムの比較研究、教師教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	英語による指導可。受入実績：ブルキナファソ 1 名

※「研修の対象者」は該当する方(両方に該当する場合は両方)に☑を付けてください。

※は研修の対象者に対するコメント



熊本大学 (熊本県)

本学の教員研修プログラムは日本の教育諸相について基礎知識及び専門知識を得ることを目的としています。

◇大学紹介

○大学の概要

熊本大学は、旧制第五高等学校・熊本医科大学等の旧制諸学校を母体として、1949年5月に発足した国立の総合大学です。現在、本学には7学部・8大学院1研究科が設置されており、学部・大学院学生数計約10,000人、教職員数約2,700人を有しています。

7学部：文学部、教育学部、法学部、理学部、医学部、薬学部、工学部

8大学院：社会文化科学教育部、人文社会科学系研究部、自然科学教育部、先端科学研究部、生命科学教育部、医学教育部、薬学教育部、保健学教育部、

1研究科：教育学研究科

教員研修留学生の受入れ先となる教育学研究科には、教職大学院の課程（教職実践開発）が設置されています。本研究科は、大学卒業だけでなく、現職教員も受入れており、教員の資質向上を目的として教育実践に関する総合的な研究をおこなっています。

○国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2022年度：39カ国413人

2021年度：34カ国374人

2020年度：38カ国462人

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2022年度：2人（ジンバブエ、ベナン）

2021年度：1人（インドネシア）

2020年度：1人（エストニア）

◇教員研修コースの概要・特色

○研修コースの特色

本学の教員研修プログラムは、以下分野における日本の教育諸相について基礎的及び専門的知識を得ることを目的としています。本学教育学部では、小・中学校教諭に必要な国語科教育、社会科教育、数学科教育、理科教育、音楽科教育、美術科教育、保健体育科教育、技術科教育、家庭科教育、英語科教育、特別支援教育、学校教育（教育学・心理学）について、また養護教諭に必要な養護教育について、それぞれ専門教育をおこなっています。

○受入定員：計17名

○研修コースの概要

・日本語教育

期間：2023年10月～2024年3月（半年間）

内容：日本での日常生活に必要な日本語および入学

後の研究活動に必要な基礎的な日本語の学習をおこないます。

形態：学生のレベルに併せて日本語クラス（週10時間以上）が用意されています。

・専門教育

期間：2024年4月～2025年3月（1年間）

形態：教育学研究科にて、主に指導教員による個別指導を受けます。また、大学院生や学部生と一緒に講義や演習に参加し、各自の研究課題をさらに深めます。学年末には、研究成果を発表します。

・その他

- ・指導教員による独自の実地見学
- ・教育現場の見学
- ・留学生交流パーティーの開催
- ・見学・地域交流等の参加型科目



（小学生との交流）

◇修了生へのフォローアップ

研修修了後も必要に応じてメール等で相談に応じています。

◇宿 舎

○宿舎数

- ・単身用（147室）
- ・夫婦用（6室）
- ・世帯用（家族室A：3室、家族室B：4室）

○宿舎費

単身室：17,000円

夫婦室：26,000円

家族室A：36,000円

家族室B：34,000円

※水道・光熱費は実費です。入居時には預託金が必要です。

○宿舎設備・備品（単身室の場合）

台所、シャワー・トイレ、エアコン、ベッド、冷蔵庫、電磁調理器、机、椅子、靴箱、電話機（受信専用）、インターネット（個別契約）

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

キャンパスから東に1.5kmほどのところに、留学生のための寮「熊本大学国際交流会館」があります。教員研修生は、1年半入居が可能です。宿舎から大学まで自転車ですぐです。

◇問合せ先

大学所在地：〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-40-1

担当部署：熊本大学国際部国際教育課

TEL：+81-96-342-2103/2138

FAX：+81-96-342-2130

E-mail：gji-ryugaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp

ホームページ：<http://www.kumamoto-u.ac.jp/>

シラバス掲載アドレス：

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/kokusai/kouryuu/gaikokujinryuugakusei/kyouikuprogram/kyouinkenshu>

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
47001	藤瀬 泰司 教授	fujise@educ.kumamoto-u.ac.jp	社会科教育	社会科教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	
47002	渡邊 重義 教授	shige@educ.kumamoto-u.ac.jp	理科教育	理科教育、生物教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語、英語	1	ある程度の日本語能力を有していること 1 (韓国)
47003	飯野 直子 准教授	iino@educ.kumamoto-u.ac.jp	理科教育	理科教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		研究を遂行できるだけの日本語能力を有していること
47004	山崎 浩隆 教授	yamasaki@educ.kumamoto-u.ac.jp	音楽教育	音楽科教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	
47005	中原 雅彦 准教授	nakahara@educ.kumamoto-u.ac.jp	音楽教育	声楽	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	日本語を理解することができること。イタリア語が読めること。
47006	赤木 恭子 准教授	k.akaki@educ.kumamoto-u.ac.jp	美術教育	美術科教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	1 (韓国)
47007	喜久山 悟 教授	mt.kix@educ.kumamoto-u.ac.jp	美術教育	美術科教育、工芸	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
47008	松永 拓己 教授	matsu@educ.kumamoto-u.ac.jp	美術教育	絵画	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		1 (中国)
47009	坂下 玲子 教授	reiko@educ.kumamoto-u.ac.jp	保健体育教育学	体育科教育、ダンス、体操	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	
47010	井福 裕俊 教授	ifuku@kumamoto-u.ac.jp	運動学	運動生理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
47011	大石 康晴 教授	oishi@gpo.kumamoto-u.ac.jp	運動学	運動生理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語		
47012	坂本 将基 准教授	sakamoto@educ.kumamoto-u.ac.jp	運動学	運動生理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
47013	末永 祐介 准教授	suenaga@educ.kumamoto-u.ac.jp	保健体育教育学	体育科教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
47014	八幡 彩子 教授	ayako@educ.kumamoto-u.ac.jp	家政教育	家庭経営学、家政学原論	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	
47015	中迫 由実 准教授	nakasako@educ.kumamoto-u.ac.jp	家政教育	住居学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	研究を遂行できるだけの日本語能力を有していること
47016	島谷 浩 教授	shima@educ.kumamoto-u.ac.jp	英語教育	英語教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語	1	1 (マラウイ)
47017	ピダーソン・スタン 准教授	pederson@educ.kumamoto-u.ac.jp	英語教育	英語教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語		1 (インドネシア)
47018	岡崎 伸一 准教授	sokazaki@educ.kumamoto-u.ac.jp	英語教育	英語教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	英語・日本語		
47019	菊池 哲平 教授	kikuchi@educ.kumamoto-u.ac.jp	特別支援教育	特別支援教育心理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	
47020	藤原 志帆 准教授	fujihara@educ.kumamoto-u.ac.jp	特別支援教育	特別支援教育指導学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	
47021	千川 隆 教授	hosikawa@educ.kumamoto-u.ac.jp	特別支援教育	特別支援教育指導学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	
47022	本吉 大介 准教授	motoyoshi@educ.kumamoto-u.ac.jp	特別支援教育	特別支援教育心理学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	

47023	藤井 美保 准教授	fujii@educ.kumamoto-u.ac.jp	教育学	教育社会学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	3	初級程度以上の日本語学習経験を有すること 1（エストニア）
47024	山城 千秋 教授	qianqiu@educ.kumamoto-u.ac.jp	教育学	社会教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		初級程度以上の日本語学習経験を有すること
47025	今井 伸和 准教授	nimai@educ.kumamoto-u.ac.jp	教育学	道德教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		初級程度以上の日本語学習経験を有すること
47026	苫野 一徳 准教授	ittoku@educ.kumamoto-u.ac.jp	教育学	教育哲学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		初級程度以上の日本語学習経験を有すること
47027	入谷 仁士 准教授	iritanib @educ.kumamoto-u.ac.jp	学校保健学	学校保健 保健科教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語	1	
47028	佐藤 伸子 講師	nobuko@educ.kumamoto-u.ac.jp	看護学	看護学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		
47029	長谷 真 准教授	mhase@educ.kumamoto-u.ac.jp	基礎医学	分子生物学	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員	日本語		



宮崎大学

宮崎大学 (宮崎県)

指導教員による個別指導のもとに、教員研修留学生の目的に応じ高度で実践的な研修を行う。

◇大学紹介

○大学の概要

宮崎大学は、教育学部、医学部、工学部、農学部、地域資源創成学部の5つの学部と教育学研究科、看護学研究科、工学研究科、農学研究科、地域資源創成学研究科、医学獣医学総合研究科、農学工学総合研究科の7つの大学院研究科で構成されている国立大学法人です。教員研修留学生を受け入れる研究科は教育学研究科であり、概要は次のとおりです。

◇教育学研究科（専門職学位課程）

教職実践開発専攻

○国際交流の実績

- ・ 交流協定数：130機関（31カ国）
- ・ 留学生数（2022年10月1日現在）
2022年度：159人 2021年度：158人
2020年度：187人 2019年度：214人
- ・ 教員研修留学生受入実績 現在まで6名



◇教員研修コースの概要・特色

○研修コースの特色

- ・ 指導教員による専門領域の個別指導が主であるが、指導教員の指導の下、専門科目や日本語・日本事情の科目の聴講が可能。
- ・ 見学・地域交流等の参加型科目の聴講、日本語地域インターンシップへの参加、日本人学生との共修が可能な場合もある。

○受入定員：3人

○研修コースの概要

教員研修留学生は、渡日後、他機関で6ヶ月間の日本語教育を受けた後、本学で下記の研修を1年間行う。

- ・ 指導教員の指導の下、専門領域に関して研修を行う。
- ・ 本コースでの研修の成果を研修報告書にまとめ、2023年2月末日までに提出する。
- ・ 指導教員の指導の下、授業担当教員の許可が得られれば、専門領域に関連する科目や日本語・日本事情の科目の聴講が可能。（科目の単位認定はできない。）
- ・ 市内の小、中、高における授業見学や児童・生徒との国際交流活動に参加することが可能な場合もある。

◇修了生へのフォローアップ

- ・ SNS等を活用して、継続的に連絡を取っている。
- ・ 必要に応じ指導教員が相談に応じる。

◇宿 舎

○宿舎数

・ 国際交流宿舎

単 身 室 165室 月額4,700円
夫婦・家族室 4室 月額9,500円・14,200円

・ 木花ドミトリ

単 身 室 31室 月額24,000円
(光熱水費・Wifi込)

・ 清武ドミトリ

単 身 室 50室 月額25,800円
(光熱水費・Wifi込)

○宿舎設備・備品

各部屋にベッド、机、椅子、クローゼット付き

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

近隣にスーパー、コンビニ、レストラン
キャンパス内に宿舎有り。宿舎費前納不要

◇問合せ先

大学所在地：889-2192

宮崎県宮崎市学園木花台西1-1

担当部署：研究国際部国際連携課留学交流係
連絡先

TEL：0985-58-7134 FAX：0985-58-7782

E-mail：ryugaku@of.miyazaki-u.ac.jp

ホームページアドレス

<http://www.of.miyazaki-u.ac.jp/~kokusai/>

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
49001	石川千佳子教授 https://srhumdb.miyazaki-u.ac.jp/html/370_ja.html	e06505u@cc.miyazaki-u.ac.jp	芸術学芸術史	日本の芸術論、特に美術鑑賞理論について	■小学校教員 ■中高教員	日本語英語	1人	日本美術に関心があり、日本語の文献を読むことができる者。教員研修留学生の受け入れ実績は無。一般の留学生の受入実績は有。
49002	菅裕教授 https://srhumdb.miyazaki-u.ac.jp/html/349_ja.html	e05107u@cc.miyazaki-u.ac.jp	音楽教育学	音楽科教育。主に学校での演奏指導に関わる分野	■小学校教員 ■中高教員	日本語英語	1人	日本語または英語。日本語の読み書きおよび日常会話ができることが望ましい。教員研修留学生の受け入れ実績は無。
49003	山元宣宏准教授 https://srhumdb.miyazaki-u.ac.jp/html/100000646_ja.html	n-yamamoto@cc.miyazaki-u.ac.jp	言語・社会文化	漢字を中心とした文字文化史、および書道史	■小学校教員 ■中高教員	日本語中国語	1人	日本語能力試験N1認定以上。研究対象を客観的に論じることができる者。教員研修留学生の受け入れ実績は無。一般の研究生(留学生)の受入実績は有。
49004	椋木香子教授 https://srhumdb.miyazaki-u.ac.jp/html/100000941_ja.html	k-mukugi@cc.miyazaki-u.ac.jp	教育学	道德教育、幼児教育	■小学校教員 ■中高教員	日本語英語	1人	日本語または英語。日本語の日常会話ができることが望ましい。教員研修留学生・一般留学生受入れ実績は有。
49005	中村佳文教授 https://srhumdb.miyazaki-u.ac.jp/html/100001051_ja.html	nakabun@cc.miyazaki-u.ac.jp	国語教育 日本文学	和歌・短歌・音声表現	■小学校教員 ■中高教員	日本語	1人	日本語能力試験N1認定以上。日本語の基礎的運用能力のある者。教員研修留学生の受け入れ実績は無。一般の研究生(留学生)の受入実績は無。
49006	藤井良宜教授 https://srhumdb.miyazaki-u.ac.jp/html/523_ja.html	yfujii@cc.miyazaki-u.ac.jp	統計科学	日本における統計教育について	■小学校教員 ■中高教員	日本語英語	1人	日本語能力試験N1認定以上。研究対象を客観的に論じることができる者。教員研修留学生の受け入れ実績は有。
49007	篠原久枝教授 https://srhumdb.miyazaki-u.ac.jp/html/570_ja.html	e09102u@cc.miyazaki-u.ac.jp	食物学	日本の食文化・食生活	■小学校教員 ■中高教員	日本語英語	1人	日本語能力試験N1認定以上。研究対象を客観的に論じることができる者。教員研修留学生の受け入れ実績は無。一般の研究生(留学生)の受入実績は有。

※「研修の対象者」は該当する方(両方に該当する場合は両方)に☑を付けてください。